

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-114768  
(P2001-114768A)

(43) 公開日 平成13年4月24日 (2001.4.24)

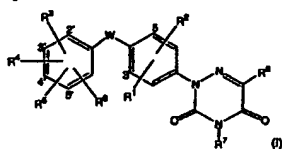
(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	キーワード (参考)
C 0 7 D 253/06		C 0 7 D 253/06	F
A 6 1 K 31/53		A 6 1 K 31/53	
31/5377		31/5377	
31/55		31/55	
A 6 1 P 3/04		A 6 1 P 3/04	

審査請求 有 請求項の数10 O L (全100頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2000-282882(P2000-282882)	(71) 出願人	397067152 ファイザー・プロダクツ・インク アメリカ合衆国コネチカット州グロトン市 イースタン・ポイント・ロード
(22) 出願日	平成12年9月19日 (2000.9.19)	(72) 発明者	ロバート リー ドゥ アメリカ合衆国 06340 コネチカット州 グロトン市 イースタン・ポイント・ロ ード (番地なし) ファイザー・セント ラル・リサーチ内
(31) 優先権主張番号	6 0 / 1 5 6 8 4 2	(74) 代理人	100092783 弁理士 小林 浩
(32) 優先日	平成11年9月30日 (1999.9.30)		
(33) 優先権主張国	米国 (U S)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 甲状腺受容体リガンドとしての6-アザウラシル誘導体

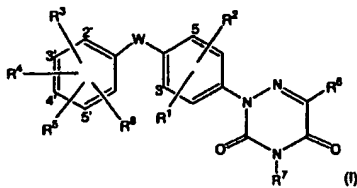
(57) 【要約】  
本発明は、一般式 I の新規な化合物  
【化28】を治療するための方法、医薬組成物およびキットも提供  
される。

及びそのプロドラッグ、その幾何および光学異性体、並びにこのような化合物、プロドラッグ、および異性体の薬学的に許容することのできる塩を提供する（ここで、 $R^1$  から  $R^8$  および  $W$  は、本明細書で述べた通りである）。このような化合物、そのプロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を含有する医薬組成物ならびに、肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌ならびに糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全のような関連した障害および疾患

【特許請求の範囲】

【請求項１】 一般式Ⅰの化合物

【化1】



その異性体、当該化合物もしくは異性体のプロドラッグ、または当該化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩[ここで、Wは、(a) -O-、(b) -S(O)<sub>m</sub>、(c) -NR<sup>3</sup> O-、(d) -C(O)-、(e) -HC=CH-、(f) -CH<sub>2</sub>-、(g) -CHF-、(h) -CF<sub>2</sub>-または(i) -CH(OH)-であり；R<sup>1</sup> およびR<sup>2</sup> は、独立に、(a) 水素、(b) ハロゲン、(c) -C<sub>1</sub> -C<sub>6</sub> アルキル、(d) -CN、(e) -OR<sup>12</sup> または(f) -トリフルオロメチルであり；R<sup>3</sup> は、(a) 水素、(b) ハロゲン、(c) ハロゲン、-OCF<sub>3</sub> および-CF<sub>3</sub> から成る群から独立に選ばれる1個から3個の置換基で任意に置換されてもよい-(C<sub>1</sub> -C<sub>6</sub>) アルキル、(d) -CN、(e) -OR<sup>12</sup>、(f) -トリフルオロメチル、(g) -NO<sub>2</sub>、(h) -SO<sub>2</sub> -R<sup>13</sup>、(i) -C(O)<sub>2</sub> R<sup>9</sup>、(j) -C(O) NR<sup>19</sup> R<sup>20</sup>、(k) -C(O) R<sup>16</sup>、(l) -NR<sup>21</sup> C(O) -NR<sup>21</sup> R<sup>22</sup>、(m) -NR<sup>19</sup> -C(O) R<sup>20</sup> または(n) -NR<sup>17</sup> R<sup>18</sup> であり；R<sup>4</sup> は、(a) -C(R<sup>14</sup>) (R<sup>15</sup>) (R<sup>16</sup>)、(b) -(C<sub>0</sub> -C<sub>3</sub>) アルキル-NR<sup>17</sup> R<sup>18</sup>、(c) -C(O) NR<sup>19</sup> R<sup>20</sup>、(d) -NR<sup>19</sup> -C(O) -R<sup>20</sup>、(e) -(C<sub>0</sub> -C<sub>3</sub>) アルキル-NR<sup>21</sup> -C(O) -NR<sup>21</sup> R<sup>22</sup>、(f) -S(O)<sub>m</sub> -R<sup>22</sup>、(g) -S(O)<sub>2</sub> -NR<sup>21</sup> R<sup>22</sup>、(h) -NR<sup>21</sup> -S(O)<sub>2</sub> -R<sup>22</sup>、(i) -アール、(j) -het、(k) -OR<sup>33</sup> または(l) ハロゲンであるが、但し、置換基(f) および(h) におけるR<sup>22</sup> は-OR<sup>34</sup> 以外であり、但し、置換基(b) が-(C<sub>0</sub>) アルキル-NR<sup>17</sup> R<sup>18</sup> である場合、R<sup>18</sup> は、-C(O) -R<sup>28</sup> または-S(O)<sub>2</sub> -R<sup>29</sup> 以外であり；またはR<sup>3</sup> およびR<sup>4</sup> は、共に一般式-(CH<sub>2</sub>)<sub>e</sub> -の炭素環式環または-Q-(CH<sub>2</sub>)<sub>e</sub> -および-(CH<sub>2</sub>)<sub>j</sub> -Q-(CH<sub>2</sub>)<sub>k</sub> -から成る群から選ばれる複素環式環を形成し]ここで、Qは、O、SもしくはNR<sup>25</sup> である]、ここで、当該炭素環式環は、基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良く、そして当該複素環式環は、基Zから独立に選ばれる1個以上

の置換基で任意に置換されても良く；R<sup>5</sup>は、-OR<sup>23</sup>であり；またはR<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>は、共に-OR<sup>31</sup>=CR<sup>32</sup>-NH-、-N=CR<sup>31</sup>-NH-、-CR<sup>31</sup>=CR<sup>32</sup>-O-および-OR<sup>31</sup>=CR<sup>32</sup>-S-から成る群から選ばれる複素環式環を形成しても良く；R<sup>6</sup>は、(a) 水素、(b) ハロゲン、(c) ハロゲン、-OCF<sub>3</sub>および-CF<sub>3</sub>から成る群から独立に選ばれる1個から3個の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(d) -CN、(e) -OR<sup>12</sup>、(f) -トリフルオロメチル、(g) -NO<sub>2</sub>、(h) -SO<sub>2</sub>-R<sup>13</sup>、(i) -C(O)-R<sup>29</sup>、(j) -C(O)NR<sup>19</sup>R<sup>20</sup>、(k) -C(O)R<sup>16</sup>、(l) -NR<sup>21</sup>C(O)-NR<sup>21</sup>R<sup>22</sup>、(m) -NR<sup>19</sup>-C(O)R<sup>20</sup>または(n) -NR<sup>17</sup>R<sup>18</sup>であり；R<sup>7</sup>は、(a) 水素、(b) 各炭素原子が1個から3個のハロ原子で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキルまたは(c) -C(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>COOR<sup>9</sup>であり；R<sup>8</sup>は、(a) 水素、(b) -(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(c) -C(O)-OR<sup>9</sup>、(d) -C(O)NR<sup>10</sup>R<sup>11</sup>または(e) -CNであるが、但し、置換基(c)におけるR<sup>9</sup>は、メチルまたはエチル以外であり、但し、置換基(d)におけるR<sup>10</sup>およびR<sup>11</sup>は、両方とも水素ではなく；R<sup>9</sup>は、(a) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>)アルキル、(b) フェニルで任意に置換されても良い-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>)アルケニル、(c) -(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>)ジアルケニル、(d) -(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>)シクロアルキル、(e) -アリールまたは(f) -hetであり；R<sup>10</sup>およびR<sup>11</sup>は、独立に、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>)アルキル、(c) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>)シクロアルキル、(d) -(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>)アルケニルまたは(e) -hetであり；または、いずれの例のR<sup>10</sup>およびR<sup>11</sup>も、それらが結合している望素原子と共にhetを形成することができ；R<sup>12</sup>は、(a) 水素または(b) 各炭素原子が1個から3個のフルオロ原子で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキルであり；R<sup>13</sup>は、(a) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>)アルキル、(b) -(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>)アルケニル、(c) -(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>)シクロアルキル、(d) -NR<sup>17</sup>R<sup>18</sup>、(e) -アリールまたは(f) -hetであり；R<sup>14</sup>は、(a) 水素、(b) -(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキルまたは(c) -O-R<sup>34</sup>であり；R<sup>15</sup>は、(a) 水素または(b) -(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキルであり；またはR<sup>14</sup>およびR<sup>15</sup>は、それらが結合している炭素原子と共にカルボニル基を形成し；R<sup>16</sup>は、(a) 水素、(b) 各炭素原子が

1個から3個のフルオロ原子で任意に置換されても良い  
 $(C_1-C_6)$  アルキル、(c)  $-(C_0-C_6)$  アルキル  
 $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(d)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-アリアルまたは (e)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-hetであり;  $R^{17}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c) -アリアル、(d) -het、(e) -OR<sup>34</sup> または (f)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルであり;  $R^{18}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c) -アリアル、(d) -het、(e) -C(O)-R<sup>28</sup> (f) -S(O)<sub>2</sub>-R<sup>29</sup>、(g) -OR<sup>34</sup> または (h)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルであり; 又はいずれの例の  $R^{17}$  および  $R^{18}$  も、それらが結合している窒素原子と共に het を形成し; 各例の  $R^{19}$  および  $R^{20}$  は、独立に、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-アリアル、(d)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-het、(e) -C(O)-NR<sup>26</sup>R<sup>27</sup>、(f) -C(O)-R<sup>28</sup>、(g) -S(O)<sub>2</sub>-R<sup>29</sup>、(h) -OR<sup>34</sup> または (i)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルであり; 又はいずれの例の  $R^{19}$  および  $R^{20}$  も、それらが結合している窒素原子と共に het を形成し; 各例の  $R^{21}$  および  $R^{22}$  は、独立に、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個から3個の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c) -アリアル、(d) -het、(e)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルまたは (f) -OR<sup>34</sup> であり; または  $R^{21}$  および  $R^{22}$  は、それらが結合している窒素原子と共に het を形成し;  $R^{23}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_4)$  アルキルまたは (c) -C(O)-R<sup>24</sup> であり;  $R^{24}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニル、(d)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(e) -アリアルまたは (f) -het であり; 各例の  $R^{25}$  は、独立に (a) 水素、(b)  $-(C_1-C_6)$  アルキル、(c) -COR<sup>29</sup> または (d) -SO<sub>2</sub>R<sup>29</sup> であり; 各例の  $R^{26}$  および  $R^{27}$  は、独立に、(a) 水素、(b)  $-(C_1-C_6)$  アルキル、(c)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(d)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-アリアル、または (e)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-het であり;  $R^{28}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_2-$

$C_{12})$  アルケニル、(d)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(e) -アリアルまたは (f) -het であり;  $R^{29}$  は、(a) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(b)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニル、(c)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(d) -アリアルまたは (e) -het であり;  $R^{30}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_1-C_{12})$  アルケニル、(d)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(e) -C(O)-R<sup>31</sup> または (f) -S(O)<sub>m</sub>-R<sup>32</sup> であり;  $R^{31}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニル、(d)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(e) -アリアル、(f) -het または (g) -OR<sup>34</sup> であり;  $R^{32}$  は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(c)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニル、(d)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキル、(e) -アリアルまたは (f) -het であり;  $R^{33}$  は、(a)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-アリアル、(b)  $-(C_0-C_6)$  アルキル-het、(c) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_7-C_{12})$  アルキル、(d) 少なくとも1個の炭素原子が1個から3個のフルオロ原子で置換される  $-(C_1-C_6)$  アルキル、(e)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニルまたは (f)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルであり;  $R^{34}$  は、(a) -アリアル、(b) -het、(c) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い  $-(C_1-C_{12})$  アルキル、(d)  $-(C_2-C_{12})$  アルケニルまたは (e)  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルであり; 各例の  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルは、3個から10個の炭素原子を含有する完全に又は部分的に飽和した単、二または三環式環であり; ここで、二環式環において、単環式シクロアルキル環は、別のシクロアルキル環に縮合したスピロであるか、又は、2個の炭素原子を介してベンゼン環もしくは別のシクロアルキル環に縮合しており; ここで、三環式環において、二環式環は、シクロアルキル環に縮合したスピロであるか、又は、2個の原子を介してベンゼン環もしくは別のシクロアルキル環に縮合しており; 当該  $-(C_3-C_{10})$  シクロアルキルは、炭素、酸素、硫黄および窒素から独立に選ばれる1個から3個の架橋原子を任意に含有しても良く; 当該架橋原子は、環内の2個の炭素原子に結合しており; 当該架橋原子は、 $-(C_1-C_6)$  アルキルおよびヒドロキシから独立に選ばれる1個から3個の基で任意に置換されても良く; 当該シクロアルキル環は、そ

の部分単環式であれば1個の環、その部分が二環式であれば1個もしくは両方の環、又はその部分が三環式であれば1個、2個もしくは3個の環上で、基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良く；基Vは、(a) 1個もしくは2個のヒドロキシで任意に置換されても良い $-(C_1-C_6)$ アルキル、(b) $-(C_2-C_5)$ アルキニル、(c)ハロゲン、(d) $-NR^{35}R^{36}$ 、(e) $-NO_2$ 、(f) $-OCF_3$ 、(g) $-OR^{37}$ 、(h) $-SR^{37}$ 、(i)オキソ、(j)トリフルオロメチル、(k) $-CN$ 、(l) $-C(O)NR^{35}-OH$ 、(m) $-COOR^{35}$ 、(n) $-O-C(O)-(C_1-C_6)$ アルキル、(o)CNで任意に置換されても良い $-(C_3-C_{10})$ シクロアルキル(p) $-(C_0-C_6)$ アルキル-アリール、(q) $-(C_0-C_6)$ アルキル-het、(r) $-C(O)-(C_1-C_6)$ アルキルまたは(s) $-C(O)-$ アリールであり；各例の $R^{35}$ および $R^{36}$ は、独立に、(a)水素、(b) $-(C_1-C_6)$ アルキルまたは(c) $-(C_0-C_6)$ アルキル-アリールであり； $R^{37}$ は、(a)水素、(b)1個以上のハロ、ヒドロキシもしくはメトキシで任意に置換されても良い $-(C_1-C_6)$ アルキル、(c) $-(C_0-C_6)$ アルキル-アリールまたは(d) $-(C_0-C_6)$ アルキル-hetであり；アリールは、(a)基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニル、(b)基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビフェニルであり；各例のhetは、酸素、硫黄および窒素から成る群から独立に選ばれる1個から4個のヘテロ原子を含有する4-、5-、6-、7-および8-員の完全に飽和した、部分的に飽和した又は完全に未飽和の単、二または三環式複素環式環であり；ここで、二環式環において、単環式複素環式環は、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは完全に若しくは部分的に飽和した別の複素環式環に結合したスピロであるか、または、2個の原子を介してベンゼン環、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは別の複素環式環に結合しており；ここで、三環式環において、二環式環は、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは完全に若しくは部分的に飽和した別の複素環式環に結合したスピロであるか、または、2個の原子を介してベンゼン環、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは別の複素環式環に結合しており；当該hetは、酸素、硫黄および窒素から独立に選ばれる1個から3個の架橋原子を任意に含有しても良く；当該架橋原子は、環内の2個の別の原子に結合しており；当該架橋原子は、 $-(C_1-C_6)$ アルキルおよびヒドロキシから独立に選ばれる1個から3個の基で任意に置換されても良く；当該hetは、炭素上で置換された1個もしくは2個のオキソ

基または硫黄上で置換された1個もしくは2個のオキソ基を任意に有しても良く；当該hetは、その部分が単環式であれば1個の環、その部分が二環式であれば1個もしくは両方の環、又はその部分が三環式であれば1個、2個もしくは3個の環上の炭素もしくは窒素上で、基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良く；各例の基Zは、独立に、(a)水素、(b)ハロゲン、(c)トリフルオロメチル、(d)ヒドロキシ、(e) $-OCF_3$ 、(f) $-CN$ 、(g) $-NO_2$ 、(h)ヒドロキシ、ハロゲン、 $-OCF_3$ および $-CF_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_1-C_6)$ アルキル、(i)フェニルで任意に置換されても良い $-(C_2-C_6)$ アルケニル、(j) $-(C_2-C_5)$ アルキニル、(k) $-(C_1-C_6)$ アルコキシ、(l)ハロゲン、 $-OCF_3$ 、 $-CF_3$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキル、 $-(C_1-C_4)$ アルコキシおよび $-C(O)CH_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェニル、(m)ハロゲン、 $-OCF_3$ 、 $-CF_3$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキル、 $-(C_1-C_4)$ アルコキシおよび $-C(O)CH_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ナフチル、(n) $-C(O)R^{35}$ 、(o) $-(C_0-C_6)$ アルキル- $C(O)NR^{35}R^{36}$ 、(p) $-(C_0-C_6)$ アルキル- $C(O)R^{38}$ 、(q) $-NR^{35}R^{36}$ 、(r) $-NR^{35}-C(O)NR^{35}R^{36}$ 、(s) $-NR^{35}-C(O)R^{36}$ 、(t) $-OR^{37}$ 、(u) $-SR^{37}$ 、(v) $-(C_3-C_{10})$ シクロアルキル、(w)ヒドロキシおよびハロから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い1個以上の $-(C_1-C_6)$ アルキルで任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ビリジニル、(x)ヒドロキシおよびハロから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い1個以上の $-(C_1-C_6)$ アルキルで任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ビペリジニル、(y) $-SO_2-R^{37}$ 、(z) $-SO_2-NR^{35}R^{36}$ または(a1) $-S-$ フェニル- $CH_2OH$ であり； $R^{38}$ は、(a) $-(C_1-C_6)$ アルキル、(b) $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェニル、(c)1個から3個の $CF_3$ で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェナントレニル、(d) $-(C_0-C_6)$ アルキル-ピロリジニルまたは(e) $-(C_0-C_6)$ アルキル-モルホリニルであり；または、同じ可変因子内のいずれかの例のいずれかの2つのZ基は、共に、(a)一般式 $-(CH_2)_x$ の炭素環式環または(b) $-O(CH_2)_xO-$ 、 $-(CH_2)_xNH-$ および $-CH=CHNH-$ から成る群から選ばれる複素環式環を形成し；mは、0、1または2であ

り; nは、0、1、2または3であり; bは、3、4、5、6または7であり; c、f、g、jおよびkは、それぞれ独立に2、3、4、5または6であり; そしてeは、3、4、5、6または7であり; 但し、一般式Iの化合物において、1) R<sup>4</sup>の置換基-C(R<sup>14</sup>)(R<sup>15</sup>)(R<sup>16</sup>)は、(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル以外であり; そして2) R<sup>8</sup>が、-C(O)-OR<sup>9</sup>または-C(O)NR<sup>10</sup>R<sup>11</sup>である場合、R<sup>4</sup>は、ハロのみである】。

【請求項2】 Wが酸素である、請求項1で明確にした通りの化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項3】 R<sup>1</sup>が3'の位置にあり、R<sup>2</sup>が5'の位置にあり、R<sup>3</sup>が2'の位置にあり、R<sup>4</sup>が3'の位置にあり、R<sup>5</sup>が4'の位置にあり、そしてR<sup>6</sup>が5'の位置にある、請求項2で明確にした通りの化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項4】 R<sup>3</sup>が水素であり、R<sup>5</sup>がヒドロキシまたはメトキシであり、R<sup>6</sup>が水素であり、R<sup>7</sup>が水素であり、そしてR<sup>8</sup>が水素である、請求項3で明確にした通りの化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項5】 R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>が、それぞれ独立にメチル、プロモまたはクロロであり、R<sup>5</sup>がヒドロキシである、請求項4で明確にした通りの化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項6】 R<sup>4</sup>がS(O)<sub>2</sub>NR<sup>21</sup>R<sup>22</sup>であり; R<sup>21</sup>が、水素またはメチルであり; そしてR<sup>22</sup>が、(a)-(C<sub>5</sub>-C<sub>8</sub>)アルキル、(b)ビシクロ[2.2.1]ヘプター-2-イル、(c)1,2,3,4-テトラヒドロ-ナフタレン-1-イル、(d)シクロブチル、(e)シクロペンチル、(f)シクロヘキシルまたは(g)1個以上のフルオロで任意に置換されても良いフェニルであり; または、R<sup>21</sup>およびR<sup>22</sup>は、それらが結合している窒素原子と共にhetを形成し; hetは、(a)メチルおよびフェニルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビベリジニル、(b)ピロリジニル、(c)1,3,3-トリメチル-6-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタン、(d)インドリニル、(e)スピロ[8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'-(3'H)-ジヒドロフラン]、(f)スピロ[8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'-(1,3)ジオキサラン]または(g)オキソおよびヒドロキシから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い8-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタンである、請求項5で明確にした通りの化合物または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項7】 R<sup>4</sup>が-C(O)NR<sup>19</sup>R<sup>20</sup>であり; R<sup>19</sup>が水素であり; そしてR<sup>20</sup>が、(a)1個以上の-C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>OHで任意に置換されても良いシクロペンチル、(b)-C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>OHおよびメチルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビシクロ[2.2.1]ヘプター-2-イル、または(c)1個以上のメチルで任意に置換されても良いビシクロ[3.1.1]ヘプター-3-イルであり; またはR<sup>19</sup>およびR<sup>20</sup>は、Nと共にhetを形成し; hetは、(a)メチルおよびフェニルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビベリジニル、(b)ピロリジニル、(c)アゼパニル、(d)インドリニルまたは(e)3,4-ジヒドロ-1H-イソキノリニルである、請求項5で明確にした通りの化合物または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項8】 R<sup>4</sup>が、-S(O)<sub>2</sub>R<sup>22</sup>であり; そしてR<sup>22</sup>が、(a)メチルおよびエチルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニル、(b)インダニルまたは(c)-(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)-(C<sub>4</sub>-C<sub>6</sub>)シクロアルキルである、請求項5で明確にした通りの化合物または薬学的に許容することのできる塩。

【請求項9】 哺乳類における肥満、過体重状態、高脂血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不全、緑内障およびうつ病性心不全から成る群から選ばれる症状の治療用医薬の製造のための、請求項1の化合物、その異性体、当該化合物もしくは異性体のプロドラッグ、または当該化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩の使用法。

【請求項10】 一定量の請求項1の化合物、その異性体、当該化合物もしくは異性体のプロドラッグ、または当該化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩; および薬学的に許容することのできる担体、賦形剤または希釈剤を含む、医薬組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

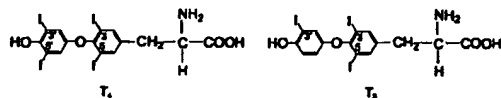
【発明の属する技術分野】本発明は、新規な甲状腺受容体リガンドに関し、更に詳しくは、肥満、過体重状態、高脂血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌ならびに糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不全、緑内障およびうつ病性心不全のような関連の障害および疾患の治療に有用である新規な6-アザウラシル及びその誘導体に関する。やはり提供されるものは、このような疾患および障害を治療するための方法、医薬組成物およびキットである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】甲状腺

ホルモン、特に、生物学的に活性なヨードチロニンは、正常な発育、代謝性恒常性を維持するのに重要であることが、一般に受け入れられている。甲状腺ホルモンは、コレステロールの胆汁酸への代謝を刺激し、他のホルモンに対する脂肪細胞の脂肪分解応答を増大させる。

【0003】また、甲状腺ホルモンは、直接および間接的に両方で、例えば、代謝率を増加させることにより心機能に影響する。例えば、視脈、増加した心拍出量、増加した心係数、心肥大、減少した末梢血管抵抗および増加した脈圧が、甲状腺機能亢進症の患者において観察される。



T<sub>3</sub> は、2種の内より生物学的に活性であり、上記で提供された構造式から分かることであるが、5'の沃素が無いことによりT<sub>4</sub>と異なる。T<sub>3</sub>は、甲状腺から直接、または末梢組織でデヨージナーゼ (deiodinase) 酵素による5'の沃素の除去により生成される。甲状腺ホルモン模倣類似体は、しばしば、構造的にT<sub>3</sub>に似ているように設計される。更に、T<sub>3</sub>の天然に存在する代謝物が、知られている。

【0006】上記で考察したように、甲状腺ホルモンは、例えば、心拍数の増加、よって酸素消費の増加を引き起こすことにより心機能に影響する。酸素の消費の増加は、特定の所望の代謝作用に帰するかもしれないが、ある状況では、有害な副作用を起こしかねない心臓に対する余分な負荷がかかる。従って、ネイチャー (Nature), Vol. 324: pp. 425-429 (1986)に公開された論文でA. H. アンダーウッド (A. H. Underwood) 等により述べられたように当業界で公知であるが、上記で言及した不利な心臓の作用を起こすことなく脂質および血清コレステロールを低下させるよう機能する甲状腺ホルモン類似体を合成する努力が為されてきた。

【0007】特定の6-アザウラシル及びその誘導体が、当業界で公知である。米国特許第3,905,971号および第3,912,723号は、特定の2-フェニル-アストリアジン-3,5(2H,4H)ジオン類および特定の2-置換-フェニル-アストリアジン-3,5(2H,4H)ジオン類ならびにコクシジウム症の制御のための薬物としてのそれらの使用方法を開示している。

【0008】米国特許第3,883,527号および第3,883,528号は、コクシジウム抑制薬として有用である特定の2-アリール-アストリアジン-3,5(2H,4H)-ジオン類を製造する方法を開示している。

【0009】カナダ国特許第979457号および第9

【0004】甲状腺の疾患は、一般に、天然に存在する甲状腺ホルモンまたは甲状腺ホルモンの作用を模倣する甲状腺ホルモン模倣類似体のいずれかを投与することによるホルモン置換で治療する。

【0005】2種の天然に存在する甲状腺ホルモン、即ち、チロキシン即ち3,5,3',5'-テトラヨード-L-チロニン (普通、'T<sub>4</sub>'と呼ばれる) および3,5,3'-トリヨード-L-チロニン (普通、'T<sub>3</sub>'と呼ばれる) を、下記に示す：

【化2】

92538号は、それらの化合物がコクシジウム症を制御するのに有用である特定の2-フェニル-アストリアジン-3,5(2H,4H)ジオン類、その誘導体、この化合物を含有する組成物およびこの化合物を調製する方法を開示している。

【0010】米国特許第3,896,172号および第3,852,289号は、それらの化合物がコクシジウム症抑制薬として有用である、p-クロロフェニルチオ-置換2-アリール部分を有する特定の1,2,4-トリアジン-3,5(2H,4H)ジオン類を調製する方法を開示している。

【0011】米国特許第3,882,115号および第3,883,525号は、例えば2-クロロフェノキシおよび2-クロロ-4-(N-メチル-N-エチルスルファモイル)フェノキシで置換される2-アリール部分を有する特定の1,2,4-トリアジン-3,5(2H,4H)ジオン類を調製する方法を開示している。

【0012】米国特許第5,256,631号および南アフリカ共和国特許第91/7390号は、特定の置換1,2,4-トリアジンジオン類、それらの調製法および抗原虫薬としての使用方法を開示している。ドイツ特許第2532363号は、4-アミノフェノキシ置換2-フェニル基を有する特定の1,2,4-トリアジン-3,5(2H,4H)-ジオン化合物を開示している。南アフリカ共和国特許第73/9126号は、特定の2-アリール-6-カルボキシ-1,2,4-トリアジン-3,5(2H,4H)-ジオン類を調製する方法を開示している。

【0013】米国特許第4,640,917号は、原虫疾患を制御するのに有用である置換2-フェニル-ヘキサヒドロ-1,2,4-トリアジン-3,5-ジオン類を開示している。米国特許第4,198,407号は、特定の置換2-フェニル-1,2,4-トリアジン-3,5(2H,4H)-ジオン類及びそれらを含有するコクシ

ジウム抑制薬を開示している。

【0014】公開されたヨーロッパ特許出願第0 73 7 672号は、2の位置に置換基を有する1, 2, 4-トリアジン-3-オン誘導体の製造方法を開示している。米国特許第4, 239, 888号は、特定の1-フェニルウラシル類およびコクシジウム抑制薬としてのそれらの効用を開示している。

【0015】B. L. ミラリ(B. L. Mylari)等, J. Med. Chem. 1977, 20, 475-483; M. W. ミラー等, J. Med. Chem. 1979, 22, 1483-1487; およびM. W. ミラー等, J. Med. Chem. 1980, 23, 1083-1087は、6-アザウラシルの特定の抗コクシジウム誘導体を開示している。

【0016】M. W. ミラー等, J. Med. Chem. 1981, 24, 1337-1342は、硫化フェニルおよびフェニルスルホン置換を有する6-アザウラシルの特定の抗コクシジウム誘導体を開示している。

【0017】R. D. キャロル(R. D. Carroll)等, J. Med. Chem. 1983, 26, 96-100は、p-ベンゾフェノン置換を有する6-アザウラシルの特定の抗コクシジウム誘導体を開示している。

【0018】K. -B. リュー(K. B. Rhyu)等, J. Chem. Inf. Comput. Sci. (1996), 36(3), 620; K. -B. リュー等, J. Chem. Inf. Comput. Sci. (1995), 35(4), 771-8; A. C. グッド(A. C. Good)等, J. Med. Chem. (1993), 36(20), 2929-37; J. W. マクファーランド(J. W. McFarland), J. Med. Chem. (1992), 35(14), 2543-50; およびJ. W. マクファーランド等, J. Med. Chem. (1991), 34(6), 1908-11は、特定の抗コクシジウム2-(置換フェニル)-1, 2, 4-トリアジン-3, 5-(2H, 4H)-ジオン類の中の量的構造と活性の関係を研究するための種々の技法を開示している。

【0019】A. N. チェクロブ(A. N. Chelkov)等, Dokl. Akad. Nauk (1993), 329(5), 603-7は、2-[3, 5-ジクロロ-4-(m-トリフルオロメチルフェニル)フェニル]-1, 2, 4-トリアジン-3, 5-(2H, 4H)-ジオンの分子および結晶構造を開示している。

【0020】N. S. ゼフィロフ(N. S. Zefirov)等, Dokl. Akad. Nauk (1992), 327(4-6), 504-8は、2-置換1, 2, 4-トリアジン-3, 5-(2H, 4H)-ジオン類の構造と抗コクシジウム活性間の量的関係を開示している。

【0021】A. P. リケッツ(A. P. Ricketts)等, Antimicrob. Agents Chemother. (1992), 36(10), 2338-41は、アリールトリアジン化合物、即ち3-クロロ-4-[2-クロロ-4-(4, 5-ジヒドロ-3, 5-ジオキソ-1, 2, 4-トリアジン-2(3H)-イル)-6-メチルフェニル]-N-エチル-N-メチル-

ベンゼンスルホンアミドのような化合物のインビトロ抗コクシジウム活性とインビボ効能との関係の研究を開示している。

【0022】M. J. リンチ(M. J. Lynch)およびS. K. フィグダー(S. K. Figdor), J. Agric. Food Chem. (1977), 25(6), 1344-53は、ニワトリ、ラット、イヌおよびサルにおけるチアズリル、即ち2-[3, 5-ジメチル-4-(4-クロロフェニルチオ)フェニル]-a-トリアジン-3, 5-(2H, 4H)-ジオンに関する組織残分および比較代謝研究を開示している。

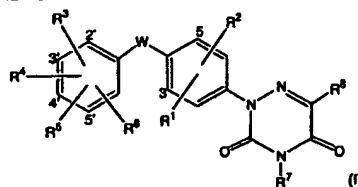
【0023】J. F. リレー(J. F. Ryley)等, Parasitology (1974), 68(Pt. 1), 69-79は、アザウラシル誘導体、即ち2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-クロロフェニルチオ)フェニル]-a-トリアジン-3, 5-(2H, 4H)-ジオンの抗コクシジウム活性を開示している。

【0024】前述のものを含む本明細書で引用した参考文献の全てを、参照により本明細書にそれらの全体を含めるものとする。

【0025】

【課題を解決するための手段】本発明は、一般式Iの化合物

【化3】



その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、またはこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩を提供する【ここで、Wは、(a)-O-, (b)-S(O)<sub>m</sub>-, (c)-NR<sup>30</sup>-, (d)-C(O)-, (e)-HC=CH-, (f)-CH<sub>2</sub>-, (g)-CHF-, (h)-CF<sub>2</sub>-または(i)-CH(OH)-であり; R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は、独立に、(a)水素、(b)ハロゲン、(c)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(d)-CN、(e)-OR<sup>12</sup>または(f)-トリフルオロメチルであり; R<sup>3</sup>は、(a)水素、(b)ハロゲン、(c)ハロゲン、-OCF<sub>3</sub>および-CF<sub>3</sub>から成る群から独立に選ばれる1個から3個の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(d)-CN、(e)-OR<sup>12</sup>、(f)-トリフルオロメチル、(g)-NO<sub>2</sub>、(h)-SO<sub>2</sub>-R<sup>13</sup>、(i)-C(O)<sub>2</sub>R<sup>9</sup>、(j)-C(O)NR<sup>19</sup>R<sup>20</sup>、(k)-C(O)R<sup>16</sup>、(l)-NR<sup>21</sup>C(O)-NR<sup>21</sup>R<sup>22</sup>、(m)-NR<sup>19</sup>-C(O)R<sup>20</sup>または(n)

$\text{-NR}^{17}\text{R}^{18}$  であり;  $\text{R}^4$  は、(a)  $\text{-C}(\text{R}^{14})(\text{R}^{15})(\text{R}^{16})$ 、(b)  $\text{-(C}_0\text{-C}_3\text{)}\text{アルキル-NR}^{17}\text{R}^{18}$ 、(c)  $\text{-C(O)NR}^{19}\text{R}^{20}$ 、(d)  $\text{-NR}^{19}\text{-C(O)-R}^{20}$ 、(e)  $\text{-(C}_0\text{-C}_3\text{)}\text{アルキル-NR}^{21}\text{-C(O)-NR}^{21}\text{R}^{22}$ 、(f)  $\text{-S(O)}_m\text{-R}^{22}$ 、(g)  $\text{-S(O)}_2\text{-NR}^{21}\text{R}^{22}$ 、(h)  $\text{-NR}^{21}\text{-S(O)}_2\text{-R}^{22}$ 、(i)  $\text{-アリール}$ 、(j)  $\text{-het}$ 、(k)  $\text{-OR}^{23}$  または (l) ハロゲンであるが、但し、置換基 (f) および (h) における  $\text{R}^{22}$  は  $\text{-OR}^{24}$  以外であり、但し、置換基 (b) が  $\text{-(C}_0\text{)}\text{アルキル-NR}^{17}\text{R}^{18}$  である場合、 $\text{R}^{18}$  は、 $\text{-C(O)-R}^{28}$  または  $\text{-S(O)}_2\text{-R}^{29}$  以外であり; または  $\text{R}^{23}$  および  $\text{R}^{24}$  は、共に一般式  $\text{-(CH}_2\text{)}_b\text{-}$  の炭素環式環または  $\text{-Q-(CH}_2\text{)}_c\text{-}$  および  $\text{-(CH}_2\text{)}_j\text{-Q-(CH}_2\text{)}_k\text{-}$  から成る群から選ばれる複素環式環を形成し (ここで、 $\text{Q}$  は、 $\text{O}$ 、 $\text{S}$  もしくは  $\text{NR}^{25}$  である)、ここで、この炭素環式環は、基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良く、そしてこの複素環式環は、基  $\text{Z}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良く;  $\text{R}^5$  は、 $\text{-OR}^{23}$  であり; または  $\text{R}^4$  および  $\text{R}^5$  は、共に  $\text{-CR}^{31}=\text{CR}^{32}\text{-NH-}$ 、 $\text{-N}=\text{CR}^{31}\text{-NH-}$ 、 $\text{-CR}^{31}=\text{CR}^{32}\text{-O-}$  および  $\text{-CR}^{31}=\text{CR}^{32}\text{-S-}$  から成る群から選ばれる複素環式環を形成しても良く;  $\text{R}^6$  は、(a) 水素、(b) ハロゲン、(c) ハロゲン、 $\text{-OCF}_3$  および  $\text{-CF}_3$  から成る群から独立に選ばれる 1 個から 3 個の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$ 、(d)  $\text{-CN}$ 、(e)  $\text{-OR}^{12}$ 、(f)  $\text{-トリフルオロメチル}$ 、(g)  $\text{-NO}_2$ 、(h)  $\text{-SO}_2\text{-R}^{13}$ 、(i)  $\text{-C(O)}_2\text{R}^9$ 、(j)  $\text{-C(O)NR}^{19}\text{R}^{20}$ 、(k)  $\text{-C(O)R}^{16}$ 、(l)  $\text{-NR}^{21}\text{C(O)-NR}^{21}\text{R}^{22}$ 、(m)  $\text{-NR}^{19}\text{-C(O)R}^{20}$  または (n)  $\text{-NR}^{17}\text{R}^{18}$  であり;  $\text{R}^7$  は、(a) 水素、(b) 各炭素原子が 1 個から 3 個のハロ原子で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_4\text{)}\text{アルキル}$  または (c)  $\text{-C(CH}_2\text{)}_n\text{COOR}^9$  であり;  $\text{R}^8$  は、(a) 水素、(b)  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$ 、(c)  $\text{-C(O)-OR}^9$ 、(d)  $\text{-C(O)NR}^{10}\text{R}^{11}$  または (e)  $\text{-CN}$  であるが、但し、置換基 (c) における  $\text{R}^9$  は、メチルまたはエチル以外であり、但し、置換基 (d) における  $\text{R}^{10}$  および  $\text{R}^{11}$  は、両方とも水素ではなく;  $\text{R}^9$  は、(a) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(b) フェニルで任意に置換されても良い  $\text{-(C}_2\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルケニル}$ 、(c)  $\text{-(C}_2\text{-C}_{12}\text{)}\text{ジアルケニル}$ 、(d)  $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$ 、(e)  $\text{-アリール}$  または (f)  $\text{-het}$  であり;  $\text{R}^{10}$  および  $\text{R}^{11}$  は、独

立に、(a) 水素、(b) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(c) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$ 、(d)  $\text{-(C}_2\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルケニル}$  または (e)  $\text{-het}$  であり; または、いずれの例の  $\text{R}^{10}$  および  $\text{R}^{11}$  も、それらが結合している窒素原子と共に  $\text{het}$  を形成することができ;  $\text{R}^{12}$  は、(a) 水素または (b) 各炭素原子が 1 個から 3 個のフルオロ原子で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$  であり;  $\text{R}^{13}$  は、(a) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(b)  $\text{-(C}_2\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルケニル}$ 、(c)  $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$ 、(d)  $\text{-NR}^{17}\text{R}^{18}$ 、(e)  $\text{-アリール}$  または (f)  $\text{-het}$  であり;  $\text{R}^{14}$  は、(a) 水素、(b)  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$  または (c)  $\text{-O-R}^{34}$  であり;  $\text{R}^{15}$  は、(a) 水素または (b)  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$  であり; または  $\text{R}^{14}$  および  $\text{R}^{15}$  は、それらが結合している炭素原子と共にカルボニル基を形成し;  $\text{R}^{16}$  は、(a) 水素、(b) 各炭素原子が 1 個から 3 個のフルオロ原子で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$ 、(c)  $\text{-(C}_0\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル}$   $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$ 、(d)  $\text{-(C}_0\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル-アリール}$  または (e)  $\text{-(C}_0\text{-C}_6\text{)}\text{アルキル-het}$  であり;  $\text{R}^{17}$  は、(a) 水素、(b) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(c)  $\text{-アリール}$ 、(d)  $\text{-het}$ 、(e)  $\text{-OR}^{34}$  または (f)  $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$  であり;  $\text{R}^{18}$  は、(a) 水素、(b) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個以上の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(c)  $\text{-アリール}$ 、(d)  $\text{-het}$ 、(e)  $\text{-C(O)-R}^{28}$  (f)  $\text{-S(O)}_2\text{-R}^{29}$ 、(g)  $\text{-OR}^{34}$  または (h)  $\text{-(C}_3\text{-C}_{10}\text{)}\text{シクロアルキル}$  であり; 又はいずれの例の  $\text{R}^{17}$  および  $\text{R}^{18}$  も、それらが結合している窒素原子と共に  $\text{het}$  を形成し; 各例の  $\text{R}^{19}$  および  $\text{R}^{20}$  は、独立に、(a) 水素、(b) 基  $\text{V}$  から独立に選ばれる 1 個から 3 個の置換基で任意に置換されても良い  $\text{-(C}_1\text{-C}_{12}\text{)}\text{アルキル}$ 、(c)



-アリール、(d)-het、(e)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキルまたは(f)-OR<sup>34</sup> であり；またはR<sup>21</sup> およびR<sup>22</sup> は、それらが結合している窒素原子と共にhetを形成し；R<sup>23</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>) アルキルまたは(c)-C(O)-R<sup>24</sup> であり；R<sup>24</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(d)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(e)-アリールまたは(f)-hetであり；各例のR<sup>25</sup> は、独立に(a) 水素、(b)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(c)-COR<sup>29</sup> または(d)-SO<sub>2</sub>R<sup>29</sup> であり；各例のR<sup>26</sup> およびR<sup>27</sup> は、独立に、(a) 水素、(b)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(d)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-アリール、または(e)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-hetであり；R<sup>28</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(d)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(e)-アリールまたは(f)-hetであり；R<sup>29</sup> は、(a) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(b)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(c)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(d)-アリールまたは(e)-hetであり；R<sup>30</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(d)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(e)-アリールまたは(f)-hetであり；R<sup>31</sup> または(f)-S(O)<sub>m</sub>-R<sup>32</sup> であり；R<sup>31</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(d)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(e)-アリールまたは(f)-hetであり；R<sup>32</sup> は、(a) 水素、(b) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニル、(d)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル、(e)-アリールまたは(f)-hetであり；R<sup>33</sup> は、(a)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-アリール、(b)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-het、(c) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>7</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(d) 少なくとも1個の炭素原子が1個から3個のフルオロ原子で置換される-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(e)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニルまたは(f)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シク

ロアルキルであり；R<sup>34</sup> は、(a)-アリール、(b)-het、(c) 基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>) アルキル、(d)-(C<sub>2</sub>-C<sub>12</sub>) アルケニルまたは(e)-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキルであり；各例の-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキルは、3個から10個の炭素原子を含有する完全に又は部分的に飽和した単、二または三環式環であり；ここで、二環式環において、単環式シクロアルキル環は、別のシクロアルキル環に結合したスピロであるか、又は、2個の炭素原子を介してベンゼン環もしくは別のシクロアルキル環に結合しており；ここで、三環式環において、二環式環は、シクロアルキル環に結合したスピロであるか、又は、2個の原子を介してベンゼン環もしくは別のシクロアルキル環に結合しており；この-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキルは、炭素、酸素、硫黄および窒素から独立に選ばれる1個から3個の架橋原子を任意に含有しても良く；これらの架橋原子は、環内の2個の炭素原子に結合しており；これらの架橋原子は、-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキルおよびヒドロキシから独立に選ばれる1個から3個の基で任意に置換されても良く；このシクロアルキル環は、その部分が単環式であれば1個の環、その部分が二環式であれば1個もしくは両方の環、又はその部分が三環式であれば1個、2個もしくは3個の環上で、基Vから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良く；基Vは、(a) 1個もしくは2個のヒドロキシで任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(b)-(C<sub>2</sub>-C<sub>5</sub>) アルケニル、(c)-ハロゲン、(d)-NR<sup>35</sup>R<sup>36</sup>、(e)-NO<sub>2</sub>、(f)-OCF<sub>3</sub>、(g)-OR<sup>37</sup>、(h)-SR<sup>37</sup>、(i)-オキソ、(j)-トリフルオロメチル、(k)-CN、(l)-C(O)NR<sup>35</sup>-OH、(m)-COOR<sup>35</sup>、(n)-O-C(O)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(o) CNで任意に置換されても良い-(C<sub>3</sub>-C<sub>10</sub>) シクロアルキル(p)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-アリール、(q)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-het、(r)-C(O)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキルまたは(s)-C(O)-アリールであり；各例のR<sup>35</sup> およびR<sup>36</sup> は、独立に、(a) 水素、(b)-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキルまたは(c)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-アリールであり；R<sup>37</sup> は、(a) 水素、(b) 1個以上のハロ、ヒドロキシもしくはメトキシで任意に置換されても良い-(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル、(c)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-アリールまたは(d)-(C<sub>0</sub>-C<sub>6</sub>) アルキル-hetであり；アリールは、(a) 基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニル、(b) 基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いナフチルまたは(c) 基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビフェニルであ

り；各例のhetは、酸素、硫黄および窒素から成る群から独立に選ばれる1個から4個のヘテロ原子を含有する4-, 5-, 6-, 7-および8-員の完全に飽和した、部分的に飽和した又は完全に未飽和の単、二または三環式複素環式環であり；ここで、二環式環において、単環式複素環式環は、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは完全に若しくは部分的に飽和した別の複素環式環に縮合したスピロであるか、または、2個の原子を介してベンゼン環、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは別の複素環式環に縮合しており；ここで、三環式環において、二環式環は、 $-(C_3-C_8)$ シクロアルキル環もしくは完全に若しくは部分的に飽和した別の複素環式環に縮合したスピロであるか、または、2個の原子を介してベンゼン環、 $(C_3-C_6)$ シクロアルキル環もしくは別の複素環式環に縮合しており；このhetは、酸素、硫黄および窒素から独立に選ばれる1個から3個の架橋原子を任意に含有しても良く；これらの架橋原子は、環内の2個の別の原子に結合しており；これらの架橋原子は、 $-(C_1-C_6)$ アルキルおよびヒドロキシから独立に選ばれる1個から3個の基で任意に置換されても良く；このhetは、炭素上で置換された1個もしくは2個のオキソ基または硫黄上で置換された1個もしくは2個のオキソ基を任意に有しても良く；このhetは、その部分が単環式であれば1個の環、その部分が二環式であれば1個もしくは両方の環、又はその部分が三環式であれば1個、2個もしくは3個の環上の炭素もしくは窒素上で、基Zから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良く；各例の基Zは、独立に、(a)水素、(b)ハロゲン、(c)トリフルオロメチル、(d)ヒドロキシ、(e) $-OCF_3$ 、(f) $-CN$ 、(g) $-NO_2$ 、(h)ヒドロキシ、ハロゲン、 $-OCF_3$ および $-CF_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_1-C_6)$ アルキル、(i)フェニルで任意に置換されても良い $-(C_2-C_6)$ アルケニル、(j) $-(C_2-C_5)$ アルキニル、(k) $-(C_1-C_6)$ アルコキシ、(l)ハロゲン、 $-OCF_3$ 、 $-CF_3$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキル、 $-(C_1-C_4)$ アルコキシおよび $-C(O)CH_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェニル、(m)ハロゲン、 $-OCF_3$ 、 $-CF_3$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキル、 $-(C_1-C_4)$ アルコキシおよび $-C(O)CH_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ナフチル、(n) $-C(O)_2R^{35}$ 、(o) $-(C_0-C_6)$ アルキル- $C(O)NR^{35}R^{36}$ 、(p) $-(C_0-C_6)$ アルキル- $C(O)R^{38}$ 、(q) $-NR^{35}R^{36}$ 、(r) $-NR^{35}-C(O)NR^{35}R^{36}$ 、(s) $-NR^{35}-C(O)R^{36}$ 、(t) $-OR^{37}$ 、(u)

$-SR^{37}$ 、(v) $-(C_3-C_{10})$ シクロアルキル、(w)ヒドロキシおよびハロから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い1個以上の $-(C_1-C_6)$ アルキルで任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ビリジニル、(x)ヒドロキシおよびハロから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い1個以上の $-(C_1-C_6)$ アルキルで任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-ピペリジニル、(y) $-SO_2-R^{37}$ 、(z) $-SO_2-NR^{35}R^{36}$ または(a1) $-S$ -フェニル- $CH_2OH$ であり； $R^{38}$ は、(a) $-(C_1-C_6)$ アルキル、(b) $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェニル、(c)1個から3個の $CF_3$ で任意に置換されても良い $-(C_0-C_6)$ アルキル-フェナントレニル、(d) $-(C_0-C_6)$ アルキル-ピロリジニルまたは(e) $-(C_0-C_6)$ アルキル-モルホリニルであり；または、同じ可変因子内のいずれかの例のいずれかの2つのZ基は、共に、(a)一般式 $-(CH_2)_f$ 、 $-O$ 、 $-(CH_2)_gNH$ および $-CH=CHNH$ から成る群から選ばれる複素環式環を形成し；mは、0、1または2であり；nは、0、1、2または3であり；bは、3、4、5、6または7であり；c、f、g、jおよびkは、それぞれ独立に2、3、4、5または6であり；そしてeは、3、4、5、6または7であり；但し、一般式Iの化合物において、1)  $R^4$ の置換基 $-C(R^{14})(R^{15})(R^{16})$ は、 $(C_1-C_4)$ アルキル以外であり；そして2)  $R^8$ が、 $-C(O)-OR^9$ または $-C(O)NR^{10}R^{11}$ である場合、 $R^4$ は、ハロのみである】。

【0026】更に詳しくは、本発明は、Wが酸素である、一般式Iの化合物、及びそのプロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0027】更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ が3の位置にあり、 $R^2$ が5の位置にあり、 $R^3$ が2'の位置にあり、 $R^4$ が3'の位置にあり、 $R^5$ が4'の位置にあり、そして $R^6$ が5'の位置にある、一般式Iの化合物、及びそのプロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0028】更に詳しくは、本発明は、 $R^3$ が水素であり、 $R^5$ がヒドロキシまたはメトキシであり、 $R^6$ が水素であり、 $R^7$ が水素であり、そして $R^8$ が水素である、一般式Iの化合物、及びそのプロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0029】更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれ独立にメチル、プロモまたはクロロである、一般式Iの化合物、及びそのプロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0030】更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $S(O)_2NR^{21}R^{22}$ であり； $R^{21}$ が、水素またはメチル

であり；そして $R^{2,2}$ が、(a)  $-(C_5-C_8)$ アルキル、(b) ビシクロ[2.2.1]ヘプチ-2-イル、(c) 1,2,3,4-テトラヒドロナフタレン-1-イル、(d) シクロブチル、(e) シクロペンチル、(f) シクロヘキシルまたは(g) 1個以上のフルオロで任意に置換されても良いフェニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ がメチルまたはクロロであり、 $R^2$ がメチルまたはクロロであり、 $R^5$ がヒドロキシであり、そして $R^{2,1}$ が水素であるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0031】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $S(O)_2NR^{1,7}R^{2,2}$ であり； $R^{2,1}$ および $R^{2,2}$ が、それらが結合している窒素原子と共にhetを形成し；そしてhetが、(a) メチルおよびフェニルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビベリジニル、(b) ビロリジニル、(c) 1,3,3-トリメチル-6-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタニル、(d) インドリニル、(e) スピロ[8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'- $-(3'H)$ -ジヒドロフラン]、(f) スピロ[8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'-[1,3]ジオキサラン]または(g) オキソおよびヒドロキシから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良い8-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ がメチルまたはクロロであり、 $R^2$ がメチルまたはクロロであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0032】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $-C(O)NR^{1,9}R^{2,0}$ であり； $R^{1,9}$ が水素であり；そして $R^{2,0}$ が、(a) 1個以上の $-CH_2OH$ で任意に置換されても良いシクロペンチル、(b)  $-CH_2OH$ およびメチルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いビシクロ[2.2.1]ヘプチ-2-イル、または(c) 1個以上のメチルで任意に置換されても良いビシクロ[3.1.1]ヘプチ-3-イルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ 及び $R^2$ が、それぞれクロロまたはジブromoであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0033】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が、 $C(O)NR^{1,9}R^{2,0}$ であり； $R^{1,9}$ および $R^{2,0}$ が、Nと共にhetを形成し；hetが、(a) メチルおよびフェニルから成る群から独立に選ばれる1個

以上の置換基で任意に置換されても良いビベリジニル、(b) ビロリジニル、(c) アゼパニル、(d) インドリニルまたは(e) 3,4-ジヒドロ-1H-イソキノリニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれクロロであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0034】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $-CH_2-NR^{1,7}R^{1,8}$ であり； $R^{1,7}$ が水素であり；そして $R^{1,8}$ が、(a) メチルおよびフルオロから独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニル、(b) ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イルまたは(c) イングニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれクロロまたはブromoであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0035】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $-CH_2-NR^{1,7}R^{1,8}$ であり； $R^{1,7}$ および $R^{1,8}$ が、それらが結合している窒素原子と共にhetを形成し；そしてhetが、1個以上のメチルで任意に置換されても良いビベリジニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれクロロであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0036】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が $-NR^{1,9}-C(O)-R^{2,0}$ であり； $R^{1,9}$ が水素であり；そして $R^{2,0}$ が、(a) シクロヘキシル、(b)  $-OCF_3$ 、フルオロおよび $-CF_3$ から成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニル、(c) メチルで任意に置換されても良い-イソオキサゾリルまたは(d)  $-(C_3-C_5)$ アルキルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれクロロであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0037】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$ が、 $-S(O)_2R^{2,2}$ であり；そして $R^{2,2}$ が、(a) メチルおよびエチルから成る群から独立に選ばれる1個以上の置換基で任意に置換されても良いフェニルまたは(b) イングニルである。一般式Iの化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$ および $R^2$ が、それぞれクロロであり、そして $R^5$ がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

する。

【0038】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$  が、 $-C(R^{14})(R^{15})(R^{16})$  であり； $R^{14}$  がヒドロキシであり； $R^{15}$  が水素であり；そして  $R^{16}$  が、(a) 1個以上のフルオロで任意に置換されても良いフェニルまたは (b)  $-(C_1-C_5)$  アルキルである、一般式 I の化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$  が、メチル、クロロまたはブロモであり；そして  $R^2$  が、メチル、クロロまたはブロモであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0039】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$  が、 $-C(R^{14})(R^{15})(R^{16})$  であり； $R^{14}$  が水素またはメチルであり； $R^{15}$  が水素であり；そして  $R^{16}$  が、(a) 1個以上のフルオロで任意に置換されても良いフェニルまたは (b)  $-(C_1-C_5)$  アルキルである、一般式 I の化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$  が、メチル、クロロまたはブロモであり； $R^2$  が、メチル、クロロまたはブロモであり；そして  $R^5$  がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0040】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$  が、 $-C(R^{14})(R^{15})(R^{16})$  であり； $R^{14}$  および  $R^{15}$  が、それらが結合している炭素原子と共にカルボニル基を形成し；そして  $R^{16}$  が、(a) 1個以上のフルオロで任意に置換されても良いフェニルまたは (b)  $-(C_1-C_5)$  アルキルである、一般式 I の化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$  が、メチル、クロロまたはブロモであり； $R^2$  が、メチル、クロロまたはブロモであり；そして  $R^5$  がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

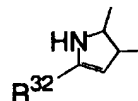
【0041】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$  が、 $-NR^{21}-C(O)-NR^{21}R^{22}$  であり；各  $R^{21}$  が、水素であり；そして  $R^{22}$  が、1個以上のクロロで任意に置換されても良いフェニルである、一般式 I の化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^1$  および  $R^2$  が、それぞれ、メチルまたはクロロであり；そして  $R^5$  がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0042】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^4$  が、 $NR^{21}-S(O)_2-R^{22}$  であり； $R^{21}$  が水素であり；そして  $R^{22}$  が、1個以上のフルオロで任意に置換されても良い  $-(C_0-C_2)$  アルキルフェニルである、一般式 I の化合物、及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。尚更に詳しくは、本発

明は、 $R^1$  が、クロロ、メチルまたはブロモであり； $R^2$  が、クロロ、メチルまたはブロモであり；そして  $R^5$  がヒドロキシであるような、化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0043】別の態様において、本発明は、 $R^1$  および  $R^2$  が、それぞれ独立にクロロまたはメチルであり； $R^3$  が水素であり； $R^4$  および  $R^5$  が、共に

【化4】



を形成し； $R^6$  が水素であり；そして  $R^{32}$  が水素またはメチルである、一般式 I の化合物並びにそのプロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0044】別の態様において、本発明は、 $R^3$  が水素であり； $R^4$  が Br であり； $R^5$  が、ヒドロキシまたはメトキシであり； $R^6$  が水素であり；そして  $R^7$  が水素である、一般式 I の化合物並びにそのプロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩を提供する。更に詳しくは、本発明は、 $R^1$  および  $R^2$  が、それぞれメチルであるような、化合物および薬学的に許容することのできるその塩を提供する。尚更に詳しくは、本発明は、 $R^8$  が、 $-C(O)NR^{10}R^{11}$  であり； $R^{10}$  が水素であり；そして  $R^{11}$  が、(a)  $-CH_2$ -フラニル、(b) 1個以上の  $CF_3$  で任意に置換されても良い  $-CH_2$ -フェニル、(c) 1個以上の CN で任意に置換されても良い  $-CH_2$ -シクロヘキシル、(d)  $-CH_2$ -ピリジニル、(e)  $-(CH_2)_3$ -イミダゾリルまたは (f)  $-(CH_2)_2-N(C_6H_5)_2$  であるような、化合物および薬学的に許容することのできるその塩を提供する。

【0045】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^8$  が、 $-C(O)NR^{10}R^{11}$  であり； $R^{10}$  および  $R^{11}$  が、それらが結合している窒素原子と共に、het を形成し；そして het が、(a) チアゾリジニルまたは (b) 1個以上のカルボン酸メチルエステルで任意に置換されても良い 4-オキソ-2-ピペリジニルである、一般式 I の化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0046】加えて、更に詳しくは、本発明は、 $R^8$  が、 $-C(O)OR^9$  であり；そして  $R^9$  が、1個以上の 4-アセチルフェニルで任意に置換されても良い  $-(CH_2)_2$ -ピペラジニルである、一般式 I の化合物及びその薬学的に許容することのできる塩を提供する。

【0047】特に断らない限り、本明細書で、'アルキル' は、場合によっては、例えば、メチル、エチル、n

ープロピル、イソプロピルおよびn-ブチル等を含む、直鎖または分枝鎖の炭化水素基を意味する。

【0048】「アルケニル」は、直鎖または分枝鎖の未飽和の一端の脂肪族基を意味する。

【0049】「アルコキシ」は、場合によっては、例えば、メトキシを含む、酸素により残りの分子に結合しているアルキル基を意味する。

【0050】「アルキニル」は、場合によっては、例えば、アセチレンを含む、1つの三重結合を有する直鎖または分枝鎖の非環式炭化水素基を意味する。

【0051】「炭素環式」（炭素環）は、場合によっては、アリール（1個の原子の除去により芳香族炭化水素から誘導される有機基、例えば、ベンゼンからフェニル、例えば、やはりナフチルも含まれる）を含む、その核内に炭素原子のみを有する未飽和、または部分的に若しくは完全に飽和した環を意味する。

【0052】「シクロアルカン」は、場合によっては、例えば、シクロヘキサンを含む、飽和した単環式炭化水素を意味する。

【0053】「シクロアルキル」は、場合によっては、例えば、シクロヘキシルを含む、シクロアルカンから誘導される単環式または多環式基を意味する。

【0054】「アリール」は、1個の原子の除去により芳香族炭化水素から誘導される有機基、例えば、ベンゼンからフェニルを意味する。他のアリール基としては、例えば、ナフチルおよびビフェニルが挙げられる。

【0055】「ハロ」または「ハロゲン」は、フッ素、塩素、臭素またはヨウ素元素から誘導される基を意味する。

【0056】特に断らない限り、本明細書で用いる場合、「複素環式」（「複素環」または「het」）としては、それぞれO、SおよびNから選ばれる1個以上のヘテロ原子、通常1個から4個のヘテロ原子を含有する芳香族および非芳香族複素環式基が含まれ、ここで、各複素環式基は、その環系内に4-10個の原子を有する。非芳香族複素環式基には、その環系内にたった4個の原子しか持たない基が含まれるが、芳香族複素環式基は、その環系内に少なくとも5個の原子を持たねばならない。複素環式基には、ベンゾ縮合した環系および1つ以上のオキシ部分で置換された環系が含まれる。4員の複素環式基の一例は、アゼチジン（アゼチジンから誘導される）である。5員の複素環式基の一例は、チアゾリルであり、10員の複素環式基の一例は、キノリルである。非芳香族複素環式基の例は、ピロリジニル、テトラヒドロフラニル、テトラヒドロチエニル、テトラヒドロピラニル、テトラヒドロチオピラニル、テトラヒドロキノリル、テトラヒドロイソキノリル、ピペリジノ、ピペリジル、モルホリノ、モルホリニル、チオモルホリノ、チオモルホリニル、チオキサニル、ピペラジニル、アゼチジニル、オキサセタニル、チエタニル、ホモピペリジニル、オキセバニル、チエバニル、オキサゼビニル、ジ

アゼビニル、チアゼビニル、1, 2, 3, 6-テトラヒドロピリジニル、2-ピロリニル、3-ピロリニル、インドリニル、2H-ピラニル、4H-ピラニル、ジオキサニル、1, 3-ジオキサニル、ピラゾリニル、ジチアニル、ジチオラニル、ジヒドロピラニル、ジヒドロチエニル、ジヒドロフラニル、ピラゾリジニル、イミダゾリニル、イミダゾリジニル、3-アザビシクロ〔3, 1, 0〕ヘキサニル、3-アザビシクロ〔4, 1, 0〕ヘプタニル、3H-インドリルおよびキノリジニルである。芳香族複素環式基の例は、ピリジニル、イミダゾリル、ピリミジニル、ピラゾリル、トリアゾリル、ピラジニル、テトラゾリル、フリル、チエニル、イソオキサゾリル、チアゾリル、オキサゾリル、イソチアゾリル、ピロリル、キノリニル、イソキノリニル、インドリル、ベンゾイミダゾリル、ベンゾフラニル、シンノリニル、インダゾリル、インドリジニル、フタラジニル、ピリダジニル、トリアジニル、イソインドリル、アテリジニル、アリニル、オキサジアゾリル、チアジアゾリル、フラニル、ベンゾフラニル、ベンゾチオフェニル、ベンゾチアゾリル、ベンゾオキサゾリル、キナゾリニル、キノキサリニル、ナフチリジニル、およびフロピリジニルである。前述の基は、そのようなものが可能である場合、Cに結合またはNに結合しても良い。例えば、ピロールから誘導される基は、ピロール-1-イル（Nに結合）またはピロール-3-イル（Cに結合）であっても良い。

【0057】複素環式基が、一般式Iの化合物の置換基として特に列挙される又は扱われる場合、特に断らない限り、このような複素環式基の全ての適切な異性体を意図しているということである。

【0058】「水和物」は、1つ以上の結晶の水分子を含有する化合物又はその塩の結晶形態、即ち、分子形態で結合した水を含有する一般式Iの化合物又はその塩である。

【0059】「薬学的に許容することのできる」とは、担体、希釈剤、賦形剤、薬品添加物および/または塩が、処方物の他の成分と調和せねばならず、その受領者に有害でないことを意味する。

【0060】本発明の化合物の「薬学的に許容することのできる塩」は、化合物自体、プロドラッグ、例えばエステル類、および異性体等から形成することができ、製薬化学で最もしばしば用いられる全ての薬学的に許容することのできる塩が含まれ、例えば、塩は、塩酸、臭化水素酸、沃化水素酸、カルボン酸、ナフタレンスルホン酸、エタンスルホン酸、ヒドロキシエタンスルホン酸、メタンスルホン酸（「メシラート」）、ベンゼンスルホン酸（「ベシラート」）およびトルエンスルホン酸、例えばp-トルエンスルホン酸（「トシラート」）のような物質を含むスルホン酸、硫酸、硝酸、燐酸、酒石酸、ピロ硫酸、メタ燐酸、コハク酸、蟻酸、フタル酸、リンゴ酸、マレイン酸、乳酸、アスコルビン酸、グリコール酸、グ

ルコン酸、マンデル酸、グルタミン酸、アスパラギン酸、フマル酸、ヒルビン酸、フェニル酢酸、パモ酸およびニコチン酸等のような無機または有機酸と共に形成してもいい。また、薬学的に許容することのできる好適な塩としては、アルカリ金属塩（例えば、ナトリウム、カリウム塩）、アルカリ土類金属塩（例えば、マグネシウム、カルシウム塩）、アミン塩（例えば、アンモニウム、アルキルアンモニウム、ジアルキルアンモニウム、トリアルキルアンモニウム、テトラアルキルアンモニウム、ジエタノールアンモニウム、トリーエタノールアンモニウムおよびグアニジニウム塩）が挙げられる。好ましい塩としては、蟻酸、酢酸、トリフルオロ酢酸、プロピオン酸、安息香酸、クエン酸、マレイン酸、酒石酸、メタンスルホン酸、ベンゼンスルホン酸またはトルエンスルホン酸から選ばれる有機酸の塩；塩酸、臭化水素酸、硫酸または燐酸から選ばれる無機酸の塩；アスパラギン酸およびグルタミン酸から選ばれるアミノ酸の塩；ならびにナトリウムおよびカリウムの塩が挙げられる。

【0061】'多形相'は、2つ以上の形態で存在する一般式Iの化合物又はその塩のような化合物又はその塩である。

【0062】'プロドラッグ'は、投与後、インビボでいくつかの化学的または生理学的プロセスを経て薬物を放出する薬物前駆体であり（例えば、生理学的pHをもたらしことにより又は酵素作用を介してプロドラッグが、所望の薬物形態に変換される）；示例のプロドラッグは、分解後、相当する遊離酸を放出するが、一般式Iの化合物のこのような加水分解することのできるエステルを形成する残基としては、それらに限定される訳ではないが、遊離の水素が、(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル、(C<sub>2</sub>-C<sub>7</sub>)アルカノイルオキシメチル、4個から9個の炭素原子を有する1-(アルカノイルオキシ)エチル、5個から10個の炭素原子を有する1-メチル-1-(アルカノイルオキシ)-エチル、3個から6個の炭素原子を有するアルコキシカルボニルオキシメチル、4個から7個の炭素原子を有する1-(アルコキシカルボニルオキシ)エチル、5個から8個の炭素原子を有する1-メチル-1-(アルコキシカルボニルオキシ)エチル、3個から9個の炭素原子を有するN-(アルコキシカルボニル)アミノメチル、4個から10個の炭素原子を有する1-(N-(アルコキシカルボニル)アミノ)エチル、3-フタリジル、4-クロトノラクトニル、ガンマ-ブチロラクトン-4-イル、ジ-N, N-(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルキルアミノ(C<sub>2</sub>-C<sub>3</sub>)アルキル（例えば、b-ジメチルアミノエチル）、カルバモイル-(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルキル、N, N-ジ(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルキルカルバモイル-(C<sub>1</sub>-C<sub>2</sub>)アルキルおよびピベリジノー、ピロリジノーまたはモルホリノ(C<sub>2</sub>-C<sub>3</sub>)アルキルにより置換されるカルボキシル部分を有するものが挙げられる。

【0063】'基'は、化学反応において単一の原子として振る舞う一群の原子であり、例えば、有機基は、それを含有する化合物に特徴的性質を付与するか又は一連の反応中変わらないままである一群の原子である。

【0064】'溶媒和物'は、溶質と溶媒の分子または分子のイオン錯体またはイオンが引き付けられたものであり、溶媒が水である'溶媒和物'は、'水和物'または水和したイオンを形成する。

【0065】'スピロシクロアルキル'は、スピロ結合（環の唯一の共通の構成員である単一の原子により形成される結合）を有するシクロアルキルを意味する。

【0066】'治療している'、'治療する'または'治療'には、とりわけ、予防（例えば、予防法）、緩和および治癒治療が含まれる。

【0067】'治療上効果的な量'は、特定の疾患または症状の1つ以上の症候を改善、緩和または排除するか又は特定の疾患もしくは症状の1つ以上の症候の発症を遅らせる化合物の量を意味する。

【0068】'患者'は、イヌ、ネコ、ウシ、ウマ、ヒツジおよびヒトのような動物を意味する。特に好ましい患者は、雄性および雌性の両方を含む哺乳類である。

【0069】本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に治療上効果的な量の上述のような一般式Iの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩を投与することを含む、この哺乳類における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不全、緑内障およびうつ病性心不全から選ばれる症状を治療する方法を提供する。特に好ましいのは、この症状が肥満であるような方法である。このような方法は、更に、食欲低下薬またはリパーゼ阻害物質の投与を含む。

【0070】別の態様において、本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に治療上効果的な量の上述のような一般式Iの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および食欲低下薬を投与することを含む、この哺乳類における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不全、緑内障およびうつ病性心不全から選ばれる症状を治療する方法を提供する。

【0071】別の態様において、本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に治療上効果的な量の上述のような一般式Iの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、およびリパー

セ阻害物質を投与することを含む、この哺乳類における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれる症状を治療する方法を提供する。

【0072】好ましい態様において、本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に肥満を治療するのに効果的な量の上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩を投与することを含む、この哺乳類における肥満を治療する方法を提供する。更に別の好ましい態様において、本発明は、哺乳類に治療上効果的な量の一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩を投与することを含む、この哺乳類における体重減少を誘導する方法を提供する。

【0073】別の態様において、本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に肥満を治療するのに効果的な量の上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および食欲低下薬を投与することを含む、この哺乳類における肥満を治療する方法を提供する。

【0074】別の態様において、本発明は、哺乳類（ヒトを含む）に肥満を治療するのに効果的な量の上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、およびリパーゼ阻害物質を投与することを含む、この哺乳類における肥満を治療する方法を提供する。

【0075】別の態様において、本発明は、一定量の上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、医薬組成物を提供する。

【0076】別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および食欲低下薬ならびに薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、医薬組成物を提供する。

【0077】別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、お

よびリパーゼ阻害物質ならびに薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、医薬組成物を提供する。

【0078】別の態様において、本発明は、一定量の上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれる症状を治療するための医薬組成物を提供する。

【0079】別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；食欲低下薬および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれる症状を治療するための医薬組成物を提供する。

【0080】別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；リパーゼ阻害物質および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれる症状を治療するための医薬組成物を提供する。

【0081】別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩、および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満を治療するための医薬組成物を提供する。更に別の好ましい態様において、本発明は、体重減少を誘導する量の一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；および薬

学的に許容することのできる担体、賦形剤または希釈剤を含む、体重減少を誘導するための医薬組成物を提供する。

【0082】好ましい態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；食欲低下薬および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満を治療するための医薬組成物を提供する。

【0083】更に別の態様において、本発明は、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；リパーゼ阻害物質および薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体を含む、哺乳類（ヒトを含む）における肥満を治療するための医薬組成物を提供する。

【0084】別の態様において、本発明は、肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれた症状の治療のためのキットであって、第一の単位剤形中に、その第一の化合物が、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩である第一の化合物、および薬学的に許容することのできる賦形剤、担体または希釈剤；第二の単位剤形中に、その第二の化合物が、食欲低下薬またはリパーゼ阻害物質である第二の化合物、および薬学的に許容することのできる賦形剤、担体または希釈剤；並びにこれらの第一および第二の剤形を入れるための容器を含む、ここで、所定量のこれらの第一および第二の化合物が、一定の治療効果に帰する、前記のキットを提供する。

【0085】別の態様において、本発明は、第一の単位剤形中に、その第一の化合物が、上述のような一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩である第一の化合物、および薬学的に許容することのできる賦形剤、担体または希釈剤；第二の単位剤形中に、その第二の化合物が、食欲低下薬またはリパーゼ阻害物質である第二の化合物、および薬学的に許容することのできる賦形剤、担体または希釈剤；並びに容器を含む、肥満の治療のためのキットを提供する。

【0086】別の態様において、本発明は、肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠

動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれた症状の治療のためのキットであって、第一の単位剤形中に、その第一の化合物が、一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩である第一の化合物、および薬学的に許容することのできる担体、賦形剤または希釈剤；第二の単位剤形中に、その第二の化合物が、肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から選ばれた症状の治療に有用である第二の化合物、および薬学的に許容することのできる担体、賦形剤または希釈剤；並びにこれらの第一および第二の剤形を入れるための容器を含む、ここで、所定量のこれらの第一および第二の化合物が、一定の治療効果に帰する、前記のキットを提供する。

【0087】別の態様において、本発明は、肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から成る群から選ばれた症状を治療するのに有用である少なくとも1種の更なる化合物と組み合わせた、治療上効果的な量の一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩を哺乳類に投与することを含む、この哺乳類における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から成る群から選ばれた症状を治療する方法を提供する。

【0088】別の態様において、本発明は、一定量の一般式Ⅰの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、又はこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩；哺乳類における肥満、過体重状態、高脂質血症、甲状腺疾患、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、糖尿病、アテローム動脈硬化症、高血圧、冠動脈性心疾患、高コレステロール血症、うつ病、骨粗鬆症、心不整脈、緑内障およびうつ血性心不全から成る群から選ばれた症状を治療するのに有用である少なくとも1種の更なる化合物；ならびに薬学的に許容することのできる担体、賦形剤または希釈剤を含む、医薬組成物を提供する。

【0089】特に断らない限り、この書類を通して、℃は、摂氏度であり；%は、パーセントであり；Ca l c. は、理論上のデータであり；cmは、センチメートル



ルであり；DEEは、ジエチルエーテルであり；DMEは、ジメチルエーテルであり；DMFは、ジメチルホルムアミドであり；DMSOは、ジメチルスルホキシドであり；DTTは、ジチオトレイトールであり；EtOAcは、酢酸エチルであり；EtOHは、エタノールであり；Foundは、測定されたデータであり；gは、グラムであり；hは、時間であり；kgは、キログラムであり；KOHは、水酸化カリウムであり；Lは、リットルであり；Mは、モル（濃度）であり；MeOHは、メタノールであり；mgは、ミリグラムであり；minは、分であり；mLは、ミリリットルであり；mmは、ミリメートルであり；mMは、ミリモル（濃度）であり；MSは、質量スペクトルであり；Nは、規定（濃度）であり；NaOHは、水酸化ナトリウムであり；nMは、ナノモル（濃度）であり；NMRは、プロトン核磁気共鳴スペクトルであり；psiは、1平方インチ当たりのボンドであり；RTは、室温であり；TEAは、トリエチルアミンであり；TFAは、トリフルオロ酢酸であり；THFは、テトラヒドロフランであり；μgは、マイクログラムであり；そしてμLは、マイクロリットルである。

【0090】本明細書で開示するように、一般式Iの範囲内にある化合物には、常に、例えば、その遊離の形態、例えば、遊離酸または塩基形態、やはり全てのプロドラッグ、多形相、水和物、溶媒和物、立体異性体、例えば、ジアステレオマーおよび鏡像異性体等、ならびに上述のような全ての薬学的に許容することのできる塩を含むこのような化合物の全ての活性な形態が含まれることは、当然のことである。また、いずれの適切な形態の一般式Iの範囲内にある化合物の適切な活性な代謝物もこの中に含まれることは、分かるはずである。

【0091】更に詳しくは、例えば、一般式Iの特定の化合物のような本発明の用途に適した特定の化合物は、不斉中心を持っていても良く、従って、異なる鏡像異性形態で存在する。このような化合物の全ての好適な光学異性体、幾何異性体および立体異性体、並びにその混合物は、本発明の範囲内にあると考えられる。このような化合物に関して、本発明は、適切な場合、ラセミ体、単一の鏡像異性体形態、単一のジアステレオマー形態、又はその混合物の使用を含む。更には、このような化合物は、エノール型、ケト型及びその混合物を含むいくつかの互変異性体形態で存在しても良い。全てのこのような互変異性体形態及びその混合物は、本発明の範囲内に含まれる。

【0092】更に、当業者等は、利用できるヒドロキシ基を有する生理学的に活性な化合物が、薬学的に許容することのできるエステルの形態でしばしば投与されることを容易に認めるであろう。本発明の化合物は、ヒドロキシ基上に形成されたエステルとして投与することができる。メカニズムは、まだ調査されておらず、理論によ

り拘束されるように望まれていないが、このようなエステルは、体内で代謝により分解され、実際の薬物は、ヒドロキシ化合物それ自体であると考えられる。製薬化学において長い間知られてきたように、エステル基の適切な選択により化合物の作用の速度または時間を調整することが可能である。

【0093】また、本発明は、1個以上の原子が、普通天然に見出される原子の質量または質量数と異なる原子の質量または質量数を有する原子により置き換えられているという事実を除いては一般式Iのべたものと同じである同位体標識した化合物を含む。本発明の化合物に含めることのできる同位体の例としては、それぞれ、 $^2\text{H}$ 、 $^3\text{H}$ 、 $^{13}\text{C}$ 、 $^{14}\text{C}$ 、 $^{15}\text{N}$ 、 $^{18}\text{O}$ 、 $^{17}\text{O}$ 、 $^{31}\text{P}$ 、 $^{32}\text{P}$ 、 $^{33}\text{S}$ 、 $^{18}\text{F}$ および $^{36}\text{Cl}$ のような水素、炭素、窒素、酸素、燐、フッ素および塩素の同位体が挙げられる。前述の同位体および/または他の原子の他の同位体を含有する、本発明の化合物、そのプロドラッグ、及びこの化合物又はこのプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩は、本発明の範囲内にある。本発明の特定の同位体標識した化合物、例えば、 $^3\text{H}$ および $^{14}\text{C}$ のような放射性同位体が含まれるものは、薬物および/または基質組織分布測定に有用である。トリチウム化、即ち、 $^3\text{H}$ 、および炭素-14、即ち $^{14}\text{C}$ 同位体は、調製の容易さおよび検出能力から特に好ましい。更に、ジュウテリウム、即ち $^2\text{H}$ のようなより重い同位体での置換は、より大きい代謝安定性に起因する特定の治療上の有利性、例えば、増大したインビボ半減期または減少した必要量を得ることができ、従って、ある場合には好ましいかもしれない。本発明の一般式Iの同位体標識した化合物及びそのプロドラッグは、通常、同位体標識していない試薬を容易に入手可能な同位体標識した試薬に置き換えることにより、模式図および/または下記の実施例で開示された手法を実施することにより調製することができる。

【0094】当業者等は、いずれかの適切な公知の方法を用い本発明の化合物を調製する方法が、この開示物から分かるはずである。更には、反応模式図のこの説明は、本発明の化合物の調製を具体的に説明しており、特に断らない限り、反応模式図の可変因子は、上述の通りである。加えて、本明細書で提供される実施例は、本発明の化合物の調製を具体的に説明している。

【0095】各合成模式図およびこの説明により提供される実施例の出発物質は、商業的に入手可能であるか、または、例えば、参照により本明細書に含めるものとする以下の文献：M. W. ミラー(M. W. Miller)等, J. Med. Chem. 1981, 24, 1337-1342、好ましくは1339-1340頁の模式図IIIで述べられたような手法；およびM. W. ミラー等, J. Med. Chem. 1979, 22, 1483-1487のような当業者等に公知の方法により調製されるかのいずれかである。

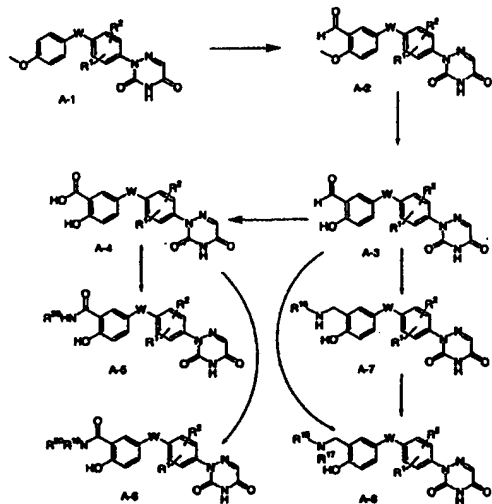
【0096】更に詳しくは、当業者等は、これらの参考文献および本開示物に基づいて、Wが、例えば、酸素または $-(SO_2)_m$ であり、他の可変因子が上述の通りである以下の模式図の中間体を調製する方法が分かるはずである。Wが酸素であるものが、特に好ましい。Wが、例えば、 $-C(O)-$ であり、他の可変因子が上述の通りである以下の模式図の中間体は、上述のもののような文献、例えば、カナダ特許第979457号および992538号ならびにR. D. キャロル(R. D. Carroll)等, J. Med. Chem. 1983, 26, 96-100の手法により調製することができる。Wが、例えば、 $-CH_2-$ 、 $-CHF-$ 、 $-CF_2-$ または $-CH(OH)-$ であり、他の可変因子が上述の通りである以下の模式図の中間体は、当業界で公知の手法により、Wが、 $-C(O)-$ であり、他の可変因子が上述の通りである中間体から調製

することができる。Wが、例えば、 $-NR^{30}-$ であり、他の可変因子が上述の通りである以下の模式図の中間体は、上述のもののような文献、例えば、カナダ特許第979457号および992538号の手法により調製することができる。Wが、例えば、 $-HC=CH-$ であり、他の可変因子が上述の通りである以下の模式図の中間体は、デール(Dale)等, J. Amer. Chem. Soc. 1959, 81, 2143-2145のような文献に記載のものと同様の手法により調製することができる。

【0097】以下の模式図は、単に具体的な説明目的のためだけに提供するものであり、特許請求の範囲により明確にされる本発明を制限するものではないことは、当然のことである。

模式図A

【化5】



模式図A

【0098】一般式A-1の化合物は、例えば、TFAのような適切な酸性試薬中で約65℃でそれとヘキサメチレンテトラミンとを反応させることによりホルミル化して一般式A-2の化合物を得る。一般式A-2の化合物は、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して一般式A-3の化合物を得る。一般式A-3のアルデヒドを、当業界で周知の方法、例えば、ジョーンズ酸化を用いて酸化して一般式A-4のカルボン酸を得る。好ましい酸化方法としては、ジョーンズ酸化(クロム酸/水性硫酸)および次亜塩素酸ナトリウム(NaClO、THF中のt-ブタノール)を用いるものが挙げられる。

【0099】一般式A-4のカルボン酸を、当業界で公知の方法により一般式A-5のカルボキサミド化合物に変換する。例えば、TEA、ジメチルアミノピリジン(DMAP)またはピリジンのような塩基の存在下、例えば、ジクロロメタン、THF、DMEまたはDEEのような適切な乾燥した非プロトン性溶媒中で一般式A-4の化合物の酸塩化物または無水物(対称の又は混合した)と一般式 $R^{20}NH_2$ の一級アミンとを用いることにより、一般式A-5の化合物を得る。また、一般式A-4のカルボン酸を、当業界で公知の方法により一般式A-6のカルボキサミド化合物に変換する。例えば、一般式A-4のカルボン酸を、1, 2-ジメトキシエタンのような適切な溶媒中のN-ヒドロキシスクシンイミドおよびジシクロヘキシルカルボジミド、ならびにジメト

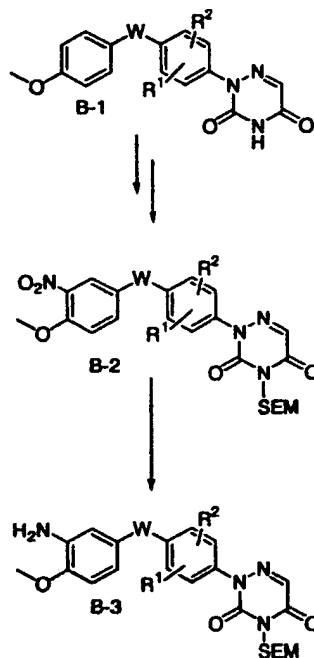
キシエタンのような適切な溶媒中のトリエチルアミンのような適切な塩基と一般式  $R^1 R^2 O NH$  の二級アミンとを反応させて一般式 A-6 のカルボキサミドを得る。あるいは、一般式 A-4 のカルボン酸の酸塩化物または無水物 (対称の又は混合した) を、上述のような適切な塩基の存在下、適切な溶媒中の一般式  $R^1 R^2 O NH$  の二級アミンと反応させて一般式 A-6 のカルボキサミドを得る。

【0100】一般式 A-3 のアルデヒドを、当業界で公知の方法により一般式 A-7 および A-8 のアミノメチル誘導体に変換する。好ましい方法は、適切な溶媒中の一般式 A-3 のアルデヒドと一般式  $R^1 R^2 NH_2$  の一級アミンまたは一般式  $R^1 R^2 NH$  の二級アミンおよび還元剤との反応により達成される還元的アミノ化を用いて、それぞれ一般式 A-7 および A-8 の化合物を得る。この反応は、好ましくは 3 オームストロング分子ふるいの存在下で行う。好ましい還元剤は、水素化シアノ硼素ナトリウム、水素化トリアセトキシ硼素ナトリウムおよび水素化硼素ナトリウムである。好ましい有機溶媒としては、EtOH、MeOH および 1, 2-ジクロロエタンが挙げられる。

【0101】あるいは、一般式 A-8 の化合物は、還元的アルキル化により一般式 A-7 の化合物から調製することができる。例えば、メタノール、エタノールおよび 1, 2-ジクロロエタンのような適切な有機溶媒中の 3 オームストロング分子ふるいの存在下アルデヒドおよび還元剤での一般式 A-7 の化合物の処理。好ましい還元剤は、水素化シアノ硼素ナトリウム、水素化トリアセトキシ硼素ナトリウムおよび水素化硼素ナトリウムである。

模式図 B

【化 6】

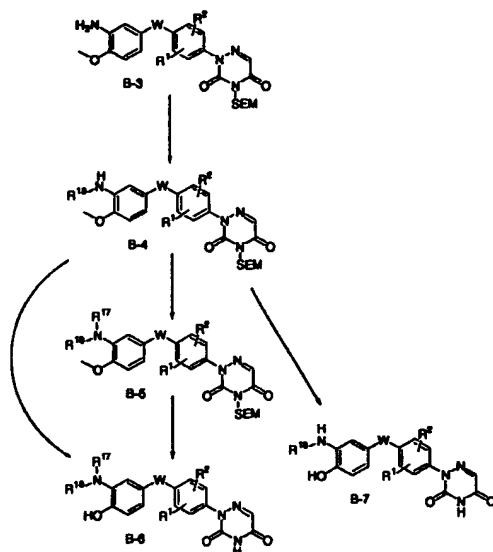


模式図 B

【0102】一般式 B-1 の化合物は、酢酸中の硝酸を用いて一般式 B-2 のニトロ化合物に変換される。6-アザウラシル環窒素上の水素は、それと DMF 中の水素化ナトリウムおよび塩化 2-(トリメチルシリル)エトキシメチル (SEM) とを反応させることにより保護される。この化合物は、次いで、例えば、接触水素化 (酢酸エチル中のパラジウム/炭素触媒) または亜鉛末もしくは塩化錫 (II) を用いる化学的還元により一般式 B-3 の相当するアニリンに還元される。一般式 B-3 のアニリンは、模式図 B-1 から B-5 の出発物質として用いられる。

模式図 B-1

【化 7】



模式図B-1

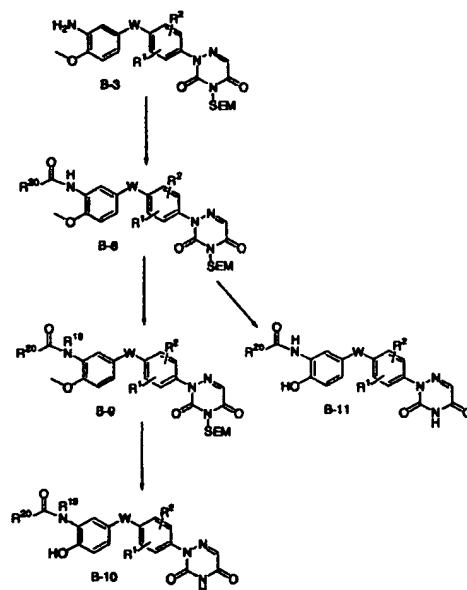
【0103】一般式B-3の化合物は、当業界で公知の方法により、R<sup>17</sup> およびR<sup>18</sup> が上記で定義した通りである一般式B-4およびB-5の化合物に変換する。好ましい方法は、適切な溶媒中の適切なアルデヒドまたは適切なケトンと一般式B-3の化合物および還元剤との反応により達成される還元的アミノ化を用いて一般式B-4の化合物を得る。この反応は、好ましくは3-オームストロング分子ふるいの存在下で行う。好ましい還元剤は、水素化シアノ硼素ナトリウム、水素化トリアセトキシ硼素ナトリウムおよび水素化硼素ナトリウムである。好ましい有機溶媒としては、EtOH、MeOHお

よび1, 2-ジクロロエタンが挙げられる。同様に、一般式B-4の化合物を、上述の条件を用い還元的アミノ化により一般式B-5の化合物に変換する。

【0104】一般式B-4の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたは1, 2-ジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-7の化合物を得る。同様に、一般式B-5の化合物を、類似の条件を用い脱メチル化および脱保護して一般式B-6の化合物を得る。

模式図B-2

【化8】



模式図B-2

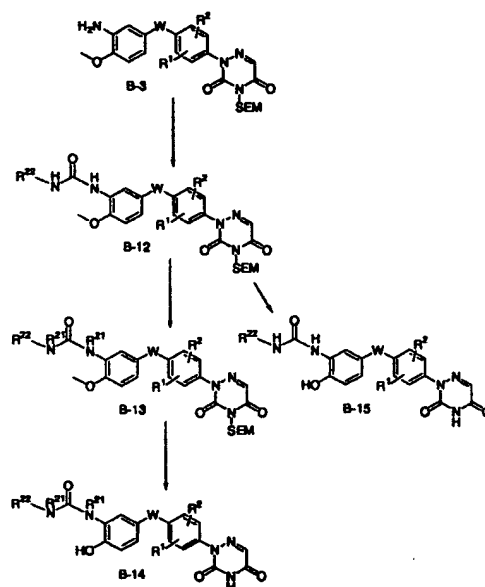
【0105】一般式B-3の化合物を、トリエチルアミン（TEA）またはN、N-ジイソプロピルエチルアミンのような適切な塩基の存在下、塩化カルボニル（酸塩化物）でアシル化して一般式B-8の化合物を得る。一般式B-8の化合物を、当業界で公知の上述したような条件下、例えば、ハロゲン化アルキルのような適切なアルキル化剤を用い、R<sup>19</sup>が、例えばアルキルである一般式B-9の化合物を得る。例えば、好ましいアルキル化法は、例えば、アセトン、THF、DMSO、2-アプロパノールまたは水性MeOH溶液のような適切な有機溶媒中で、例えば、炭酸カリウム、水素化ナトリウム、

カリウムトートキシド、 $\text{NaOH}$ または $\text{KOH}$ のような適切な塩基の存在下、例えば、ハロゲン化アルキルのような適切なアルキル化剤を用いる。

【0106】一般式B-9の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたは1, 2-ジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼または三臭化硼素のような適切なハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-10の化合物を得る。同様に、一般式B-8の化合物を、類似の条件を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-11の化合物を得る。

模式图B-3

【化9】



模式図B-3

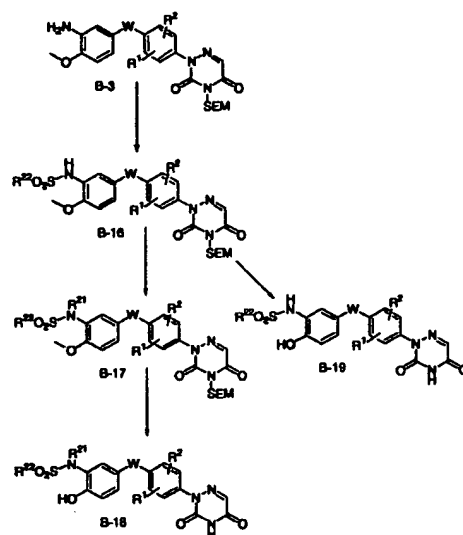
【0107】一般式B-3の化合物を、塩化メチレン中でR<sup>21</sup> NCOおよびトリエチルアミンまたはN,N-ジイソプロピルエチルアミンのような塩基と反応させて一般式B-12の尿素化合物を得る。一般式B-12の化合物を、当業界で公知の上述したような条件下、例えば、ハロゲン化アルキルのような適切なアルキル化剤を用い、一般式B-13の化合物を得る。

【0108】一般式B-13の化合物を、1,2-ジク

ロエタンまたは1,2-ジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-14の化合物を得る。同様に、一般式B-12の化合物を、類似の条件を用い脱メチル化および脱保護して一般式B-15の化合物を得る。

模式図B-4

【化10】



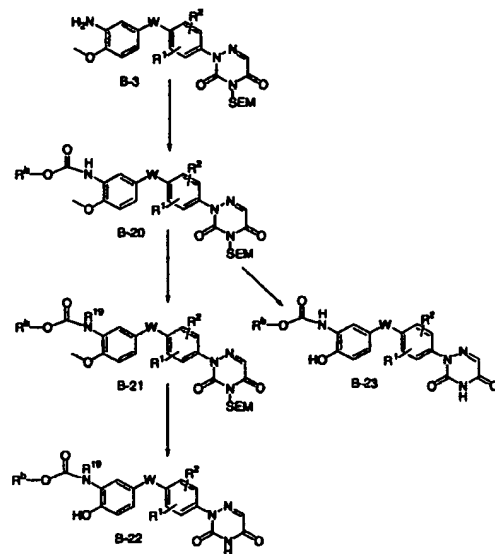
模式図B-4

【0109】一般式B-3の化合物を、トリエチルアミン (TEA) またはN, N-ジイソプロピルエチルアミンのような適切な塩基の存在下、塩化スルホニルでスルホニル化して一般式B-16の化合物を得る。一般式B-16の化合物を、当業界で公知の上述したような条件下、例えば、ハロゲン化アルキルのような適切なアルキル化剤を用い、一般式B-17の化合物を得る。一般式B-17の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジ

クロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-18の化合物を得る。同様に、一般式B-16の化合物を、類似の条件を用い脱メチル化および脱保護して一般式B-19の化合物を得る。

模式図B-5

【化11】



模式図B-5

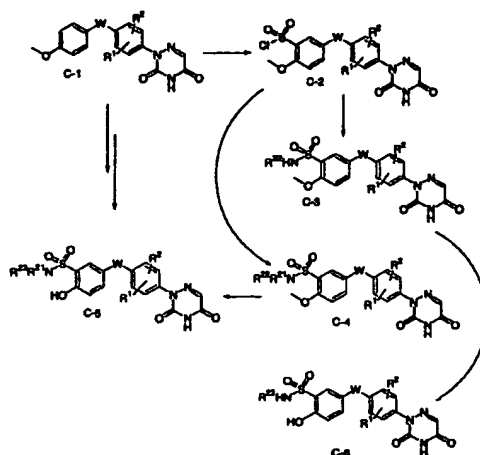
【0110】一般式B-3の化合物を、トリエチルアミン(TEA)またはN,N-ジイソプロピルエチルアミンのような適切な塩基の存在下、 $R^b$ が、例えば、アルキルまたはアリールである $R^b-OC(O)Cl$ と反応させて一般式B-20の化合物を得る。一般式B-20の化合物を、当業界で公知の上述したような条件下、例えば、ハロゲン化アルキルのような適切なアルキル化剤を用い、 $R^{19}$ が例えばアルキルである一般式B-21の化合物を得る。

【0111】一般式B-21の化合物を、1,2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して一般式B-22の化合物を得る。同様に、一般式B-20の化合物を、類似の条件を用い脱メチル化および脱保護して一般式B-23の化合物を得る。

模式図C

【化12】





模式図C

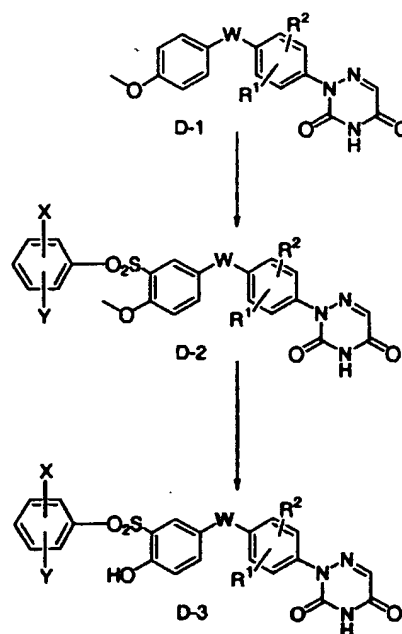
【0112】一般式C-1の化合物を、0℃から室温でクロルスルホン酸と反応させて一般式C-2のクロルスルホニル化合物を得る。一般式C-2の化合物を、例えば、TEAまたはジイソプロピルエチルアミンのような適切な塩基の存在下、例えば、ジクロロメタン、THF、MeOH、EtOHまたはアセトニトリルのような適切な溶媒中で一般式 $R^2-NH_2$ の一般アミンと反応させて一般式C-3の化合物を得る。同様に、一般式C-2の化合物を、類似の条件下で、一般式 $R^2-NH-R^1$ の二級アミンと反応させて一般式C-4の化合物を得る。

【0113】一般式C-3の化合物を、1,2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して一般式C-6の化合物を得る。同様に、一般式C-4の化合物を、類似の条件を用いて脱メチル化して一般式C-5の化合物を得る。

【0114】あるいは、一般式C-1の化合物は、上述のように、それを脱メチル化し、次いでそれとクロルスルホン酸および二級アミンとを反応させることにより一般式C-5の化合物に直接変換する。

模式図D

【化13】



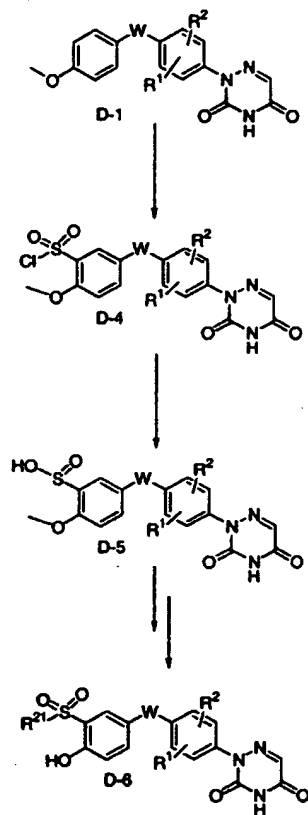
模式図D

【0115】一般式D-1の化合物を、高温でメタンスルホン酸またはポリ燐酸中で脱水剤、好ましくは $P_2O_5$ の存在下、アリールスルホン酸（ここで、アリールは、上記で定義した通りである基Zから独立に選ばれる

基であるXおよびYで任意に置換されても良い)と反応させて一般式D-2の化合物を得る。この一般式D-2の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中で、三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して一般式D-3の化合物を得る。

模式図D-1

【化14】

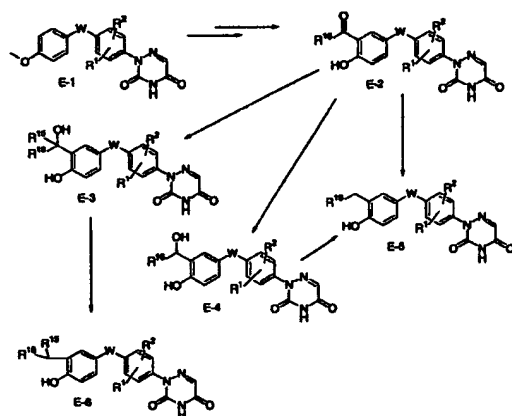


模式図D-1

【0116】一般式D-1の化合物をクロロスルホン酸と反応させて一般式D-4のクロロスルホン化合物を得る。一般式D-4の化合物を、重炭酸ナトリウムまたは水酸化ナトリウムのような塩基の存在下、亜硫酸ナトリウムのような適切な還元剤を用い一般式D-5のスルフィン酸に還元する。例えば、NaOH、KOH、カリウムヒートキッド、水素化ナトリウムまたはナトリウムメトキシドのような塩基の存在下、一般式D-5のスルフィン酸のハロゲン化アルキルでの処理、次いで上述のような当業界で公知の標準法を用いた脱メチル化により、R<sup>21</sup>が、例えば、アルキルである一般式D-6のスルホンを得る。

模式図E

【化15】



模式図E

【0117】一般式E-1の化合物を、高温で五酸化燐およびメタンスルホン酸またはポリ燐酸と共にカルボン酸と反応させる。次いで、上述のような当業界で公知の標準法を用いた脱メチル化して、一般式E-2の化合物を得る。

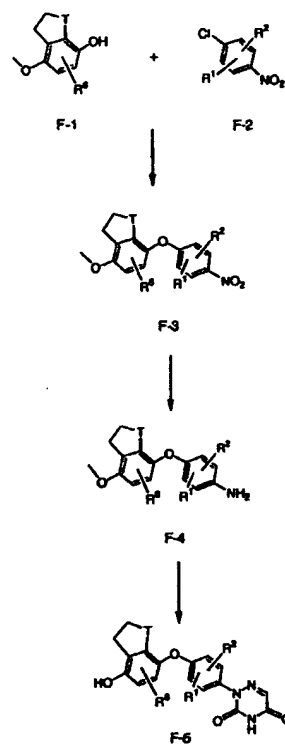
【0118】一般式E-2の化合物を、ジクロロメタンまたはTHFのような非プロトン性溶媒中でXがハロゲンであるR<sup>15</sup>MgXまたはR<sup>15</sup>Liと反応させて一般式E-3のアルコールを得る。一般式E-3のアルコールを、0℃から25℃で、酸、例えばトリフルオロ酢酸の存在下、還元剤、例えばトリエチルシランと反応させて一般式E-6の化合物を得る。

【0119】一般式E-2の化合物を、メタノール中の水素化硼素ナトリウムと反応させて一般式E-4のアルコールを得る。一般式E-2の化合物を、トリフルオロ酢酸中のトリエチルシランと反応させて一般式E-5の化合物を得る。同様に、一般式E-4の化合物を、類似の条件を用いて一般式E-5の化合物に変換する。

【0120】模式図FおよびGは、一般式Iの化合物（ここで、R<sup>4</sup>は、3'の位置にあり、R<sup>3</sup>は、2'の位置にあり、そしてR<sup>4</sup>およびR<sup>3</sup>は、フェニル環と共に、例えば、インダニルまたはテトラヒドロナフタリルを形成する）の調製を説明している。更に、模式図Hは、一般式Iの化合物（ここで、R<sup>4</sup>は、3'の位置にあり、R<sup>5</sup>は、4'の位置にあり、そしてR<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>は、共に、例えば、ピロリルを形成する）の調製を説明している。ピロリル環は、フェニル環と共に、インドリルを形成する。

模式図F

【化16】



模式図F

【0121】一般式F-1からF-4の化合物は、当業界で周知の方法により、上述したものと類似の手法によ

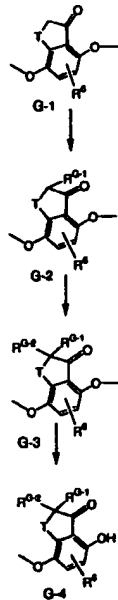
り調製する。例えば、文献の手法により調製される一般式F-1の化合物を、60-80℃でDMSO中でカリウムt-ブトキシドを用い一般式F-2の化合物に結合させて一般式F-3の化合物を得る。あるいは、このカップリングを、室温で炭酸カリウムおよびメチルエチルケトンを用いて達成する。

【0122】一般式F-3の化合物を、例えば、接触水素化(酢酸エチル中のパラジウム/炭素触媒)を用いて一般式F-4の相当するアニリン化合物に還元する。一般式F-4のアニリンを、上述したようなM. W. ミラー等、J. Med. Chem. 1981, 24, 1337-1342のような文献の手法を用い一般式F-5の相当する6-アザウラシル化合物に変換する。

【0123】模式図Fにおいて、Tは、R<sup>3</sup> およびR<sup>4</sup> が結合する場合上記で考察したように、一般式-(CH<sub>2</sub>)<sub>b</sub>-の炭素環式環Aまたは-Q-(CH<sub>2</sub>)<sub>c</sub>-および-(CH<sub>2</sub>)<sub>j</sub>-Q-(CH<sub>2</sub>)<sub>k</sub>-から成る群から選ばれる複素環式環A(ここで、b、Q、c、jおよびkは、上述の通りであり、この炭素環式環Aおよびこの複素環式環Aは、例えば、やはり上述したような-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル、ハロゲンまたはオキソから独立に選ばれる1個以上の置換基でそれぞれ独立に任意に置換されても良い)を完成する。

模式図G

【化17】



模式図G

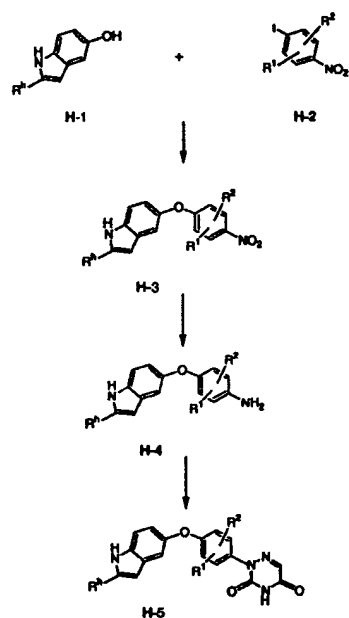
【0124】非プロトン性溶媒、例えば、THF中で、例えば、リチウムヘキサメチルジシリザン、リチウムジイソプロピルアミドまたはカリウムt-ブトキシドのような強塩基および適切なハロゲン化アルキルでの一般式G-1およびG-2の化合物の処理により、一般式G-3のビス-アルキル化中間体を得る。この方法は、R<sup>G-1</sup> およびR<sup>G-2</sup> が異なる場合、段階的様式で、そしてR<sup>G-1</sup> およびR<sup>G-2</sup> が同じ場合、一つの反応フラスコ内で行う。

【0125】一般式G-3の化合物に存在するメチルエーテルの一つは、非プロトン性溶媒、例えば、ジクロロメタンまたはトルエン中の三塩化硼素または塩化アルミニウムを用いることにより選択的に脱保護されて一般式G-4の主たる生成物を得る。

【0126】一般式G-4の化合物に存在するケトン官能性の還元は、溶媒の存在下または非存在下で、酸、例えば、メタンスルホン酸またはTFAの存在下、ヒドロシラン、好ましくはトリエチルシランでの処理により達成される。溶媒は、プロトン性または非プロトン性のいずれかであり、ジクロロメタンが好ましい。その結果できた還元化合物を上述のような本発明の標的6-アザウラシル誘導体に変換する方法が、当業者等は本開示物から分かるはずである。模式図Gにおいて、Tは、模式図Fのために上述した通りである。

模式図H

【化18】

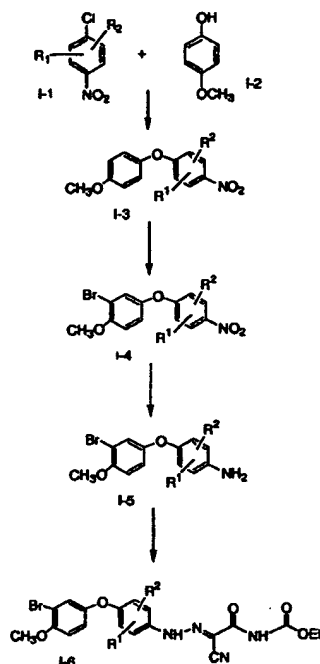


模式図H

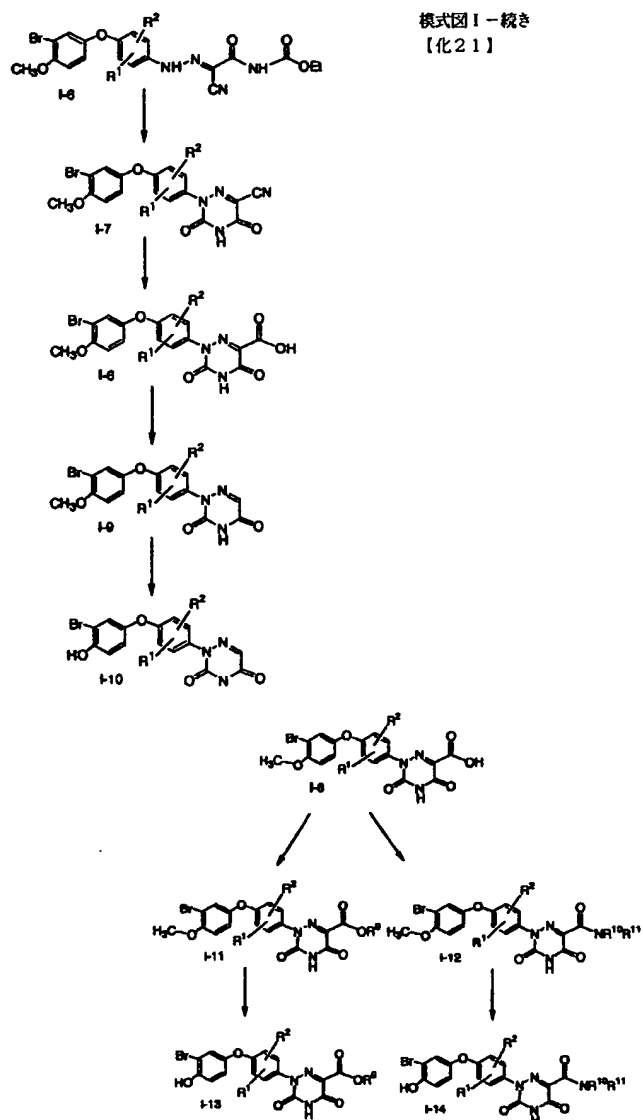
【0127】R<sup>h</sup>が、例えば、水素またはアルキルである一般式H-3のインドールは、商業的に入手可能であるか又は当業界で公知の方法により調製することのできる一般式H-1の5-ヒドロキシインドールと一般式H-2の4-ヨードニトロベンゼンとを、約125℃で、炭酸カリウムの存在下で約3時間カップリングすることにより調製する。一般式H-3の化合物を、例えば、接触水素化（エタノール中のパラジウム/炭素触媒）を用いて一般式H-4の相当するアニリン化合物に還元する。一般式H-4のアニリンを、上述のような文献の手法を用い、一般式H-5の相当する6-アザウラシル化合物に変換する。

模式図I

【化19】

模式図I—続き  
【化20】

模式図1-続き  
【化21】



模式図1

【0128】模式図1の化合物は、当業界で周知の方法により上述したものと同様の手法により調製する。例えば、一般式I-2の4-メトキシフェノールを、80-100℃でDMSO中でカリウムt-ブトキシドを用い

一般式I-1の化合物に結合させて一般式I-3の化合物を得る。

【0129】一般式I-3の化合物を、例えば、還流でクロロホルム中でN-プロモスクシニミドおよびトリフルオロ酢酸を用い臭素化して一般式I-4の化合物を

得る。一般式 I-4 の化合物を、例えば、接触水素化（酢酸エチル中のパラジウム／炭素触媒）を用い、一般式 I-5 の相当するアニリン化合物に還元する。一般式 I-5 のアニリンを、例えば、0℃で塩酸中の亜硝酸ナトリウムを用いてジアゾ化し、その結果できたジアゾニウム塩を、ピリジン中のエチルシアノアセチルウレタンで処理して一般式 I-6 の化合物を得る。

【0130】一般式 I-6 の化合物を、高温で酢酸カリウム／酢酸を用いて環化して一般式 I-7 の化合物を得る。その結果できた一般式 I-7 のシアノ化合物を、高温で塩酸／酢酸を用い、一般式 I-8 のカルボキシ化合物に変換する。一般式 I-8 のカルボキシ化合物を、例えば、高温でチオ酢酸を用い脱カルボキシル化して一般式 I-9 の化合物を得る。一般式 I-9 の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中の三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して一般式 I-10 の化合物を得る。

【0131】適切な溶媒中の一般式 R<sup>9</sup> OH の各アルコールに、一般式 I-8 の化合物、1, 3-ジイソプロピ

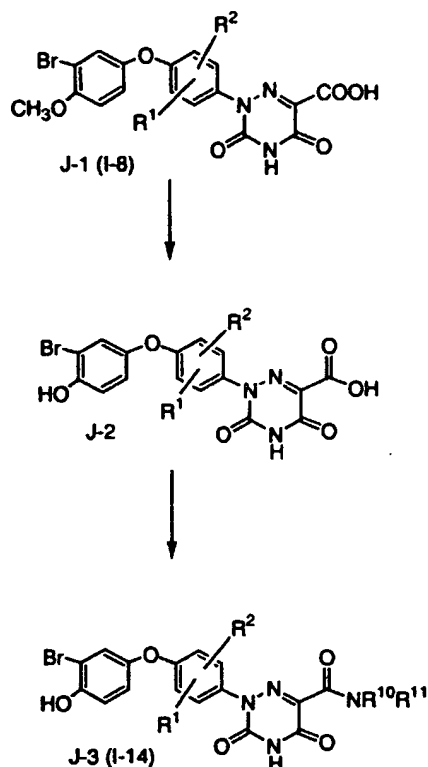
ルカルボジイミド (DIC) および 4-ジメチルアミノピリジン (DMAP) の溶液を連続して加えて、R<sup>9</sup> が上記で定義した通りである一般式 I-11 のエステルを得る。適切な溶媒は、例えば、DMF である。

【0132】適切な溶媒中の一般式 HNR<sup>10</sup>R<sup>11</sup> の各アミンに、一般式 I-8 の化合物、N-メチルモルホリン (NMM) およびヘキサフルオロ燐酸 O-ベンゾトリアゾール-1-イル-N, N, N', N'-テトラメチルウロニウム (HBTU) の溶液を連続して加えて R<sup>10</sup> および R<sup>11</sup> が上記で定義した通りである一般式 I-12 のアミドを得る。適切な溶媒は、例えば、10% DMF/DCE である。

【0133】一般式 I-11 および I-12 の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中の三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して、それぞれ一般式 I-13 および I-14 の相当する化合物を得る。

模式図 J

【化22】



模式図J

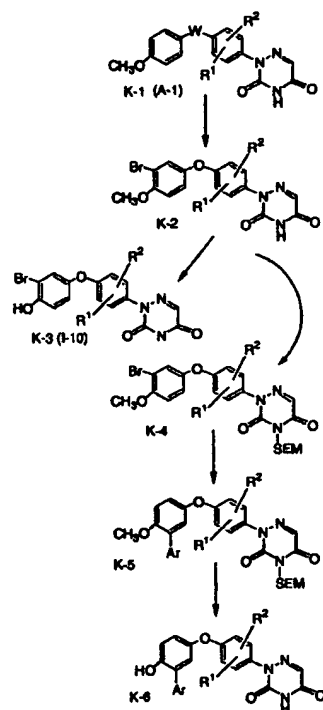
【0134】模式図Jは、模式図Iの一般式I-14の脱メチル化アミドを製造する代替計画を示す。模式図Iの一般式I-8の化合物として調製される一般式J-1の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中の三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して、一般式J-2の化合物を得る。

【0135】適切な溶媒中の一般式HNR<sup>10</sup>R<sup>11</sup>の各アミンに、一般式J-2の化合物、HBTUおよびヒューニグ(Hunig)の塩基(N, N-ジイソプロピルエチルアミン)の溶液を連続して加えて一般式J-3のアミドを得る。適切な溶媒は、例えば、DMFである。

模式図K

【化23】





模式図K

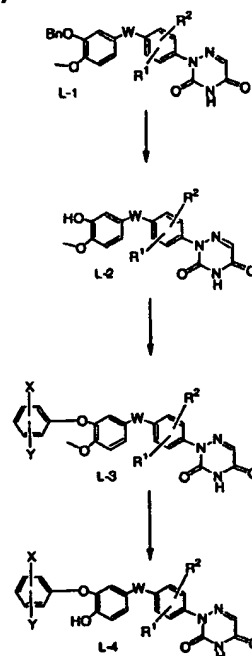
【0136】模式図Kは、模式図Iの一般式I-10の化合物を製造する代替法を示す。模式図Aの一般式A-1の化合物である一般式K-1の化合物を、クロロホルムのような適切な有機溶媒中のN-ブロモスクシンイミドおよびトリフルオロ酢酸のような当業界で公知の条件を用いて臭素化して一般式K-2の化合物を得る。

【0137】一般式K-2の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中の三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化して、一般式K-3 (I-10) の化合物を得る。一般式K-2の化合物を、それと、例えば、DMF中の水素化ナトリウム、塩化SEM、および沃化テトラ-n-ブチルアンモニウムとを反応させることにより保護して一般式K-4の化合物を得る。この化合物を、DMFまたは1, 2-ジクロロエタンのような適切な有機溶媒中でテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)のようなパラジウム触媒および水性炭酸ナトリウムのような塩基の存在下、フェニルボロン酸のような有機ボロン酸に結合させてArがアリール基を表す一般式K-5の化合物を得る。

【0138】一般式K-5の化合物を、1, 2-ジクロロエタンまたはジクロロメタンのような適切な有機溶媒中の三塩化硼素または三臭化硼素のような適切な三ハロゲン化硼素を用いて脱メチル化および脱保護して、Arがアリール基を表す一般式K-6の化合物を得る。

模式図L

【化24】



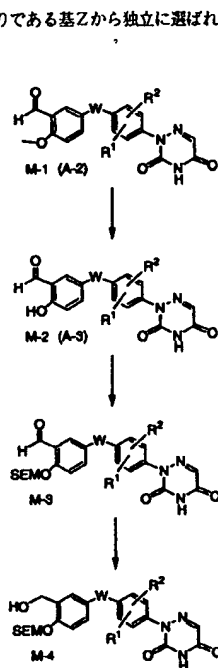
模式図L

【0139】一般式L-1のベンジリエーテルを、脱ベンジル化により一般式L-2のフェノールに変換する。室温でTFA中のチオアニソールでの一般式L-1のベンジリエーテルの処理により、一般式L-2のフェノールを得る。一般式L-2のフェノールの一般式L-3のフェニルエーテルへの変換は、ジクロロメタン中のトリエチルアミンの存在下、一般式L-2のフェノールとテトラフルオロ硼酸アリールヨードニウムおよび銅青銅とのカップリング、または、例えば、TEA、ビリジンもしくはTEAとビリジンの混合物のような適切な塩基の存在下、一般式L-2のフェノールとアリールボロン酸および酢酸銅(II)とのカップリングにより達成される。一般式L-3のフェニルエーテルの一般式L-4の化合物への変換は、上述したものと同様の手法による脱メチル化により達成される。部分XおよびYは、上記で

定義した通りである基Zから独立に選ばれる基である。

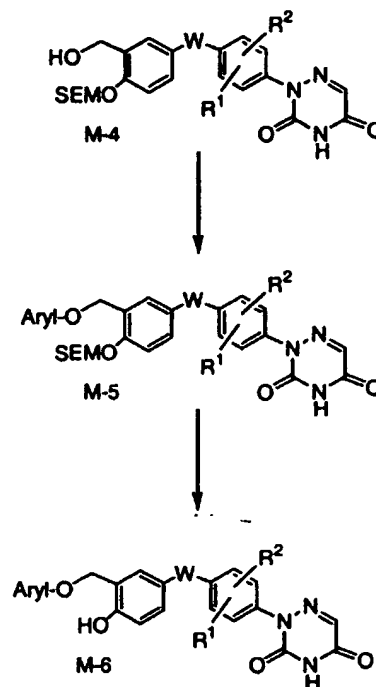
模式図M

【化25】



模式図M-続き

【化26】



模式図M

【0140】一般式M-1のメチルエーテルおよび一般式M-2のフェノールは、模式図Aに記載の通りに調製する。詳しくは、模式図Aのそれぞれ一般式A-2およびA-3の化合物として調製する。一般式M-2のフェノールを、非プロトン性溶媒、例えば、THF中で、例えば、水素化ナトリウムまたはカリウムターボキシドのような強塩基での処理、続いて塩化トリメチルシリルエトキシメチル ('SEMCI') での処理により一般式M-3のトリメチルシリルエトキシメチル エーテルとして保護する。

【0141】非プロトン性溶媒、例えば、ジクロロメタンまたはTHF中で、例えば、水素化ジイソブチルアルミニウム ('DIBALH') のような還元剤での一般式M-3のアルデヒドの処理により、一般式M-4のアルコールを得る。非プロトン性溶媒、例えば、THFまたはトルエン中で、アゾジカルボニル化合物、例えば、1,1'- (アゾジカルボニル) ジピペリジンまたはジエチルアゾジカルボキシレート、および、例えば、トリフェニルまたはトリブチルホスフィンのようなホスフィンを用い、一般式M-4のアルコールと適切なフェノールとの反応により、一般式M-5のエーテルを得

る。アルコール性溶媒、例えば、MeOHもしくはEtOH中の、例えば、硫酸もしくは鉍酸のような酸性条件下、又はその代わりに、フッ化物が仲介する条件下（フッ化テトラブチルアンモニウム/THF、フッ化水素/アセトニトリル）、一般式M-5の化合物に存在する‘SEM’保護基の除去により、一般式M-6のフェノールを得る。

【0142】一般式Iの化合物の調製において、当業者等により認められる処ではあるが、上記で考察したようなこのような化合物の調製に有用ないくつかの方法は、例えば、分子内の別の部位での反応におけるこのような官能性による妨害を防ぐため、又はこのような官能性の完全さを保存するため、特定の官能性の保護を必要としても良いを指摘する。このような保護の必要性及びその型は、当業者により容易に決定されるし、例えば、官能性の性質および選択した調製法の条件に依存して変わる。例えば、T. W. グリーン(T. W. Greene)等、*Protective Groups in Organic Synthesis*, John Wiley & Sons社、ニューヨーク 1991参照。特定の官能性に好適な保護基としては、記載の反応条件下で実質的に化学的に反応性ではなく、一般式Iの化合物の所定の中間体または一般式Iの化合物自体の他の官能性を実質的に化学的に変えることなく除去されるものが挙げられる。保護基は、所定の調製法で、例えば、次の工程でそのように所望される通りに除去することができる。

【0143】本発明の一般式Iの化合物のいくつかは、酸性であり、薬学的に許容することのできるカチオンと塩を形成する。本発明の一般式Iの化合物のいくつかは、塩基性であり、薬学的に許容することのできるアニオンと塩を形成する。このような塩の全てが、本発明の範囲内にあり、適宜、水性、非水性または部分的に水性媒体のいずれか中で、通常、化学量論の比率で酸性および塩基性物質を混合するような従来法により調製することができる。塩は、適宜、過、非溶媒を用いる沈殿に続く過、溶媒の蒸発、または水溶液の場合凍結乾燥のいずれかにより回収する。化合物は、エタノール、ヘキサン類または水/エタノール混合物のような適切な溶媒への溶解によるような当業界で公知の手法により結晶形態で得られる。

【0144】アテローム動脈硬化症になる危険のある患者の特徴は、当業者等に周知であり、それとしては、高血圧およびアテローム動脈硬化症を含む心血管疾患の家族歴を有する患者、肥満患者、あまり運動をしない患者、高コレステロール血症、高脂質血症および/または高トリグリセリド血症の患者、高水準のLDLまたはLp(a)を有する患者、ならびに低水準のHDLを有する患者が挙げられる。

【0145】糖尿病を発病する危険のある患者としては、糖尿病の家族歴を有する患者、肥満患者、あまり運動をしない患者、多嚕性卵巣症候群、耐糖能障害を有

する又はインスリン抵抗を示す患者、および妊娠性糖尿病である又はであった患者が挙げられる。本発明の化合物により治療される糖尿病の好ましい型は、I型糖尿病またはNIDDMとしても知られるインスリン非依存型糖尿病である。また、糖尿病に関連した合併症も、本明細書で開示される方法を通じて治療または予防することができる。

【0146】一つの態様において、本発明は、耐糖能障害、インスリン抵抗、インスリン依存型糖尿病(I型)およびインスリン非依存型糖尿病(NIDDMまたはI型)を含む糖尿病の治療に関する。糖尿病の治療にやはり含まれるものは、ニューロパシー、腎症、網膜症または白内障のような糖尿病性合併症である。

【0147】糖尿病は、糖尿病(I型もしくはII型)、インスリン抵抗、耐糖能障害またはニューロパシー、腎症、網膜症または白内障のような糖尿病性合併症のいずれかを有する患者に治療上効果的な量の本発明の化合物を投与することにより治療することができる。また、糖尿病を治療するのに用いることのできる他の薬物と共に本発明の化合物を投与することにより、糖尿病を治療することも考えられる。

【0148】糖尿病を治療するのに本発明の化合物と組み合わせて用いることのできる代表的薬物としては、インスリンおよびインスリン類似体(例えば、LysProインスリン); GLP-1 (7-37) (インスリノトロピン) およびGLP-1 (7-36)-NH<sub>2</sub>; スルホニル尿素類および類似体: クロロプロバミド、グリベンクラミド、トルブタミド、トラザミド、アセトヘキサミド、グリピジド(Glypizide) (登録商標)、グリメピリド、レバグリニド、メグリチニド; ビグアニド類: メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン;  $\alpha$ 2-アンタゴニスト類およびイミダゾリン類: ミダグリゾール、イサグリドール、デリグリドール、イダゾキサラン、エファロキサラン、フルバロキサラン; 他のインスリン分泌促進薬: リノグリリド、A-4166; グリタゾン類: シグリタゾン、ピオグリタゾン、エングリタゾン、トログリタゾン、ダルグリタゾン、BRL49653; 脂肪酸酸化阻害剤: クロモキシル、エトモキシル;  $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤: アカルボース、ミグリトール、エミグリタート、ボグリボース、MDL-25,637、カミグリボース、MDL-73,945;  $\beta$ -アゴニスト類: BRL35135、BRL37344、RO 16-8714、ICID7114、CL316,243; ホスホジエステラーゼ阻害剤: L-386,398; 脂質低下薬: ペンフルオレックス; 抗肥満薬: フェンフルラミン; パナダートおよびバナジウム複合体(例えば、ナグリバン(Nagli van) (登録商標))ならびにパーオキシバナジウム複合体; アミリンアンタゴニスト; グルカゴンアンタゴニスト; 糖新生阻害剤; ソマトスタチン類似体; 抗脂肪分解剤; ニコ

チン酸、アシビモックス、WAG994が挙げられる。やはり本発明の化合物と組み合わせて用いることができるものは、プラムリンチド(シムリン(symlin)(商標))、AC2993およびナテグリニドである。薬物のいずれの組み合わせも、上述のように投与することができる。

【0149】更に、本発明の化合物は、アルドースレダクターゼ阻害物質、グリコーゲンホスホリラーゼ阻害物質、ソルビトールデヒドロゲナーゼ阻害物質、NHE-1阻害物質およびグルコシルコリド受容体アンタゴニストと組み合わせて用いることができる。

【0150】本発明の化合物は、アルドースレダクターゼ阻害物質と組み合わせて用いることができる。アルドースレダクターゼ阻害物質は、糖尿病性ニューロパシーおよび腎症のような糖尿病の合併症に由来する症状の予防および治療におけるその有用性で広く知られるようになった化合物のクラスを構成する。このような化合物は、当業者等に周知であり、標準生物学的検査により容易に同定される。例えば、アルドースレダクターゼ阻害物質であるソボルレストット、即ち1-フタラジン酢酸、3,4-ジヒドロ-4-オキソ-3-[[5-(トリフルオロメチル)-2-ベンゾチアゾリル]メチル]-および関連化合物は、ラルソン(Larson)等の米国特許第4,939,140号に述べられている。

【0151】アルドースレダクターゼ阻害物質は、哺乳類の脂質水準を低下させる使用法について教示されてきた。例えば、カライサンファコン(Kallai-Sanfacon)の米国特許第4,492,706号およびEP 0 310 931 A2(エチル コーボレーション)参照。

【0152】ゴーイング(Going)の米国特許第5,064,830号は、血中尿酸水準を低下させるためのソボルレストットを含む特定のオキソフタラジニル酢酸アルドースレダクターゼ阻害物質の使用法を開示している。

【0153】普通に譲渡された米国特許第5,391,551号は、ヒトにおける血中脂質水準を低下させるためのソボルレストットを含む特定のアルドースレダクターゼ阻害物質の使用法を開示している。この開示物は、血中の増加した水準のトリグリセリドにより引き起こされる疾患の治療から治療上の有用性が引き出されることを教示しており、このような疾患としては、血栓症、動脈硬化症、心筋梗塞、および狭心症のような心血管疾患が挙げられる。好ましいアルドースレダクターゼ阻害物質は、1-フタラジン酢酸であるソボルレストットとしても知られている3,4-ジヒドロ-4-オキソ-3-[[5-(トリフルオロメチル)-2-ベンゾチアゾリル]メチル]-である。

【0154】

【0155】アルドースレダクターゼ阻害物質という用語は、酵素アルドースレダクターゼにより触媒されるグルコースのソルビトールへの生体変換を阻害する化合物

を指す、いずれのアルドースレダクターゼ阻害物質も、本発明の化合物と組み合わせて用いることができる。アルドースレダクターゼ阻害は、標準測定法(J. マロン(J. Malone), Diabetes, 29:861-864 (1980) "赤血球ソルビトール、糖尿病の制御の指標")により当業者等によって容易に測定される。種々のアルドースレダクターゼ阻害物質について、本明細書で述べているが、しかしながら、本発明の組成物および方法に有用な他のアルドースレダクターゼ阻害物質は、当業者等に公知である。

【0156】組織におけるアルドースレダクターゼ阻害物質の活性は、組織のソルビトールを低下させる(即ち、アルドースレダクターゼを遮断する結果ソルビトールの更なる生成を阻害することにより)又は組織のフルクトースを低下させる(アルドースレダクターゼを遮断する結果ソルビトールの生成を阻害、従ってフルクトースの生成を阻害することにより)の必要とするアルドースレダクターゼ阻害物質の量を調べることにより測定することができる。

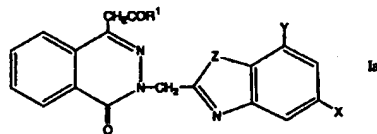
【0157】よって、本発明の組成物、多剤併用薬および方法に有用なアルドースレダクターゼ阻害物質の更なる例としては以下のものが挙げられる：

1. 3-(4-プロモ-2-フルオロベンジル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソ-1-フタラジン酢酸(ボナルレストット、米国特許第4,251,528号)；
2. N[[5-(トリフルオロメチル)-6-メトキシ-1-ナフタレニル]チオキソメチル]-N-メチルグリシン(トルレストット、米国特許第4,600,724号)；
3. 5-[(Z,E)- $\beta$ -メチルシンナミリデン]-4-オキソ-2-チオキソ-3-チアゾリデン酢酸(エバルレストット、米国特許第4,464,382号、米国特許第4,791,126号、米国特許第4,831,045号)；
4. 3-(4-プロモ-2-フルオロベンジル)-7-クロロ-3,4-ジヒドロ-2,4-ジオキソ-1(2H)-キナゾリン酢酸(ゼナレストット、米国特許第4,734,419号および第4,883,800号)；
5. 2R,4R-6,7-ジクロロ-4-ヒドロキシ-2-メチルクロマン-4-酢酸(米国特許第4,883,410号)；
6. 2R,4R-6,7-ジクロロ-6-フルオロ-4-ヒドロキシ-2-メチルクロマン-4-酢酸(米国特許第4,883,410号)；
7. 3,4-ジヒドロ-2,8-ジイソプロピル-3-オキソ-2H-1,4-ベンゾオキサジン-4-酢酸(米国特許第4,771,050号)；
8. 3,4-ジヒドロ-3-オキソ-4-[[4,5,

7-トリフルオロ-2-ベンゾチアゾリル)メチル}-2H-1,4-ベンゾチアジン-2-酢酸 (SPR-210、米国特許第5,252,572号) ;  
 9. N-[3,5-ジメチル-4-[(ニトロメチル)スルホニル]フェニル]-2-メチル-ベンゼンアセトアミド (ZD5522、米国特許第5,270,342号および米国特許第5,430,060号) ;  
 10. (S)-6-フルオロスピロ [クロマン-4,4'-イミダゾリジン]-2,5'-ジオン (ソルビニル、米国特許第4,130,714号) ;  
 11. d-2-メチル-6-フルオロスピロ (クロマン-4',4'-イミダゾリジン)-2',5'-ジオン (米国特許第4,540,704号) ;  
 12. 2-フルオロスピロ (9H-フルオレン-9,4'-イミダゾリジン) 2',5'-ジオン (米国特許第4,438,272号) ;  
 13. 2,7-ジフルオロスピロ (9H-フルオレン-9,4'-イミダゾリジン) 2',5'-ジオン (米国特許第4,436,745号、米国特許第4,438,272号) ;  
 14. 2,7-ジフルオロ-5-メトキシスピロ (9H-フルオレン-9,4'-イミダゾリジン) 2',5'-ジオン (米国特許第4,436,745号、米国特許第4,438,272号) ;  
 15. 7-フルオロスピロ (5H-インデノール [1,2-b]ピリジン-5,3'-ピロリジン) 2',5'-ジオン (米国特許第4,436,745号、米国特許第4,438,272号) ;  
 16. d-シス-6'-クロロ-2',3'-ジヒドロ-2'-メチルスピロ (イミダゾリジン-4,4'-4'-H-ピラノ (2,3-b)ピリジン-2,5'-ジオン (米国特許第4,980,357号) ;  
 17. スピロ [イミダゾリジン-4,5' (6H)-キノリン] 2,5'-ジオン-3'-クロロ-7,8'-ジヒドロ-7'-メチル (5'-シス) (米国特許第5,066,659号) ;  
 18. (2S,4S)-6-フルオロ-2',5'-ジオキソスピロ (クロマン-4,4'-イミダゾリジン)-2-カルボキサミド (米国特許第5,447,946号) ;および  
 19. 2-[(4-ブromo-2-フルオロフェニル)メチル]-6-フルオロスピロ [イソキノリン-4 (1H),3'-ピロリジン]-1,2',3,5' (2H)-テトロン (AR1-509、米国特許第5,037,831号)。

【0158】別のアルドースレダクターゼ阻害物質としては、下記一般式を有する化合物ならびに薬学的に許容することのできるその塩およびプロドラッグが挙げられる

【化27】



(ここで、Zは、OまたはSであり；R<sup>1</sup>は、ヒドロキシまたは、R<sup>1</sup>がOHである一般式Iの化合物を生成するためにインビボで除去されることのできる基であり；そしてXおよびYは、同じか又は異なり、水素、トリフルオロメチル、フルオロおよびクロロから選ばれる)。

【0159】アルドースレダクターゼ阻害物質の上記の群内の好ましいサブグループとしては、番号をつけた化合物1、2、3、4、5、6、9、10および17ならびに以下の一般式Iaの化合物が挙げられる：

20. 3,4-ジヒドロ-3-(5-フルオロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=F；Y=H]；
21. 3-(5,7-ジフルオロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Y=F]；
22. 3-(5-クロロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Cl；Y=H]；
23. 3-(5,7-ジクロロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Y=Cl]；
24. 3,4-ジヒドロ-4-オキソ-3-(5-トリフルオロメチルベンゾチアゾール-2-イルメチル)フタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=CF<sub>3</sub>；Y=H]；
25. 3,4-ジヒドロ-3-(5-フルオロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=F；Y=H]；
26. 3-(5,7-ジフルオロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Y=F]；
27. 3-(5-クロロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Cl；Y=H]；
28. 3-(5,7-ジクロロベンゾチアゾール-2-イルメチル)-3,4-ジヒドロ-4-オキソフタラジン-1-イル酢酸 [R<sup>1</sup>=ヒドロキシ；X=Y=Cl]；

ラジン-1-イル酢酸〔R<sup>1</sup> = ヒドロキシ；X=Y=C1〕；および

29. ソボルレスタット；1-フタラジン酢酸，3，4-ジヒドロ-4-オキソ-3-〔5-（トリフルオロメチル）-2-ベンゾチアゾリル〕メチル-〔R<sup>1</sup> = ヒドロキシ；X=トリフルオロメチル；Y=H〕。

【0160】20-23および29の化合物において、ZはSである。24-28の化合物において、ZはOである。

【0161】上記のサブグループの中で、化合物20-29が更に好ましく、29が特に好ましい。一般式Iaのアルドースレダクターゼ阻害物質の製法は、PCT公開番号WO 99/26659に見出すことができる。

【0162】また、本発明の化合物は、グルコルチコイド受容体モジュレーターと組み合わせて用いることができる。グルコルチコイド受容体（GR）は、アゴニストにより刺激されるまで不活性な状態で細胞質ゾル中に存在するグルコルチコイド応答細胞に存在する。刺激後、グルコルチコイド受容体は、DNAおよび／または蛋白質と特異的に相互作用しグルコルチコイド応答様式で転写を制御する細胞核に移動する。グルコルチコイド受容体と相互作用する蛋白質の2つの例は、転写因子APIおよびNFκ-Bである。このような相互作用は、APIおよびNFκ-Bが仲介する転写の阻害に帰し、内因的に投与されるグルコルチコイドの炎症活性に関与すると考えられている。更に、グルコルチコイドは、また、核転写と無関係に生理的作用を及ぼすかもしれない。生物学的に適切なグルコルチコイド受容体アゴニストとしては、コルチゾールおよびコルチコステロンが挙げられる。デキサメサゾン、プレドニゾンおよびプレドニソロンを含む多くの合成グルコルチコイド受容体アゴニストが存在する。定義により、グルコルチコイド受容体アンタゴニストは、受容体に結合し、グルコルチコイド受容体アゴニストが結合して転写を含むGRが仲介する事象を引き出すのを妨げる。RU486は、非選択的グルコルチコイド受容体アンタゴニストの一例である。GRモジュレーターは、体内のグルコルチコイドの過剰または欠乏に関連する疾患の治療に用いることができる。そういうものとして、以下のものを治療するのに用いることができる：肥満、糖尿病、心血管疾患、高血圧、X症候群、うつ病、不安、緑内障、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）または後天性免疫不全症候群（AIDS）、神経変性（例えば、アルツハイマー病およびパーキンソン病）、認識増大、クッシング症候群、アジソン病、骨粗鬆症、虚弱、炎症性疾患（例えば、変形性関節症、慢性関節リウマチ、喘息および鼻炎）、副腎機能の検査、ウイルス感染症、免疫不全、免疫制御、自己免疫疾患、アレルギー、創傷治療、強迫行動、多剤耐性、嗜癖、精神病、食欲不振、悪液質、心的外傷後ストレス症候群、術後骨折、医

学的異化作用ならびに筋肉衰弱の予防。本発明の化合物と組み合わせて用いることのできるGRモジュレーター例としては、参照により本明細書に含めるものとする。普通に譲渡された米国特許出願第60/132,130に開示された化合物が挙げられる。

【0163】また、本発明の化合物は、ソルビトールデヒドロゲナーゼ阻害物質と組み合わせて用いることもできる。ソルビトールデヒドロゲナーゼ阻害物質は、フラクトースの水準を低下させ、ニューロパシー、網膜症、腎症、心筋症、微小血管症のような糖尿病の合併症を治療または予防するのに用いられてきた。米国特許第5,728,704および5,866,578は、酵素ソルビトールデヒドロゲナーゼを阻害することにより糖尿病の合併症を治療または予防する化合物および方法を開示している。

【0164】更に、本発明の化合物は、他の薬物、例えば、コレステロール生合成阻害物質およびコレステロール吸収阻害物質、特に、HMG-CoAレダクターゼ阻害物質およびHMG-CoAシンターゼ阻害物質、HMG-CoAレダクターゼおよびシンターゼ遺伝子発現阻害物質、CEPT阻害物質、胆汁酸封鎖剤、フィブラート（fibrates）、ACAT阻害物質、スクアレンシンターゼ阻害物質、抗酸化剤およびナイアシンと組み合わせで投与することができる。本発明の化合物は、血漿コレステロール水準を低下させるように作用する天然に存在する化合物と組み合わせて投与することもできる。これらの天然に存在する化合物は、普通ニュートラシューティカル（nutraceuticals）と呼ばれ、それとしては、例えば、ニンニク抽出物およびナイアシンが挙げられる。

【0165】特異的コレステロール吸収阻害物質およびコレステロール生合成阻害物質は、下記に詳細に説明する。更なるコレステロール吸収阻害物質は、当業者等に公知であり、例えば、PCT WO 94/00480に述べられている。

【0166】いずれのHMG-CoAレダクターゼ阻害物質も、本発明の多剤併用療法の際における更なる化合物として用いることができる。HMG-CoAレダクターゼ阻害物質とは、酵素HMG-CoAレダクターゼにより触媒されるようなヒドロキシメチルグルタリル補酵素Aのメバロン酸への生体内変換を阻害する化合物を指す。このような阻害は、標準測定法（例えば、Methods of Enzymology, 71: 455-509 (1981)；及びその中で引用された参考文献）により当業者によって容易に測定することができる。これらの種々の化合物は、下記に述べられ参照にされている。米国特許第4,231,938号は、ロバスタチンのようなアスベルギルス属に属する微生物の培養後単離された特定の化合物を開示している。また、米国特許第4,444,784号は、シムバスタチンのような前述の化合物の合成誘導体を開示している。加えて、米国特許第4,739,073号は、

フルバスタチンのような特定の置換インドール類を開示している。更に、米国特許第4,346,227号は、プラバスタチンのようなML-236B誘導体を開示している。加えて、EP 491,226号は、リバスタチンのような特定のピリジジヒドロキシヘプテン酸を教示している。また、米国特許第4,647,576号は、アトルバスタチンのような特定の6-[2-(置換-ヒロール-1-イル)-アルキル]-ピラン-2-オン類を開示している。他のHMG-CoAレダクターゼ阻害物質は、当業者等に公知である。HMG-CoAレダクターゼ阻害物質を含有する市販品の例としては、Baycol (登録商標)、Lescol (登録商標)、Lipitor (登録商標)、Mevacor (登録商標)、Pravachol (登録商標) および Zocor (登録商標) が挙げられる。

【0167】いずれのHMG-CoAシンターゼ阻害物質も、本発明の多剤併用療法の状態における第二の化合物として用いることができる。HMG-CoAシンターゼ阻害物質とは、酵素HMG-CoAシンターゼにより触媒されるアセチル-補酵素Aおよびアセトアセチル-補酵素Aからヒドロキシメチルグルタリル-補酵素Aへの生合成を阻害する化合物を指す。このような阻害は、標準測定法 (例えば、Methods of Enzymology, 35: 155-160 (1975); および Methods of Enzymology, 110: 19-26 (1985); 並びにその中で引用された参考文献) により当業者によって容易に測定することができる。これらの種々の化合物は、下記に述べられ参照にされている。米国特許第5,120,729号は、特定のベータラクタム誘導体を開示している。米国特許第5,064,856号は、微生物MF5253を培養することにより調製される特定のスピロラクトン誘導体を開示している。米国特許第4,847,271号は、11-(3-ヒドロキシメチル-4-オキソ-2-オキセチル)-3,5,7-トリメチル-2,4-ウンデカジエン酸誘導体のような特定のオキセタン化合物を開示している。本発明の方法、組成物およびキットに有用な他のHMG-CoAシンターゼ阻害物質は、当業者等に公知である。

【0168】HMG-CoAレダクターゼ遺伝子発現を減少させるいずれの化合物も、本発明の多剤併用療法の状態における第二の化合物として用いることができる。これらの物質は、DNAの転写を遮断するHMG-CoAレダクターゼ転写阻害物質、またはHMG-CoAレダクターゼをコードするmRNAの蛋白質への翻訳を阻止する翻訳阻害物質であってもよい。このような阻害物質は、転写もしくは翻訳のいずれかに直接影響しても良いし、または、コレステロール生合成カスケードにおいて1種以上の酵素により前述の特性を有する化合物に生体内変換しても良いし、又は、前述の活性を有するイソプレノイドの蓄積をもたらしても良い。このような制

御は、標準測定法 (Methods of Enzymology, 110: 9-19 1985) により当業者等によって容易に測定される。このような化合物のいくつかは、下記で述べられ、参照にされているが、しかしながら、HMG-CoAレダクターゼ遺伝子発現の別の阻害物質は、当業者等に公知であり、例えば、米国特許第5,041,432号は、HMG-CoAレダクターゼ遺伝子発現の阻害物質である特定の15-置換ラノステロール誘導体を開示している。HMG-CoAレダクターゼの生合成を抑制する他の酸化ステロールは、E. I. マーサー (E. I. Mercer) (Prog. Lip. Res., 32:357-416 1993) により考察されている。

【0169】CETP阻害物質としての活性を有するいずれの化合物も、本発明の多剤併用療法の状態における第二の化合物として役立つことができる。CETP阻害物質とは、HDLからLDLおよびVLDLへの種々のコレステロールエステルおよびトリグリセリドの輸送を仲介するコレステロールエステル輸送蛋白質を阻害する化合物を指す。これらの種々の化合物は、下記で述べられ、参照にされているが、しかしながら、別のCETP阻害物質は、当業者等に公知である。米国特許第5,512,548号は、CETP阻害物質としての活性を有する特定のポリペプチド誘導体を開示しており、一方、特定のCETPを阻害するロセノラクトン誘導体およびコレステロールエステルの燐酸含有類似体は、それぞれ、J. Antibiot., 49 (8): 815-816 (1996) および Bioorg. Med. Chem. Lett., 6: 1951-1954 (1996) に開示されている。

【0170】いずれのACAT阻害物質も、本発明の多剤併用療法の状態における第二の化合物として役立つことができる。ACAT阻害物質とは、酵素アシルCoA:コレステロール アシルトランスフェラーゼによる食餌性コレステロールの細胞内エステル化を阻害する化合物を指す。このような阻害は、Journal of Lipid Research., 24: 1127 (1983) に述べられたヘイダー (Heider) 等の方法のような標準法により当業者によって容易に測定することができる。これらの種々の化合物は、下記で述べられ、参照にされているが、しかしながら、他のACAT阻害物質は、当業者等に公知である。米国特許第5,510,379号は、特定のカルボキシルホナートを開示しており、一方、WO 96/26948 および WO 96/10559 は、両方とも、ACAT阻害活性を有する尿素誘導体を開示している。

【0171】スクアレンシンターゼ阻害物質としての活性を有するいずれの化合物も、本発明の多剤併用療法の状態における更なる化合物として役立つことができる。スクアレンシンターゼ阻害物質とは、酵素スクアレンシンターゼにより触媒される反応であるスクアレンを形成するための2分子のファルネシルピロ燐酸の縮合を阻害する化合物を指す。このような阻害は、標準方法論 (Me

thods of Enzymology, 15: 393-454 (1969); および Methods of Enzymology, 110: 359-373 (1985); 並びにその中で引用された参考文献により当業者によって容易に測定される。スクアレンシンターゼ阻害物質の概要は、Curr. Op. Ther. Patents, 861-4, (1993)に従う。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 567 026 A1は、スクアレンシンターゼ阻害物質としての特定の4, 1-ベンゾオキサゼピン誘導体および高コレステロール血症の治療における、または殺菌剤としてのその使用法を開示している。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 645 378 A1は、スクアレンシンターゼ阻害物質としての7-または8-員の複素環ならびに高コレステロール血症および真菌感染症の治療および予防におけるその使用法を開示している。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 645 377 A1は、高コレステロール血症または冠状動脈硬化症の治療に有用なスクアレンシンターゼ阻害物質としての特定のベンゾオキサゼピン誘導体を開示している。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 611 749 A1は、動脈硬化症の治療に有用な特定の置換したアミド酸 (amic acid) 誘導体を開示している。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 705 607 A2は、抗高トリグリセリド血症薬として有用な特定の融合した7-または8-員の複素環式化合物を開示している。PCT公開WO 96/09827は、ベンゾオキサゼピン誘導体およびベンゾチアゼピン誘導体を含むコレステロール吸収阻害物質およびコレステロール生成阻害物質の特定の多剤併用薬を開示している。ヨーロッパ特許出願公開番号 0 701 725 A1は、血漿コレステロールおよびトリグリセリド低下活性を有するベンゾオキサゼピン誘導体を含む特定の光学的に活性な化合物を調製する方法を開示している。

【0172】アテローム動脈硬化症を予防または治療するのを助けるよう意図された高コレステロール血症を含む高脂質血症用に市販されている他の化合物としては、Colestid (登録商標)、LoCholest (登録商標) および Questran (登録商標) のような胆汁酸封鎖剤; ならびに Atromid (登録商標)、Lopid (登録商標) および Tricor (登録商標) のようなフィブレン酸 (fibrates) 誘導体が挙げられる。これらの化合物は、本発明の化合物と組み合わせて用いることもできる。

【0173】本発明の化合物は、とりわけ、肥満、高脂質血症、高リポ蛋白質血症およびX症候群等を含む、過剰のトリグリセリド、遊離の脂肪酸、コレステロール、コレステロールエステルまたはグルコースの存在に起因する症状の治療に典型的に用いられるリパーゼ阻害物質および/またはグルコシダーゼ阻害物質と共に投与することも考えられる。

【0174】本発明の化合物との組み合わせには、いずれのリパーゼ阻害物質またはグルコシダーゼ阻害物質

も、用いることができる。好ましいリパーゼ阻害物質としては、胃または膵リパーゼ阻害物質が含まれる。好ましいグルコシダーゼ阻害物質としては、アミラーゼ阻害物質が含まれる。

【0175】リパーゼ阻害物質は、食餌性トリグリセリドの遊離の脂肪酸およびモノグリセリドへの代謝による分解を阻害する化合物である。正常な生理学的条件下で、リパーゼ酵素の活性化セリン部分のアシル化を含む2段階の過程を経て脂肪分解が起きる。これは、次に分解されてジグリセリドを放出する、脂肪酸-リパーゼヘミアセタール中間体の生成をもたらす。更なる脱アシル化後、リパーゼ-脂肪酸中間体は、分解され遊離のリパーゼ、モノグリセリドおよび脂肪酸に帰する。その結果できた遊離の脂肪酸およびモノグリセリドは、次に、小腸の刷子縁の水準で吸収される胆汁酸-磷脂ミセルに包含される。ミセルは、最後にはキロミクロンとして末梢循環に入る。よって、摂取した脂肪前駆体の吸収を選択的に制限または阻害するリパーゼ阻害物質を含む化合物は、肥満、高脂質血症、高リポ蛋白質血症およびX症候群等を含む症状の治療に有用である。

【0176】膵リパーゼは、トリグリセリドから1-および3-の炭素の位置での脂肪酸の代謝分解を仲介する。上部小腸における脂肪の分解に必要な大過剰の量で通常分泌される膵リパーゼによる摂取した脂肪の代謝の主要な部位は、十二指腸および近位空腸内である。膵リパーゼが、食餌性トリグリセリドの吸収に必要とされる主たる酵素であることから、阻害物質は、肥満および他の関連症状の治療に有用である。

【0177】胃のリパーゼは、食餌性脂肪の約10から40%の消化に関与する免疫学的に異なるリパーゼである。胃のリパーゼは、機械的刺激、食物の摂取、脂肪性食事の存在に反応して又は交感神経系により分泌される。摂取した脂肪の胃での脂肪分解は、腸での膵リパーゼ活性の引き金を引くのに必要とされる脂肪酸の供給のため生理学的に重要であり、種々の生理学的状態および膵機能不全と関係した病的状態における脂肪の吸収のためにもやはり重要である。例えば、C. K. アブラムス (C. K. Abrams) 等, Gastroenterology, 92, 125 (1987) 参照。

【0178】種々のリパーゼ阻害物質が、当業者に公知である。しかしながら、本発明の方法、医薬組成物およびキットの実施に当たり、一般的に好ましいリパーゼ阻害物質は、リアスタチン、テトラヒドロリアスタチン (オルリスタット)、FLE-386、WAY-121898、Bay-N-3176、バリラクトン、エステラスチン、エベラクトンA、エベラクトンBおよびRHC80267、その立体異性体、並びにこれらの化合物および立体異性体の薬学的に許容することのできる塩から成る群から選ばれた阻害物質である。化合物テトラヒドロリアスタチンが、特に好ましい。



【0179】 糖リパーゼ阻害物質リアスタチン、即ち (2S, 3S, 5S, 7Z, 10Z) -5- [(S) -2-ホルマミド-4-メチル-バレリルオキシ] -2-ヘキシル-3-ヒドロキシ-7, 10-ヘキサデカン酸ラクトン、およびテトラヒドロリアスタチン (オルリスタット)、即ち (2S, 3S, 5S) -5- [(S) -2-ホルマミド-4-メチル-バレリルオキシ] -2-ヘキシル-3-ヒドロキシ-ヘキサデカン1, 3酸ラクトン、及びさまざまに置換したN-ホルミルロイシン誘導体ならびにその立体異性体は、米国特許第4, 598, 089号に開示されている。例えば、テトラヒドロリアスタチンは、例えば、米国特許第5, 274, 143号; 5, 420, 305号; 5, 540, 917号および5, 643, 874号に記載された通りに調製する。

【0180】 糖リパーゼ阻害物質FL-386、即ち1-[(4-(2-メチルプロピル) シクロヘキシル) -2-[(フェニルスルホニル) オキシ] -エタノン、及びそれに関連したさまざまに置換したスルホネート誘導体は、米国特許第4, 452, 813号に開示されている。

【0181】 糖リパーゼ阻害物質WAY-121898、即ち4-フェノキシフェニル-4-メチルピペリジン-1-イル-カルボキシレートおよび種々のカルバミン酸エステル類並びにそれに関連した薬学的に許容することのできる塩は、米国特許再5, 512, 565号; 5, 391, 571号および5, 602, 151号に開示されている。

【0182】 リパーゼ阻害物質Bay-N-3176、即ちN-3-トリフルオロメチルフェニル-N'-3-クロロ-4'-トリフルオロメチルフェニル尿素及びそれに関連した種々の尿素誘導体は、米国特許第4, 405, 644に開示されている。

【0183】 糖リパーゼ阻害物質バリラクトンおよび放線菌類菌株MG147-CF2の微生物培養によるその調製法は、キタハラ等, J. Antibiotics, 40 (11), 1647-1650 (1987)に開示されている。

【0184】 リパーゼ阻害物質エステラシンおよびストレプトマイセス属菌株ATCC31336の微生物培養によるその特定の調製法は、米国特許第4, 189, 438号および4, 242, 453号に開示されている。

【0185】 糖リパーゼ阻害物質エベラクトンAおよびエベラクトンBならびに放線菌類菌株MG7-G1の微生物の培養によるその調製法は、ウメザワ等, J. Antibiotics, 33, 1594-1596 (1980)に開示されている。モノグリセリド形成の抑制におけるエベラクトンAおよびBの使用法は、1996年6月4日に公開された特開平08-143457に開示されている。

【0186】 リパーゼ阻害物質RHC80267、即ちシクロ-O, O'-[(1, 6-ヘキサンジール)-ビス-(イミノカルボニル)] ジオキシム及びそれに関連

した種々のビス(イミノカルボニル) ジオキシムは、ペターセン(Petersen)等, Liebig's Annalen, 562, 205-229 (1949)に記載の通りに調製することができる。心筋リボ蛋白質リパーゼの活性を阻害するRHC 80267の能力は、キャロル(Carroll)等, Lipids, 27, pp. 305-307 (1992)およびチュアング(Quang)等, J. Mol. Cell Cardiol., 22, 1009-1016 (1990)に開示されている。

【0187】 このような阻害物質を含む本発明の態様において、適切な量のリパーゼ阻害物質を用いる。リパーゼ阻害物質の量は、通常、1回または分割した量として投与して、1日当たり約0.01から約50mg/対象者の体重kgの範囲であり、好ましくは1日当たり約0.05から約10mg/対象者の体重kgである。例えば、リパーゼ阻害物質がテトラヒドロリアスタチンである場合、テトラヒドロリアスタチンの量は、好ましくは、1日当たり約0.05から2mg/対象者の体重kgである。実際には、医師が、個々の患者に最も適切であるリパーゼ阻害物質の実際の量を決定し、それは、例えば、年齢、体重および特定の患者の応答と共に変化する。リパーゼ阻害物質の上記の量は、例示的なものであるが、しかし、当然のことながら、それより高い又は低い量の範囲のこのようなリパーゼ阻害物質が、益する個々の場合があり得、このような量全てが、本発明の範囲内にある。

【0188】 グルコシダーゼ阻害物質は、生体内で利用可能な単純な糖、例えばグルコースへのグリコシドヒドロラーゼ、例えばアミラーゼまたはマルターゼによる複合炭水化物の酵素による加水分解を阻害する。特に高水準の炭水化物摂取後のグルコシダーゼの急激な代謝作用は、脂肪または糖尿病患者において、インスリンの増強した分泌、増大した脂肪合成および脂肪分解の減少をもたらす食餌性高血糖の状態に帰する。このような高血糖後、増大した水準のインスリンが存在するために低血糖がしばしば起こる。更に、低血糖および胃に残存するびじゅくの両方が、胃炎または十二指腸潰瘍の発生を開始する又は助ける胃液の産生を促すことが知られている。よって、グルコシダーゼ阻害物質は、炭水化物が胃を通過するのを促進し、グルコースの腸からの吸収を阻害するのに有用であることが知られている。更に、炭水化物の脂肪組織の脂肪への変換および続いて起こる脂肪組織貯蔵庫への食餌性脂肪の取り込みは、よって、減少または遅れ、それに起因する有害な異常性を減少させる又は防ぐという付随する恩恵がある。

【0189】 本発明の化合物と組み合わせ、いずれのグルコシダーゼ阻害物質も用いることができるが、しかしながら、通常、好ましいグルコシダーゼ阻害物質は、アミラーゼ阻害物質から成る。アミラーゼ阻害物質は、デンブリンまたはグリコーゲンのマルトースへの酵素分解を阻害するグルコシダーゼ阻害物質である。このような

酵素分解の阻害は、グルコースおよびマルトースを含む生体内で利用可能な糖の量、及びそれに起因する付随する有害な症状を減少させるのに有益である。

【0190】種々のグルコシダーゼおよびアミラーゼ阻害物質が、当業者に公知である。しかしながら、本発明の方法、医薬組成物およびキットの実施に当たり、通常好ましいグルコシダーゼ阻害物質は、アカルボース、アジポシン、ボグリボース、ミグリトール、エミグリタート、MDL-25637、カミグリボース、テンダミスタト、AI-3688、トレスタチン、アラジミシン-Qおよびサルボスタチンから成る群から選ばれた阻害物質である。

【0191】グルコシダーゼ阻害物質アカルボース、即ちO-4, 6-ジデオキシ-4-[[ (1S, 4R, 5S, 6S) -4, 5, 6-トリヒドロキシ-3-(ヒドロキシメチル)-2-シクロヘキセン-1-イル]アミノ]- $\alpha$ -グルコピラノシル-(1 $\rightarrow$ >4)-O- $\alpha$ -D-グルコピラノシル-(1 $\rightarrow$ >4)-D-グルコース、それに関連した種々のアミノ糖誘導体およびアクチノアラネス属菌株SE50 (CBS961.70)、SB18 (CBS957.70)、SE82 (CBS615.71)、SE50/13 (614.71)およびSE50/110 (674.73)の微生物培養によるその調製法は、それぞれ、米国特許第4,062,950号および第4,174,439号に開示されている。

【0192】アジポシン1および2型から成るグルコシダーゼ阻害物質アジポシンは、米国特許第4,254,256に開示されている。更に、アジポシンの調製および精製法は、ナミキ等, J. Antibiotics, 35, 1234-1236 (1982)に開示されている。

【0193】グルコシダーゼ阻害物質ボグリボース、即ち3, 4-ジデオキシ-4-[[ (2-ヒドロキシ-1-(ヒドロキシメチル)エチル)アミノ]-2-C-(ヒドロキシメチル)-D-エビーイノシトール及びそれに関連したN-置換アソイド-アミノ糖は、米国特許第4,701,559号に開示されている。

【0194】グルコシダーゼ阻害物質ミグリトール、即ち(2R, 3R, 4R, 5S)-1-(2-ヒドロキシエチル)-2-(ヒドロキシメチル)-3, 4, 5-トリヒドロキシペリジンは、米国特許第4,639,436号に開示されている。

【0195】グルコシダーゼ阻害物質エミグリタート、即ちp-[[2-[(2R, 3R, 4R, 5S)-3, 4, 5-トリヒドロキシ-2-(ヒドロキシメチル)ペリジノ]エトキシ]-安息香酸エチル、それに関連する種々の誘導体および薬学的に許容することのできるその酸付加塩は、米国特許第5,192,772号に開示されている。

【0196】グルコシダーゼ阻害物質MDL-25637、即ち2, 6-ジデオキシ-7-O- $\beta$ -D-グルコピラノシル-2, 6-イミノ-D-グリセロール-グルコヘアチトール、それに関連する種々のホモ二糖類および薬学的に許容することのできるその酸付加塩は、米国特許第4,634,765号に開示されている。

【0197】グルコシダーゼ阻害物質カミグリボース、即ちメチル6-デオキシ-6-[(2R, 3R, 4R, 5S)-3, 4, 5-トリヒドロキシ-2-(ヒドロキシメチル)ペリジノ]- $\alpha$ -D-グルコピラノシドセスキ水合物、それに関連するデオキシノジリマイシン誘導体、種々の薬学的に許容することのできるその塩及びその調製のための合成法は、米国特許第5,157,116号および5,504,078号に開示されている。

【0198】アミラーゼ阻害物質テンダミスタト、それに関連する種々の環式ペプチドおよびストレプトマイセス・テンダエ(*Streptomyces tendae*)菌株4158またはHAG1226の微生物培養によるその調製法は、米国特許第4,451,455に開示されている。

【0199】アミラーゼ阻害物質AI-3688、それに関連した種々の環式ポリペプチド、およびストレプトマイセス・オーレオファシエンシス(*Streptomyces aureofaciens*)菌株FH1656の微生物培養によるその調製法は、米国特許第4,623,714号に開示されている。

【0200】アミラーゼ阻害物質トレスタチンA、トレスタチンBおよびトレスタチンCの混合物から成るトレスタチン、それに関連した種々のトレハロース含有アミノ糖、ならびにストレプトマイセス・ジモルホゲネス(*Streptomyces dimorphogenes*)菌株NR-320-OM7HBおよびNR-320-OM7HBSの微生物培養によるその調製法は、米国特許第4,273,765号に開示されている。

【0201】グルコシダーゼ阻害物質アラジミシン-Qおよびアクチノマツラ・ベルコスボラ(*Actinonadura verrucospora*)菌株R103-3またはA10102の微生物培養によるその調製法は、それぞれ米国特許第5,091,418号および第5,217,877号に開示されている。

【0202】グルコシダーゼ阻害物質サルボスタチン、それに関連した種々のアソイドサッカリド、種々の薬学的に許容することのできるその塩およびストレプトマイセス・アルブス(*Streptomyces albus*)菌株ATCC21838の微生物培養によるその調製法は、米国特許第5,091,524号に開示されている。

【0203】好ましいグルコシダーゼ阻害物質は、アカルボース、アジポシン、ボグリボース、ミグリトール、エミグリタート、MDL-25637、カミグリボース、アラジミシン-Qおよびサルボスタチンから成る群

から選ばれる化合物から成る。特に好ましいグルコシダーゼ阻害物質は、アカルボースである。特に好ましいグルコシダーゼ阻害物質は、テンダミスタート、A1-3688およびトレストチンから成る群から選ばれるアミラーゼ阻害物質から成る。

【0204】本発明の別の態様において、一般式1の化合物は、他の抗肥満薬と組み合わせて用いることができる。更なる抗肥満薬は、好ましくは、フェニルプロパノールアミン、エフェドリン、アソイドエフェドリン、フェンタミン、ニューロペプチドYアンタゴニスト、 $\beta_3$ -アドレナリン受容体アゴニスト、コレシストキニン-Aアゴニスト、モノアミン再吸収阻害物質、交感神経作用模倣薬、セロトニン作用模倣薬、ドーパミンアゴニスト、メラニン細胞刺激ホルモン受容体アゴニストまたは模倣薬、メラニン細胞刺激ホルモン受容体類似体、カンナビノイド受容体アンタゴニスト、メラニン濃縮ホルモンアンタゴニスト、レプチン(leptin)、OB蛋白質、レプチン類似体、レプチン受容体アゴニスト、ガラニンアンタゴニスト、リパーゼ阻害物質、ボンベシンアゴニスト、甲状腺ホルモン模倣薬、デヒドロエピアンドロステロンまたはその類似体、グルココルチコイド受容体モジュレーター、オレキシン(orexin)受容体アンタゴニスト、ウロコルチン(urocortin)結合蛋白質アンタゴニスト、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、および毛様体神経因子から成る群から選ばれる。

【0205】特に好ましい抗肥満薬は、シブトラミン、フェンフルラミン、デキスフェンフルラミン、プロモクリプテン、フェンテルミン、エフェドリン、レプチン、フェニルプロパノールアミン、アソイドエフェドリン、 $\{4-[2-(2-[6\text{-アミノピリジン-3-イル}]-2(R)-\text{ヒドロキシエチルアミノ})\text{エトキシ}]\text{フェニル}\}$ 酢酸、 $\{4-[2-(2-[6\text{-アミノピリジン-3-イル}]-2(R)-\text{ヒドロキシエチルアミノ})\text{エトキシ}]\text{フェニル}\}$ 安息香酸、 $\{4-[2-(2-[6\text{-アミノピリジン-3-イル}]-2(R)-\text{ヒドロキシエチルアミノ})\text{エトキシ}]\text{フェニル}\}$ アロピオン酸、および $\{4-[2-(2-[6\text{-アミノピリジン-3-イル}]-2(R)-\text{ヒドロキシエチルアミノ})\text{エトキシ}]\text{フェノキシ}\}$ 酢酸から成る群から選ばれる化合物から成る。

【0206】本発明の組成物、方法およびキットに好適な食欲抑制薬は、当業者等に公知の方法を用いて調製することができ、例えば、フェンテルミンは、米国特許第2,408,345号に記載の通りに調製することができ、シブトラミンは、米国特許第4,929,629号に記載の通りに調製することができ、フェンフルラミンおよびデキスフェンフルラミンは、米国特許第3,198,834号に記載の通りに調製することができ、そしてプロモクリプテンは、米国特許第3,752,814号および第3,752,888号に記載の通りに調製す

ることができ、

【0207】食欲抑制薬のいずれの適切な用量も、このような薬物を含む本発明の態様に持ちいられる。食欲抑制薬の用量は、通常、1回または分割した量として投与して1日当たり約0.01から約50mg/対象者の体重kgの範囲であり、好ましくは1日当たり約0.1から約10mg/対象者の体重kgである。例えば、食欲抑制薬が、フェンテルミンである場合、フェンテルミンの用量は、1日当たり約0.01から約50mg/対象者の体重kgの範囲であり、好ましくは1日当たり約0.1から約1mg/対象者の体重kgである。更に、食欲抑制薬が、シブトラミンである場合、用量範囲は、1日当たり約0.01から約50mg/対象者の体重kgの範囲であり、好ましくは1日当たり約0.1から約1mg/対象者の体重kgであり、食欲抑制薬が、デキスフェンフルラミンまたはフェンフルラミンである場合、用量範囲は、1日当たり約0.01から約50mg/対象者の体重kgであり、好ましくは1日当たり約0.1から約1mg/対象者の体重kgであり、食欲抑制薬が、プロモクリプテンである場合、用量範囲は、1日当たり約0.01から約10mg/対象者の体重kgであり、好ましくは1日当たり約0.1から約1mg/対象者の体重kgである。実際には、医師が、個々の患者に最も適切である食欲抑制薬の実際の量を決定し、それは、例えば、年齢、体重および特定の患者の応答と共に変化する。食欲抑制薬の上記の量は、例示的なものであるが、しかし、当然のことながら、それより高い又は低い量の範囲のこのような食欲抑制薬が、益する個々の場合があり得、このような量全てが、本発明の範囲内にある。

【0208】また、本発明の化合物は、他の抗高血圧薬と組み合わせて用いることができる。抗高血圧薬を含有する現在市販されている製品の例としては、カルジゼム(登録商標)、アダラト(登録商標)、カラン(登録商標)、カルデン(登録商標)、コペラ(登録商標)、ジラコル(登録商標)、ダイナシルク(登録商標)、プロカルジアXL(登録商標)、スラル(登録商標)、チアザク(登録商標)、バスコル(登録商標)、ベレラン(登録商標)、イソブチン(登録商標)、ニモトプ(登録商標)、およびアレンジル(登録商標)のようなカルシウムチャンネル遮断薬；アキュプリル(登録商標)、アルタス(登録商標)、カプトプリル(登録商標)、ロテンシン(登録商標)、マビク(登録商標)、モノプリル(登録商標)、アリンビル(登録商標)、ユニバスク(登録商標)、バソテク(登録商標)およびゼストリル(登録商標)のようなアンギオテンシン変換酵素(ACE)阻害物質が挙げられる。更に、利尿剤および上記の抗高血圧薬の多剤併用薬が採用されており、本発明の化合物と組み合わせて用いることが考えられる。

【0209】また、本発明の化合物は、抗うつ薬と組み

合わせて用いることができる。本発明の化合物と組み合わせることで市販されている抗うつ薬の例としては、ナルジル（登録商標）およびバルナート（登録商標）のようなモノアミンオキシダーゼ阻害物質；パキシル（登録商標）、プロザク（登録商標）、およびノロフト（登録商標）のような選択的セロトニン再吸収阻害物質；アセンジン（登録商標）、エラビル（登録商標）、エトラホン（登録商標）、リムビトロール（登録商標）、ノルプラミン（登録商標）、パメロル（登録商標）、シネクアン（登録商標）スルモンチル（登録商標）、トフラニル（登録商標）、トリアビル（登録商標）、およびビバクチル（登録商標）のような三環系抗うつ薬が挙げられる。うつ病を治療するのに用いる、そして本発明の化合物と組み合わせることで用いることができる更なる化合物としては、デシレル（登録商標）、エフェキソル（登録商標）、レメロン（登録商標）、セルゾン（登録商標）、およびウェルプトリン（登録商標）が挙げられる。

【0210】また、本発明の化合物は、骨粗鬆症を治療するのに用いる化合物と組み合わせることで用いることができる。本発明の化合物と組み合わせることで用いることができる活性物質を含有する市販されている製品の例としては、ホサマックス（登録商標）のようなビスホスホネート類およびカルシトニンおよびエストロゲン類のようなホルモン物質が挙げられる。更に、エビスタ（登録商標）を、本発明の化合物と組み合わせることで用いることができる。

#### 【0211】

【発明の実施の形態】本発明の化合物は、患者に治療上効果的な量で投与される。本化合物は、単独で、または薬学的に許容することのできる組成物の一部として投与することができる。更に、本化合物または組成物は、例えばボーラス注射のように全部一度に、一連の錠剤のように複数回で投与することができる、または例えば経皮供給を用いて一定の期間にわたって実質的に均一に供給することができる。また、本化合物の量は、時間と共に変えることができる。

【0212】更に、本発明の化合物は、単独で、本発明の他の化合物、または他の薬学的に活性な化合物と組み合わせることで投与することができる。他の薬学的に活性な化合物は、本発明の化合物と同じ疾患もしくは症状または異なる疾患もしくは症状を治療することを意図することができる。患者が、複数の薬学的に活性な化合物を受領する予定または現在受領しているならば、本化合物を、同時にまたは連続して投与することができる。例えば、錠剤の場合、活性化合物は、一度に又は連続して投与することのできる1個の錠剤中に、または別々の錠剤中にあってもよい。加えて、本組成物は、異なる形態であってもよいことは認められる。例えば、1種以上の化合物を錠剤を通じて供給することができるし、そして、もう一方は、注射を通じて又はシロップ剤のように

経口的に投与される。全ての多剤併用薬、送達方法および投与順序が考えられる。連続投与には、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩、および場合によっては他の活性化合物は、いずれの順序でも投与することができる。このような投与は、通常、経口であることが好ましい。投与は、経口で同時であることが、更に好ましい。しかしながら、例えば、治療しようとする対象者が飲み込むことができない、または経口吸収が他に害する若しくは望ましくない場合、非経口または経皮投与が、適切である。投与が連続する場合、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩、および場合によっては他の活性化合物の投与は、同じ方法または異なる方法によってもよい。

【0213】ヒトまたは動物に投与する本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の量は、むしろ広く変えることができ、診療する医師または獣医の判断に委ねる。当業者等により理解されることではあるが、塩の形態で投与する場合、例えば、塩形成部分がかなりの分子量を有する場合、本発明の化合物、プロドラッグまたは異性体の量を調整する必要があるかもしれない。本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の治療上効果的な量の通常範囲は、1日当たり約0.001mg/対象者の体重kgから約100mg/体重kgである。本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の効果的な投与割合の好ましい範囲は、1日当たり約0.01mg/対象者の体重kgから約50mg/体重kgである。本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の毎日の量を、1日の種々の時間に分けて投与するのが実際的であるかもしれないが、投与する化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の量は、いずれにしろ、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の溶解度、用いる配合組成および投与経路（例えば、経口、経皮、非経口または局所）のような因子に依存する。

【0214】本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の用量は、経口投与が好ましいがいずれの適切な経路によってもヒトに投与される。個々の錠剤またはカプセル剤は、通常、適切な薬学的に許容することのできる賦形剤、希釈剤または担体中に約0.1mgから約100mgの本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を含有する。静脈投与のための用量は、通常、必要とされる場合1回量当たり約0.1mgから約100mgの範囲内である。鼻腔内または吸入投与には、用量は、通常、約0.1%から約1%（w/v）の溶液として処方される。実際には、医師が、個々の患者に最

も適切である実際の量を決定し、それは、例えば、年齢、体重および特定の患者の応答と共に変化する。上記の量は、平均の場合の例であるが、しかし、当然のことながら、それより高い又は低い量の範囲が、益する個々の場合があり得、本発明の一般式 I の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩のこのような量全てが、本発明の範囲内にある。

【0215】いずれの適切な投与経路も、本発明の一般式 I の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩に用いることができる。便宜上の理由で、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩を経口的に投与することが、通常、好ましいが、しかしながら、ある場合に所望される場合、例えば、経皮的に、または直腸による吸収用坐剤として投与することができる。上述のように、投与は、適切な場合、1回または複数回量で行うことができる。

【0216】本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、薬学的に許容することのできる賦形剤、担体または希釈剤を含む医薬組成物として投与することができる。本発明の医薬組成物は、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩の適切な量、即ち、所望の容量を提供するのに十分な量を含む。

【0217】本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、種々の異なる形態で投与する、即ち、いずれかの適切な形態で種々の薬学的に許容することのできる不活性な賦形剤、担体または希釈剤と混合することができる。このような担体としては、固形の希釈剤または賦形剤、減菌水性媒体および種々の非毒性の有機溶媒が挙げられる。本医薬組成物は、単一の錠剤もしくはカプセル剤または都合の良い容量の液剤であってもよい用量単位中に毎日の用量または毎日の用量の便利な分割量を含有するよう処方される。

【0218】錠剤、トローチ剤(lozenges)、ハードキャンディー剤、チュワブル錠剤、顆粒剤、散剤、スプレー剤、カプセル剤、丸剤、マイクロカプセル剤、液剤、非経口液剤、トローチ剤(troches)、注射剤(例えば、静脈、腹腔内、筋肉内または皮下)、坐剤、エリキシル剤、シロップ剤および懸濁剤を含む、通常の型の医薬組成物の全てが、本発明に用いられる。

【0219】非経口投与には、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、ゴマもしくは落花生油中の液剤として、または水性液剤(例えば、水性アロビレングリコール)として用いられ、場合によっては、液体を等張にするのに十分な塩またはグルコース(液体のpHは、必要な場合、適切に調整され緩衝化される)、および表面活性剤、例えばヒドロキシプロピルセルロースのような他の物質を含有してもよい減菌水性液剤の形態で最善に用いられる。この

ような油性液剤は、関節内、筋肉内および皮下注射目的に適している。このような水性液剤は、静脈注射目的に適している。

【0220】また、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、局所的に投与することができ、これは、標準製薬慣習により、例えばクリーム剤、ゼリー剤、軟膏剤(salves)、ローション剤、ゲル剤、パスタ剤および軟膏剤(ointments)等により行うことができる。本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、経皮的に(例えば、パッチ剤の使用を介して)投与することもできる。

【0221】本発明の化合物を含む経皮適用に好まないずれの処方物も用いることができる。このような処方物は、通常、適切な経皮担体、例えば、対象者の皮膚を介した化合物の通過を促し助けるための吸収可能な薬学的に許容することのできる溶媒も含有するであろう。例えば、適切な経皮装置は、支持構成員を有する包帯またはパッチおよび本化合物を含有するレザバーの形態を含んでも良い。このような包帯型の経皮装置は、更に、適切な担体、速度を制御する障壁、および対象者の皮膚に経皮装置を確保するための部品を含んでも良い。

【0222】以下に詳細に述べるように、本発明の医薬組成物は、医薬品添加物(例えば、ショ糖、デンプン、マンニトール、ソルビトール、ラクトース、グルコース、セルロース、タクル、燐酸カルシウムまたは炭酸カルシウム)結合剤(例えば、セルロース、メチルセルロース、ヒドロキシメチルセルロース、ポリプロピルピロリドン、ポリビニルピロリドン、ゼラチン、アラビアゴム、ポリエチレングリコール、ショ糖またはデンプン)、崩壊剤(例えば、デンプン、カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシプロピルデンプン、低置換ヒドロキシプロピルセルロース、重炭酸ナトリウム、燐酸カルシウムまたはクエン酸カルシウム)、滑沢剤(例えば、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水珪酸、タルクまたはラウリル硫酸ナトリウム)、着香料(例えば、クエン酸、メントール、グリシンまたはオレンジ粉末)、保存料(例えば、安息香酸ナトリウム、重亜硫酸ナトリウム、メチルパラベンまたはプロピルパラベン)、安定化剤(例えば、クエン酸、クエン酸ナトリウムまたは酢酸)、懸濁化剤(例えば、メチルセルロース、ポリビニルピロリドンまたはステアリン酸アルミニウム)、分散剤(例えば、ヒドロキシプロピルメチルセルロース)、希釈剤(例えば、水)、着色剤、乳化剤および基剤ロウ(例えば、ココアバター、白色ワセリンまたはポリエチレングリコール)のような従来の有機または無機添加物を用いる普通に用いられる方法により調製される。

【0223】本発明のいずれの化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩も、錠剤およびカプセル剤等として容易に処方することができ

る。これらの化合物の水溶性塩から液剤を調製するのが、好ましい。

【0224】概ね、本発明の全ての医薬組成物が、製薬化学の通常の方法により調製される。

【0225】カプセル剤は、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩と適切な希釈剤とを混合し適切な量の混合物をカプセルに充填することにより調製される。通常の希釈剤としては、多数の異なる種類のデンプン、粉末セルロース、特に結晶および微結晶セルロースのような不活性な粉末化合物、フルクトース、マンニトールおよびショ糖のような糖類、穀物粉ならびに類似した食用粉末が挙げられる。

【0226】錠剤は、直接の圧縮、湿潤顆粒化、または乾燥顆粒化により調製される。これらの処方物は、通常、希釈剤、結合剤、滑沢剤および崩壊剤ならびに本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を包含する。普通の希釈剤としては、例えば、種々の型のデンプン、ラクトース、マンニトール、カオリン、燐酸もしくは硫酸カルシウム、塩化ナトリウムのような無機塩および粉末糖が挙げられる。粉末セルロース誘導体も用いることができる。普通の錠剤結合剤としては、デンプン、ゼラチンおよび、ラクトース、フルクトース、グルコース等のような糖類が挙げられる。アラビアゴム、アルギン酸塩、メチルセルロース、ポリビニルピロリドン等を含む天然および合成ゴムも好都合である。ポリエチレングリコール、エチルセルロースおよびロウも、やはり結合剤として役立つことがある。

【0227】滑沢剤は、通常、錠剤および片が口内で固着するのを防止するのに錠剤処方物中に必要とされる。滑沢剤は、滑りやすい固形物、例えば、タルク、ステアリン酸マグネシウムおよびカルシウム、ステアリン酸ならびに水素化植物油から選ばれる。

【0228】錠剤崩壊剤としては、湿った場合に膨潤して錠剤を分解し、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を放出する物質が挙げられる。それとしては、デンプン類、粘土類、セルロース類、アルギン類およびゴム類が挙げられる。更に詳しくは、例えば、トウモロコシおよびバレイショデンプン、メチルセルロース、寒天、ベントナイト、木材セルロース、粉末にした天然の海绵、カチオン交換樹脂、アルギン酸、グアーガム、柑橘類のバルブおよびカルボキシメチルセルロースを、ラウリル硫酸ナトリウム同様用いることができる。

【0229】錠剤は、しばしば、着香剤およびシーラントとしての糖で、または錠剤の解離特性を変えるためフィルムを形成する保護剤で被覆される。また、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、現在当業界で充分確立されているこ

とであるが、処方物中に大量のマンニトールのような心地よい味覚の物質を用いることによりチュワブル錠剤として処方することもできる。

【0230】本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を坐剤として投与することを所望である場合、いずれの適切な基剤も用いることができる。ココアバターは、ロウ類の添加によりその融点を上昇させるよう変えることのできる従来の坐剤基剤である。特に種々の分子量のポリエチレングリコール類を含む、水混和性坐剤基剤が、広く用いられる。

【0231】上記で考察したように、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の作用を、適切な処方により遅らす又は延長することができる。例えば、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の徐々に溶解するベレットを調製し、錠剤またはカプセル剤に包含させることができる。いくつかの異なる解離速度のベレットを製造しベレットの混合物をカプセルに充填することにより、この技法を改良することができる。錠剤またはカプセル剤は、予測可能な期間解離に耐えるフィルムで被覆することができる。また、非経口製剤は、場合によっては、それが血清中で非常にゆっくり分散するのを可能にする油性または乳化賦形剤中に本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩を溶解または懸濁することにより長期に作用するようにすることができる。

【0232】また、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、ヒト以外の哺乳類にも投与される。このような哺乳類への投与方法および投与する用量は、例えば、動物種および治療しようとする疾患または障害に依存する。本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩とカルボワックスまたはカルナウバロウのような適切な希釈剤と滑沢剤とを共に混合することにより調製した、例えば、カプセル剤、大形丸剤、錠剤、ベレット剤、例えば、落花生油、ゴマ油もしくはトウモロコシ油のような薬学的に許容することのできる油中に本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩を分散させることにより調製した液体水薬剤またはペースト剤のような適切な形態で、適切な方法、例えば、経口的に、非経口的にまたは経皮的に動物に投与することができる。また、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、移植片として動物に投与することもできる。このような処方物は、標準獣医学慣習により従来の方法で調製される。代替法として、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、例えば、液体または水溶性濃縮物の形態で給水と共に投与することができ

る。加えて、本発明の化合物、プロドラッグ、異性体および薬学的に許容することのできる塩は、動物の飼料にいて投与することができ、例えば、濃縮した飼料添加物またはプレミックスを、通常それに適した担体と共に、普通の動物の飼料と混合するように調製することができる。担体は、例えば、プレミックスが混合される完成した飼料中での本発明の化合物、プロドラッグ、異性体または薬学的に許容することのできる塩の均質な分散を容易にする。適切な担体としては、それらに限定される訳ではないが、液体、例えば、水、油、例えば甘油、トウモロコシ、綿実、または揮発性有機溶媒、および固形物、例えば、アルファルファ、ダイズ、綿実油、亜麻仁油、トウモロコシの穂軸、トウモロコシ、モラセス、尿素および骨、ならびにミネラルミックスを含む少量の飼料または種々の適切なひき割り粉が挙げられる。

【0233】本発明は、有効成分の多剤併用薬を用いる本明細書で述べた疾患／症状の治療に関係する態様を有する。多剤併用療法治療において、本発明の化合物および他の薬物治療薬は、両方とも、上述のように従来の処方物および方法により哺乳類（例えば、ヒト、雄性または雌性）に投与する。当業者により認められるように、多剤併用療法治療における患者に投与される本発明の化合物および他の薬物治療薬の治療上効果的な量は、それらに制限される訳ではないが、所望される生物学的活性、患者の症状および薬物の許容度を含む多数の因子に依存する。

【0234】多剤併用療法治療における有効成分を別々に投与することから、本発明は、また、キット形態の合わせた別々の医薬組成物にも関係する。本キットは、2種の別々の医薬組成物：一般式1の化合物、又はそのプロドラッグ、又はその幾何もしくは光学異性体、又はこのような化合物、プロドラッグ、もしくは異性体の薬学的に許容することのできる塩、および上述のような第二の化合物を含む。本キットは、分かれた瓶または分かれた箱パッケージのような別々の組成物を入れるための容器を含む。代表的には、本キットは、別々の成分の投与のための指示書を含む。本キット形態は、別々の成分が、異なる剤形（例えば、経口および非経口）で好ましく投与されるか、異なる用量間隔で投与される場合、または本多剤併用薬の個々の成分のタイターが、処方する医師により所望される場合、特に有利である。

【0235】このようなキットの一例は、いわゆるプリスタバックである。プリスタバックは、包装産業で周知であり、医薬単位剤形（錠剤およびカプセル剤等）の包装に広く用いられている。プリスタバックは、通常、好ましくは透明なプラスチック材料の箱で覆われた比較的固い材料のシートから成る。包装処理中、プラスチック箱に窪みが形成される。窪みは、包装しようとする錠剤またはカプセル剤の大きさや形状を有する。次に、錠

剤またはカプセル剤を窪みに置き、比較的固い材料のシートを、窪みが形成された方向の反対側にある箱面でプラスチック箱に対して密封する。結果として、錠剤またはカプセル剤が、プラスチック箱とシートの間の窪みに密封される。好ましくは、シートの強度は、窪みに掛けられた手先の圧力によりシートの窪みの場所に開口が形成されることによりプリスタバックから錠剤またはカプセル剤を取り出すことができるほどのものである。錠剤またはカプセル剤は、次いで、この開口を通じて取り出すことができる。

【0236】例えば、そのように指定された錠剤またはカプセル剤を取るべき養生計画の日と数が一致する錠剤またはカプセル剤の隣の数の形態で、キット上に記憶の手助けとなるものを提供することが望ましいかもしれない。このような記憶の手助けになるものの別の例は、例えば、次のように「第1週、月曜日、火曜日、…等…第2週、月曜日、火曜日、…」等のカード上に印刷されたカレンダーである。記憶の手助けとなるものの他の変形例は、容易に明白である。「毎日の用量」は、所定の日取るべき一つの錠剤もしくはカプセル剤または数錠の錠剤もしくはカプセル剤であってもよい。また、一般式1の化合物、又はそのプロドラッグ、又はその異性体、又はこのような化合物、プロドラッグもしくは異性体の薬学的に許容することのできる塩の毎日の用量は、1個の錠剤またはカプセル剤から成り、一方、第二の化合物の毎日の用量は、数錠の錠剤またはカプセル剤から成ってもよく、そして、その逆でも良い。記憶の手助けとなるものは、これを反映したほうがよい。

【0237】本発明の別の特定の態様において、意図された使用順に一度に一つ毎日の用量を調節するように設計された調節器が提供される。好ましくは、本調節器は、養生計画の服薬遵守が更に容易になるように記憶の手助けとなるものを装備している。このような記憶の手助けとなるものの一例は、調査されている毎日の用量の数を示す機械的増计数器である。このような記憶の手助けとなるものの別の例は、例えば、最後に毎日の用量をとった日を読み出す、および／または次の用量をいつとることになっているか思い出させる、液晶読み出し又は聞こえる思い出させるシグナルと結び付けた電池を動力とするマイクロチップメモリーである。

【0238】一般式1の化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、またはこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩の有用性は、下記に述べる1つ以上の測定法における活性により示される。

【0239】測定1

#### 酸素消費量

当業者等には承知されていることではあるが、増大したエネルギー消費の間、動物は、通常、より多くの酸素を消費する。更に、例えば、グルコースおよび脂肪酸のよ

うな代謝燃料が、普通、当業界で熱産生性と呼ばれる熱の同時発生と共に $\text{CO}_2$ および $\text{H}_2\text{O}$ に酸化される。従って、ヒトおよびコンパニオン動物を含む動物の酸素消費量の測定は、熱産生性の間接的測定である。間接的熱量測定法は、このようなエネルギー消費量を測定するために当業者等によって、動物、例えばヒトに普通に用いられる。

【0240】熱の産生に帰する増大したエネルギー消費および代謝燃料の付随する燃焼が、例えば、肥満の治療に関して有効であり得ることは、当業者等の理解するところである。当業者等には周知のように、甲状腺ホルモンは、例えば、熱速度の増加、よって、熱産生を伴う酸素消費量の増加を引き起こすことにより心臓の機能に影響する。

【0241】熱産生応答を生じさせる本発明の化合物、異性体、プロドラッグ、および薬学的に許容することのできるその塩の能力は、以下のプロトコールによって示すことができる。

#### 【0242】A. 実験の概要

このインビボのスクリーニングは、組織選択的甲状腺ホルモンアゴニストである化合物の効力および心臓への影響を評価するように設計されている。測定する効力の最終目的は、体全体の酸素消費量および肝臓のミトコンドリアのアルファグリセロホスフェートデヒドロゲナーゼ('mGPDH')の活性である。測定する心臓の最終目的は、心臓の重量および心臓のmGPDH活性である。プロトコールは、(a) 6日間脂肪過多の Zucker ラットに服用させ、(b) 酸素消費量を測定し、そして(c) ミトコンドリアの調製のため組織を回収し、次にそれにより酵素の活性を測定することを含む。

#### 【0243】B. ラットの準備

約400gから約500gの範囲の体重を有する雄性的脂肪過多の Zucker ラットを、研究開始前に標準研究室条件下で個々のケージで約3から約7日間飼育する。

【0244】一般式Iの化合物、異性体、プロドラッグまたは薬学的に許容することのできるその塩、および賦形剤、または $\text{T}_3$  ナトリウム塩を、約6日間午後約3時から午後約6時の間に1日1回量として与える経口強制法により投与する。一般式Iの化合物、異性体、プロドラッグまたは薬学的に許容することのできるその塩、または $\text{T}_3$  ナトリウム塩を、適切に約1Nの少量の $\text{NaOH}$ に溶解し、次に、約0.25%のメチルセルロースを含有する約0.01Nの $\text{NaOH}$ で適切な容量にする(10:1、0.01Nの $\text{NaOH}$ /MC:1Nの $\text{NaOH}$ )。服用する容量は、約1mlである。

#### 【0245】C. 酸素消費量

最後の量の化合物を服用した約1日後、酸素消費量を、開回路の間接熱量計(オキシマックス(OxyMax)、コロムバインストリュメンツ、コロムバス、OH4320

4)を用いて測定する。各実験前にオキシマックスガスセンサーを、 $\text{N}_2$ ガスおよびガスの混合物(約0.5%の $\text{CO}_2$ 、約20.5%の $\text{O}_2$ 、約79%の $\text{N}_2$ )で検定する。

【0246】問題のラットを、飼育しているケージから取り出し、体重を記録する。ラットをオキシマックスの密閉したチャンバー(43x43x10cm)に入れ、チャンバーを活性モニターに入れ、チャンバーに通じる空気の流速を、次いで、約1.6L/分から約1.7L/分にセットする。

【0247】オキシマックスソフトウェアは、次いで、チャンバーに通じる空気の流速ならびに入口および出口における酸素含有量の差異に基づいてラットによる酸素消費量( $\text{mL/kg/h}$ )を算定する。活性モニターは、各中心軸から約1インチ離して間隔をとった15個の赤外ライトビームを有し、2つの連続する光線が中断した時に動き回る活性を記録し、結果をカウントとして記録する。

【0248】酸素消費量および動き回る活性を、約10分毎に約5から約6.5時間測定する。安静時酸素消費量は、初めの5個の値および、動き回る活性が約100カウントを超える間に得られた値を除外した値を平均することにより個々のラットについて算定する。

#### 【0249】測定2

##### 甲状腺ホルモン受容体への結合

甲状腺ホルモン受容体に結合する一般式Iの化合物、その異性体、この化合物もしくは異性体のプロドラッグ、またはこの化合物、異性体もしくはプロドラッグの薬学的に許容することのできる塩('甲状腺ホルモン模倣試験化合物')の能力は、以下のプロトコールで示すことができる。

#### 【0250】A. 昆虫細胞核抽出物の調製

ヒトTR $\alpha$ またはTR $\beta$ のいずれか(リールのバスター研究所、フランス)を発現するバキュロウィルス(ギブコ(Gibco)BRL(登録商標)、ガイザースバーグ(Gaithersburg)、メリーランド)での感染の約48時間後に得られるハイファイブ(High Five)細胞ペレット(BTI-TN-5B1-4、カタログ番号B855-02、インビトロゲン(Invitrogen)(登録商標)、カールスバッド(Carlsbad)、カリフォルニア)を、氷冷サンプリングバッファー(10mMトリス、pH8.0;1mMの $\text{MgCl}_2$ ;1mMのDTT;0.05%ツイーン20;1mMの4-(2-アミノエチル)-ベンゼンホルニルフルオリド;25 $\mu\text{g/mL}$ のロイペプチン)に懸濁する。氷上で約10分インキュベーション後、懸濁液を、ダウンス(Dounce)ホモゲナイザー(VWR(登録商標)サイエンティフィックプロダクツ(Scientific Products)、ウェストチェスター(West Chester)、ペンシルバニア)で20ストローク均質化し、4℃で約15分間800xgで遠心分離する。ペレット



(核)を、高張バッファー(0.4MのKCl; 10mMトリス、pH8.0; 1mMのMgCl<sub>2</sub>; 1mMのDTT; 0.05%ツィン20)に懸濁し、氷上で約30分間インキュベートする。懸濁液を4℃で約30分間100,000×gで遠心分離する。上澄(核抽出液)を、-80℃で0.5mLずつ貯蔵する。

#### 【0251】B. 結合測定

甲状腺ホルモン模倣試験化合物と甲状腺ホルモン受容体 $\alpha$ 1および $\beta$ 1(TR $\alpha$ およびTR $\beta$ )の相互作用を測定するための競合結合測定を、以下のプロトコールにより行う。

【0252】甲状腺ホルモン模倣試験化合物の溶液(20mMの最終化合物濃度)を、溶媒として100%DMSOを用いて調製する。各化合物を、0.4nM<sup>125</sup>I-T<sub>3</sub>(商業的に入手可能)(約220Ci/ミリモルの比活性)を含有する測定用バッファー(5mMトリス-HCl、pH8.0; 50mMのNaCl; 2mMのEDTA; 10%(v/v)グリセロール; 1MのDTT、測定用バッファー)に連続して希釈して約10 $\mu$ Mから約0.1nMの化合物濃度で変えている溶液を得る。

【0253】TR $\alpha$ またはTR $\beta$ のいずれかを含有するハイファイブ昆虫細胞核抽出物を、希釈液として測定用バッファーを用いて0.0075mg/mLの総蛋白質濃度に希釈する。

【0254】1容量(100 $\mu$ L)の各甲状腺ホルモン模倣化合物希釈物(0.4nM<sup>125</sup>I-T<sub>3</sub>を含有)を、等しい容量(100 $\mu$ L)のTR $\alpha$ 1またはTR $\beta$ 1含有希釈核抽出物と混合し、約90分間室温でインキュベートする。結合反応の150 $\mu$ Lの試料を取り出し、氷冷測定用バッファーで予め洗浄しておいた96ウェルのフィルタープレート(ミリポア(Millipore)(登録商標)、ベッドフォード(Bedford)、マサチューセッツ)に入れる。プレートを、伊過マニホールド(ミリポア(登録商標))を用いる真空伊過に供する。各ウェルを、200 $\mu$ Lの氷冷測定用バッファーの添加および次に真空伊過により5回洗浄する。プレートを、真空伊過マニホールドから取り出し、プレートの底を、ペーパータオル上で短時間乾燥し、次いで、25 $\mu$ Lのワラク(Wallac)(登録商標)(EG&Gワラク(登録商標)、ガイザースバーグ、メリーランド)オプチフェーズスーパーミックス(Optiphase Supermix)シンチレーションカクテルを、各ウェルに加え、プレートの上層を、プラスチックの密封テープ(マイクロプレートプレスオンアドヘシブシーリングフィルム(Microplate Press-on Adhesive Sealing Film)、バックカード(Packard)(登録商標)インストリュメントCo., Inc., ダウナーズグロブ(Downers Grove)、イリノイ)で覆い、放射能を、ワラク(登録商標)マイクロベータ(Microbeta)96ウェルプレートシンチレーションカウンターを用いて定量

する。

【0255】本発明の以下の化合物が好ましい: 8-[5-[2,6-ジクロロ-4-(4,5-ジヒドロ-3,5-ジオキソ-1,2,4-トリアジン-2(3H)-イル)フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]スルホニル]-スピロ[8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'-(3'H)-ジヒドロフラン]; 2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(3,3-ジメチル-ビペリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; 2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニル-ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; N-シクロヘキシル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド; N-ビシクロ[2.2.1]ヘプタ-2-イル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド; 2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(3,3-ジメチル-ビペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; 2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニル-ビペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; 5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(6,6-ジメチル-ビシクロ[3.1.1]ヘプタ-2-イル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド; 2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(3,5-ジメチル-ビペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; および2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ビペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン。

【0256】本発明の以下の化合物もやはり好ましい: 2-[3-クロロ-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; 2-[3,5-ジクロロ-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン; 2-[3,5-ジメチル-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル)-4-ヒドロキシフェ

ノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3-クロロ-4-(3-シクロペンチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-シクロペンチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3, 5-ジメチル-4-(3-シクロペンチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3-クロロ-4-(3-シクロヘキシルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-シクロヘキシルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン; 2-[3, 5-ジメチル-4-(3-シクロヘキシルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン。

#### 【0257】

【一般的実施例手順】以下の調製例および実施例は、単に具体的説明のみを目的として提供するものであり、特許請求の範囲により明確にされる本発明を制限するものではない。

#### 【実施例】

##### 【0258】調製例1

4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルニトロベンゼン  
クロホルム(150ml)中の3, 5-ジメチル-4-(4'-メトキシフェノキシ)ニトロベンゼン(4.0g)(J. Med. Chem. 1995, 38, 703)の溶液に、N-ブロモスクシンイミド(2.6g)およびトリフルオロ酢酸(1.1ml)を加え、その結果できた混合物を、90分間還流加熱した。更にN-ブロモスクシンイミド(2.6g)およびトリフルオロ酢酸(1.1ml)を加え、続いて更に18時間加熱した。反応物を、重炭酸ナトリウムで洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、濃縮して標記化合物をオレンジ色の固形物(5.0g)として得た。質量スペクトル理論値: 351; 測定値: 352 (M+1)。

##### 【0259】調製例2

4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニルアミン  
酢酸エチル(100ml)中の調製例1の化合物(5.0g)および炭素担持10%パラジウム(0.6g)の混合物を、50psi(約3.4気圧)で3時間水素化した。反応物を、セライト(登録商標)を介して濾過し、濃縮して標記化合物を黄色固形物(4.3g)とし

て得た。質量スペクトル理論値: 321; 測定値: 322 (M+1)。

##### 【0260】調製例3

(([4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-ヒドラゾノ)-シアノアセチル)-カルバミン酸エチルエステル  
0℃で6Nの塩酸(45ml)中の調製例2の4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニルアミン(2.0g)の懸濁液に、水(1.25ml)中の亜硝酸ナトリウム(560mg)の溶液を滴下した。0℃で30分間攪拌後、この溶液を、室温で水(150ml)中のエチルシアノアセチルウレタン(2.4g)およびピリジン(12ml)の混合物に小分けして加えた。その結果できた固形物を集め、水で洗浄し、乾燥して標記化合物をオレンジ色の固形物(1.5g)として得、直接用いた。

##### 【0261】実施例1

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボニトリル  
調製例3の([4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-ヒドラゾノ)-シアノアセチル)-カルバミン酸エチルエステル(1.0g)、酢酸カリウム(200mg)および酢酸(11ml)の溶液を、5時間120℃に加熱した。反応物を濃縮し、水を加え、その結果できた固形物を集め、乾燥して標記化合物を黄色固形物(895mg)として得た。理論値: 442.0; 測定値: 441.0 (M-1)。

##### 【0262】実施例2

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸  
実施例1の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボニトリル(700mg)、塩酸(5ml)および酢酸(5ml)の溶液を3時間120℃に加熱した。その結果できた固形物を濾過し、すすぎ、乾燥して標記化合物を褐色固形物(593mg)として得た。質量スペクトル理論値: 461.0; 測定値459.7 (M-1)。

##### 【0263】実施例3

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
実施例2の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-

ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(0.3g)およびチオ酢酸(0.6ml)の混合物を、4時間170℃で加熱した。混合物を、酢酸エチルで希釈し、飽和重炭酸ナトリウムで洗浄し、硫酸ナトリウムで乾燥して粗製褐色油状物質(0.6g)を得た。酢酸エチルおよびヘキサン類で溶出するシリカゲルによるクロマトグラフィーにより、標記化合物(160mg)を黄色泡状物質として得た。質量スペクトル理論値: 417.0; 測定値: 416.1 (M-1)。

#### 【0264】実施例4

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
実施例3の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(25mg)から下記の実施例9で述べるものと同様の方法で調製して標記生成物(12mg)を得た。質量スペクトル理論値: 403.0; 測定値: 401.9 (M-1)。

#### 【0265】実施例5

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸  
塩化メチレン(40ml)中の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(800mg)の溶液(40ml)に、三臭化硼素(1.0M溶液を5.2ml)を加えた。18時間攪拌後、反応混合物を氷上に注ぎ、室温で3時間攪拌した。反応物を、1Nの水酸化カリウムで3回抽出し、水層を合わせ、塩酸でpH2に酸性にし、酢酸エチルで3回抽出した。有機相を合わせ、食塩水で洗浄し、乾燥し、濃縮してふわふわした黄色固形物(408mg)の標記化合物を得た。質量スペクトル理論値: 447; 測定値: 446 (M-1)。

#### 【0266】実施例6

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
実施例3の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(40mg)から下記の実施例10の工程Aで述べるものと同様の方法で調製して標記生成物(36mg)を得た。質量スペクトル理論値: 547; 測定値: 546 (M-1)。

#### 【0267】実施例7

2-[4-(6-メトキシビフェニル-3-イルオキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
脱気したDMF(1.1ml)中の実施例6の2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(36mg)の溶液に、テトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)(7.5mg)、フェニルボロン酸(24mg)および2Mの水性炭酸ナトリウム(0.13ml)を連続して加えた。その結果できた混合物を、窒素下80℃で45時間加熱し、次いで、更なるテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)(7.5mg)、フェニルボロン酸(24mg)および2Mの水性炭酸ナトリウム(0.13ml)を加え、続いて更に18時間加熱した。反応物を水(4ml)で希釈し、酢酸エチル、次いでクロロホルムで抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、乾燥し、濃縮して粗生成物(43mg)を得た。シリカゲルクロマトグラフィーを用いる精製により標記化合物(30mg)を得た。質量スペクトル理論値: 546; 測定値: 545 (M-1)。

#### 【0268】実施例8

2-[4-(6-ヒドロキシビフェニル-3-イルオキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
実施例7の2-[4-(6-メトキシビフェニル-3-イルオキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(30mg)から下記の実施例10の工程Dで述べるものと同様の方法で調製して標記生成物(3.4mg)を得た。質量スペクトル理論値: 401; 測定値: 402 (M+1)。

#### 【0269】実施例9

N-[5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アセトアミド

#### 工程A

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
酢酸(65mL)中の硝酸(20mL)の冷却(0℃)攪拌溶液に、2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(5.0g)を加え、その結果できた混合物を、室温で1.5時間攪拌した。

その結果できた溶液を、400 mLの水に注ぎ入れ、その結果できた固形物を濾過し、乾燥して工程Aの標記化合物を黄色固形物5.1 gとして得た。質量スペクトル理論値：425.2；測定値：422.9。

#### 【0270】工程B

2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-4-[(2-(トリメチルシリル)エトキシメチル)]-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
DMF(50 mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(5.2 g)の冷却(0℃)溶液に、水酸化ナトリウム(580 mg、油中に60%)を加え、その結果できた混合物を室温で30分間攪拌した。塩化2-(トリメチルシリル)エトキシメチル(2.6 mL)を滴下し、その結果できた溶液を室温で3時間攪拌した。反応物を、1:1の水:飽和塩化アンモニウムに入れて反応停止し、酢酸エチルで抽出した(2x)。合わせた有機層を、食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(20%アセトン/ヘキサン類)により精製して工程Bの標記化合物を黄色固形物5.3 gとして得た。

#### 【0271】工程C

2-[3,5-ジクロロ-4-(3-アミノ-4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-4-[(2-(トリメチルシリル)エトキシメチル)]-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
酢酸エチル(100 mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-4-[(2-(トリメチルシリル)エトキシメチル)]-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(5.3 g)の溶液を、6時間炭素担持10%パラジウム(1.6 g)上で水素化した(約3.4気圧である50 psiの $\text{H}_2$ )。セライト(登録商標)を介した濾過および真空での濃縮により工程Cの標記化合物を黄色泡状物質4.9 gとして得た。

#### 【0272】工程D

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシフェニル]-アセトアミド  
ジクロロメタン(0.4 mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-(3-アミノ-4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-4-[(2-(トリメチルシリル)エトキシメチル)]-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(200 mg)の溶液に、トリエチルアミン(80  $\mu\text{L}$ )および塩化アセチル(30  $\mu\text{L}$ )を加えた。20時間後、反応物を水に注ぎ入れ、酢酸エチル

で抽出し、有機相を食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(30%アセトン/ヘキサン類)にかけて工程Dの標記化合物をオフホワイトの泡状物質218 mgとして得た。

#### 【0273】工程E

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アセトアミド  
ジクロロメタン(4 mL)中のN-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-4-[(2-(トリメチルシリル)エトキシメチル)-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシフェニル]-アセトアミド(215 mg)の冷却(0℃)攪拌溶液に、三臭化硼素(18  $\mu\text{L}$ )を加え、その結果できた溶液を室温で20時間攪拌した。反応混合物を氷上に注ぎ、0.5時間攪拌し、酢酸エチルで抽出した。有機相を乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(30-50%アセトン/ヘキサン類)にかけてこの実施例の標記化合物を無色の泡状物質101 mgとして得た。融点=101-109℃。質量スペクトル理論値：423.2；測定値：423.0。

【0274】適切な出発物質を用い、実施例9-1から9-11を実施例9で述べたものと同様の方法で調製した。

#### 【0275】実施例9-1

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値：485.3；測定値：485.0。

#### 【0276】実施例9-2

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-イソブチルアミド  
質量スペクトル理論値：451.3；測定値：451.0。

#### 【0277】実施例9-3

シクロヘキサンカルボン酸[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アミド  
質量スペクトル理論値：491.3；測定値：491.0。

#### 【0278】実施例9-4

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキ

ゾー4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-ニコチンアミド

質量スペクトル理論値: 486. 3; 測定値: 486. 0.

【0279】実施例9-5

5-メチル-イソオキサゾール-3-カルボン酸(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-メチル-アミド

質量スペクトル理論値: 463. 3; 測定値: 462. 2 (M-1).

【0280】実施例9-6

5-メチル-イソオキサゾール-3-カルボン酸(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-アミド

質量スペクトル理論値: 449. 4; 測定値: 448. 2 (M-1).

【0281】実施例9-7

N-(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-トリフルオロメトキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 528. 5; 測定値: 527. 1 (M-1).

【0282】実施例9-8

N-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-トリフルオロメトキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 569. 3; 測定値: 567. 1 (M-1).

【0283】実施例9-9

N-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-フルオロベンズアミド

質量スペクトル理論値: 503. 3; 測定値: 501. 1 (M-1).

【0284】実施例9-10

N-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-トリフルオロメチルベンズアミド

質量スペクトル理論値: 553. 3; 測定値: 551. 1 (M-1).

【0285】実施例9-11

5-メチル-イソオキサゾール-3-カルボン酸(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-アミド

質量スペクトル理論値: 490. 3; 測定値: 488. 2 (M-1).

【0286】実施例10

1-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-3-(4-トリフルオロメトキシフェニル)-尿素

工程A

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

0℃で12mLのDMF中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(1. 32g, 3. 1ミリモル)の溶液に、水素化ナトリウム(鉱油中の60%分散液, 0. 15g, 3. 7ミリモル)を加えた。0℃で5分間攪拌後、混合物を、透明な赤茶色の溶液として30分間室温で攪拌した。溶液に室温でSEMCI(0. 63g, 3. 74ミリモル)を加えた。室温で20時間攪拌後、溶液を、H<sub>2</sub>O(30mL)で希釈し、EtOAcで抽出した(2x50mL)。合わせたEtOAc抽出液を、1NのHCl(100mL)、H<sub>2</sub>O(3x50mL)、食塩水(100mL)で洗浄し、乾燥し、濃縮した。残分を、CH<sub>2</sub>Cl<sub>2</sub>に溶解し、続いてエーテルを加えて工程Aの標記化合物(0. 83g)を薄茶色の結晶として得た。NMR(400MHz, CD<sub>3</sub>OD) δ 0. 02 (m, 9H), 1. 01 (m, 2H), 3. 75 (m, 2H), 5. 45 (s, 2H).

【0287】工程B

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-アミノフェノキシ)-フェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

EtOH/EtOAc(75mL/50mL)の混合液中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-4-(2-トリメチルシリルエトキシメチル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(0. 83g, 1. 6ミリモル)の溶液に、10%Pd/C(0. 25g)を加えた。混合物を、室温で40psi(約2. 7気圧)の水素圧下、20時間水素化し、セライト(登録商標)を介して濾過した。濾液を濃縮して工程Bの標記

化合物 (0.73 g) を褐色固形物として得、精製することなく次の工程に用いた。質量スペクトル理論値: 525.5; 測定値: 524.1 (M-1)。

#### 【0288】工程C

1- (5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4- (2-トリメチルシリル-エトキシ-メチル) 4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -フェノキシ] -2-メトキシ-フェニル) -3- (4-トリフルオロ-メトキシ-フェニル) -尿素

3 mL の  $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  中の 2- [3, 5-ジクロロ-4- (4-メトキシ-3-アミノ-フェノキシ) -フェニル] -4- (2-トリメチルシリル-エトキシ-メチル) -2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン (100 mg, 0.19 ミリモル) の溶液に、ジソプロピルエチルアミン (29.5 mg, 0.23 ミリモル) およびイソシアン酸 4-トリフルオロ-メトキシ-フェニル (60 mg, 0.29 ミリモル) を加えた。その結果できた混合物を室温で 20 時間攪拌し、 $\text{H}_2\text{O}$  (5 mL) で反応停止し、 $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  で抽出した (3 x 10 mL)。合わせた抽出液を飽和  $\text{NaHCO}_3$ 、1 N の  $\text{HCl}$ 、水で洗浄し、乾燥し、濃縮した。残分を、調製用 TLC (ヘキサン類中の 40% EtOAc) により精製して工程 C の標記化合物をオフホワイトの固形物として得た。質量スペクトル理論値: 728.6; 測定値: 729.7 (M+1)。

#### 【0289】工程D

1- (5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -3- (4-トリフルオロ-メトキシ-フェニル) -尿素  
 $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  中の 1- (5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4- (2-トリメチルシリル-エトキシ-メチル) 4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -フェノキシ] -2-メトキシ-フェニル) -3- (4-トリフルオロ-メトキシ-フェニル) -尿素 (72 mg, 0.1 ミリモル) の溶液に、 $\text{BBT}_3$  ( $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  中の 1 M, 4.0 mL, 0.4 ミリモル) を滴下した。混合物を室温で 18 時間攪拌し、水 (10 mL) で反応停止した。室温で 1 時間攪拌後、反応停止した混合物を  $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  で抽出した (3 x 10 mL)。合わせた  $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  抽出液を乾燥し、濃縮した。残分を、調製用 TLC ( $\text{CH}_2\text{Cl}_2$  中の 10% MeOH) により精製してこの実施例の標記化合物 (25.4 mg) を得た。質量スペクトル理論値: 584.3; 測定値: 581.8 (M-1)。

【0290】適切な出発物質を用い、実施例 10-1 から 10-4 を実施例 10 で述べたものと同様の方法で調製した。

#### 【0291】実施例 10-1

1- (2, 4-ジフルオロ-フェニル) -3- (5- [4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -2, 6-ジメチル-フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -尿素

質量スペクトル理論値: 495.5; 測定値: 494.2 (M-1)。

#### 【0292】実施例 10-2

1- (3, 4-ジクロロ-フェニル) -3- (5- [4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -2, 6-ジメチル-フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -尿素

質量スペクトル理論値: 528.4; 測定値: 528.1 (M-1)。

#### 【0293】実施例 10-3

1- (5- [4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -2, 6-ジメチル-フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -3- (4-トリフルオロ-メトキシ-フェニル) -尿素

質量スペクトル理論値: 543.1; 測定値: 542.2 (M-1)。

#### 【0294】実施例 10-4

1- (5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -3- (3, 4-ジクロロ-フェニル) -尿素  
質量スペクトル理論値: 569.1; 測定値: 567.8 (M-1)。

#### 【0295】実施例 11

2- [4- (4-ヒドロキシ-3-イソプロピル-フェノキシ) -3, 5-ジメチル-フェニル] -2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン  
2- [3, 5-ジクロロ-4- (4-ヒドロキシ-フェノキシ) -フェニル] -2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオンのために述べた手法により、この実施例の標記化合物を調製した。質量スペクトル理論値: 367.4; 測定値: 366.0 (M-1)。

#### 【0296】実施例 12

N- (5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル) -フェノキシ] -2-ヒドロキシ-フェニル) -4-フルオロ-ベンゼンスルホンアミド

#### 工程A

2- [3, 5-ジクロロ-4- (3-アミノ-4-メトキシ-フェノキシ) -フェニル] -2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン  
エタノール (40 mL) および酢酸エチル (4 mL) 中

の2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-ニトロフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(1.1g)の溶液を、炭素担持10%パラジウム(300mg)上で4時間水素化した(約3.1気圧である45psi)。反応物をろ過し、真空中で濃縮して工程Aの標記化合物を薄黒い泡状物質1.0gとして得た。

#### 【0297】工程B

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシフェニル]-4-フルオロベンゼンスルホンアミド  
ピリジン(1mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-(3-アミノ-4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(100mg)の攪拌溶液に、塩化4-フルオロベンゼンスルホン(59mg)を加え、その結果できた溶液を、室温で1時間攪拌した。反応溶液を、水の上に注ぎ、酢酸エチルで抽出し、有機層を1Nの塩酸、水、食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空中で濃縮し、シリカゲル上でフラッシュクロマトグラフィー(40%アセトン/ヘキサン類)にかけて工程Bの標記化合物を淡黄色固形物115mgとして得た。融点90-96℃。質量スペクトル理論値:553.4;測定値:550.9。

#### 【0298】工程C

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-4-フルオロベンゼンスルホンアミド  
ジクロロメタン(5mL)中のN-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシフェニル]-4-フルオロベンゼンスルホンアミド(96mg)の冷却(0℃)攪拌溶液に、三臭化硼素( $64\mu\text{L}$ )を加え、その結果できた溶液を、室温で4時間攪拌した。反応混合液を、氷上に注ぎ、0.5時間攪拌し、酢酸エチルで抽出した。有機相を乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空中で濃縮し、シリカゲル上でフラッシュクロマトグラフィー(40%アセトン/ヘキサン類)にかけてこの実施例の標記化合物を無色泡状物質68mgとして得た。融点222-225℃(分解)。質量スペクトル理論値:539.2;測定値:536.8。

【0299】適切な出発物質を用い、実施例12-1から12-30を、実施例12で述べたものと同様の方法で調製した。

#### 【0300】実施例12-1

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジ

ン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシフェニル]-C-フェニル-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:549.4;測定値:546.9。

#### 【0301】実施例12-2

N-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-C-フェニル-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:535.4;測定値:533.0。

#### 【0302】実施例12-3

N-[4-[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]スルファモイル]-フェニル]-アセトアミド

質量スペクトル理論値:578.4;測定値:575.9。

#### 【0303】実施例12-4

ベンゾ[1,2,5]オキサジアゾール-4-スルホン酸[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アミド

質量スペクトル理論値:563.4;測定値:560.9。

#### 【0304】実施例12-5

1-メチル-1H-イミダゾール-4-スルホン酸[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アミド

質量スペクトル理論値:525.3;測定値:522.9。

#### 【0305】実施例12-6

5-クロロ-1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-4-スルホン酸[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アミド

質量スペクトル理論値:573.8;測定値:570.9。

#### 【0306】実施例12-7

3,5-ジメチル-イソキサゾール-4-スルホン酸[5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル]-アミド

質量スペクトル理論値:540.3;測定値:538.

0.

## 【0307】実施例12-8

2,4-ジメチル-チアゾール-5-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 556.4; 測定値: 553.

9.

## 【0308】実施例12-9

5-イソオキサゾール-3-イル-チオフェン-2-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 608.4; 測定値: 605.

9.

## 【0309】実施例12-10

5-(1-メチル-5-トリフルオロメチル-1H-ピラゾール-3-イル)-チオフェン-2-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 689.4; 測定値: 687.

0.

## 【0310】実施例12-11

5-ベンゼンスルホニル-チオフェン-2-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 667.5; 測定値: 664.

9.

## 【0311】実施例12-12

5-(1-メチル-5-トリフルオロメチル-1H-ピラゾール-3-イル)-チオフェン-2-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 675.4; 測定値: 672.

9.

## 【0312】実施例12-13

5-イソオキサゾール-3-イル-チオフェン-2-スルホン酸 {5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-アミド

質量スペクトル理論値: 594.4; 測定値: 591.

9.

## 【0313】実施例12-14

N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 500.9; 測定値: 499.

1 (M-1).

## 【0314】実施例12-15

N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-4-フルオロ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 518.9; 測定値: 517.

1.

## 【0315】実施例12-16

4-クロロ-N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 535.4; 測定値: 533.

0.

## 【0316】実施例12-17

N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-3-トリフルオロメチル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 568.9; 測定値: 567.

0.

## 【0317】実施例12-18

N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-4-シアノ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 525.9; 測定値: 524.

1.

## 【0318】実施例12-19

N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-C-フェニル-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 515.0; 測定値: 513.

1.

## 【0319】実施例12-20

2-クロロ-N-{5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-フェニル}-ベンゼンスルホンアミド



質量スペクトル理論値：535.4；測定値：533.0.

【0320】実施例12-21

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-トリフルオロメチルベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：568.9；測定値：567.1.

【0321】実施例12-22

N-(5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-4-フルオロベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：628.2；測定値：626.9 (M-1).

【0322】実施例12-23

N-(5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：610.2；測定値：608.8.

【0323】実施例12-24

N-(5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-フェニルメタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：624.3；測定値：622.9 (M-1).

【0324】実施例12-25

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-(4-フルオロフェニル)-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：532.9；測定値：531.1.

【0325】実施例12-26

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-p-トリルメタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：529.0；測定値：527.1.

【0326】実施例12-27

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-

2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-(3-トリフルオロメチルフェニル)-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：583.0；測定値：581.1.

【0327】実施例12-28

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-o-トリルメタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：529.0；測定値：527.1.

【0328】実施例12-29

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-(2,3,4,5,6-ペンタフルオロフェニル)-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：604.9；測定値：603.0.

【0329】実施例12-30

N-(5-[2-クロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-6-メチルフェノキシ]-2-ヒドロキシフェニル)-C-インダン-5-イルメタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値：555.0；測定値：553.2.

【0330】実施例13

2-[3-クロロ-4-[3-(ベンゼンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

工程A

2-[3-クロロ-4-[3-(ベンゼンスルホニル)-4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

イートンの試薬(5mL)中の2-[3-クロロ-4-[4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(1.0g)およびベンゼンスルホン酸(0.9g)の混合物を、80℃で8時間加熱した。反応液を、氷上に注ぎ、30分間攪拌し、固形物を濾過し、乾燥し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(30-100%THF/ヘキサン類)にかけて工程Aの標記化合物0.66gを得た。

【0331】工程B

2-[3-クロロ-4-[3-(ベンゼンスルホニル)

4-ヒドロキシフェノキシ}-5-メチルフェニル}-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン(12mL)中の2-(3-クロロ-4-[3-(ベンゼンスルホニル)-4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(0.66g)の攪拌溶液に、三塩化硼素(8mL、ジクロロメタン中の1M)を加え、その結果できた溶液を4時間攪拌した。反応溶液を氷上に注ぎ、1時間攪拌し、相を分離し、水層をジクロロメタンで洗浄した。合わせた有機層を乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、濃縮してこの実施例の標記化合物を黄褐色の泡状物質0.52gとして得た。融点78-81℃。

【0332】適切な出発物質を用い、実施例13-1から13-8を、実施例13で述べたものと同様の方法で調製した。

【0333】実施例13-1

2-(3-クロロ-4-[3-(4-クロロベンゼンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 520.4; 測定値: 518.1.

【0334】実施例13-2

2-(3-クロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(インダン-5-スルホニル)-フェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 526.0; 測定値: 524.2.

【0335】実施例13-3

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-クロロベンゼンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 540.8; 測定値: 539.9.

【0336】実施例13-4

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(インダン-5-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 546.4; 測定値: 544.1.

【0337】実施例13-5

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ナフタレン-2-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 556.4; 測定値: 554.1.

【0338】実施例13-6

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-エチルベンゼンスルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 534.4; 測定値: 532.0.

【0339】実施例13-7

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-オクチルベンゼンスルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 618.5; 測定値: 616.1.

【0340】実施例13-8

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(ヘキサノ-1-スルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 514.4; 測定値: 512.1.

【0341】実施例14

2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンジル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

工程A

2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

イートンの酸(5mL)中の2-(3-クロロ-4-[4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(1.2g)およびp-フルオロ安息香酸(0.8g)の溶液を、60℃で4時間加熱した。その結果できた赤色溶液を0℃に冷却し、水(30mL)を加え、懸濁液を室温で30分間攪拌した。混合液を酢酸エチルで抽出し(2x)、合わせた有機層を飽和水性重炭酸ナトリウムで洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(25-40%THF/ヘキサン類)にかけて工程Aの標記化合物をオフホワイトの泡状物質1.1gとして得た。質量スペクトル理論値: 481.9; 測定値: 481.8.

【0342】工程B

2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチル-

フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン(30mL)中の2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-

[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(1.1g)の攪拌溶液に、ジクロロメタン中の1Mの三塩化硼素の溶液(11mL)を加え、その結果できた懸濁液を4時間室温で攪拌した。反応液に氷を加え、その結果できた混合液を30分間攪拌し、酢酸エチルで抽出し、有機相を乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(30%THF/ヘキサン類)にかけて0.94gの工程Bの標記化合物を得た。質量スペクトル理論値: 467.8; 測定値: 467.8.

【0343】工程C

2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロフェニル)-ヒドロキシメチル]-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

メタノール(10mL)中の2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(0.4g)の冷却(0℃)攪拌溶液に、水素化硼素ナトリウム(32mg)を加えた。30分後、反応溶液を真空で濃縮し、1Nの塩酸および酢酸エチルに分配し、有機相を乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(5%エタノール/ジクロロメタン)にかけて工程Cの標記化合物を無色泡状物質72mgとして得た。質量スペクトル理論値: 469.8; 測定値: 467.9.

【0344】工程D

2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロベンジル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン(25mL)中の2-(3-クロロ-4-[3-(4-フルオロフェニル)-ヒドロキシメチル]-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(0.4g)の攪拌溶液に、メタンスルホン酸(0.7mL)およびトリエチルシラン(1.5mL)を1時間にわたって少しずつ加えた。合計1.5時間後、水を加え、層を分離し、水層をジクロロメタンで抽出した。合わせた有機層を飽和重炭酸ナトリウムで洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上でフラッシュクロマトグラフィー(10-50%THF/ヘキサン類)にかけてこの実施例の標記化合物を無色泡状物質56mgとして得た。質量スペクトル理

論値: 453.9; 測定値: 452.

【0345】適切な出発物質を用い、実施例14-1から14-29を、実施例14で述べたものと同様の方法で調製した。

【0346】実施例14-1

2-(4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-3, 5-ジメチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 461.4; 測定値: 462.2.

【0347】実施例14-2

2-(4-[3-(4-フルオロベンジル)-4-メトキシフェノキシ]-3, 5-ジメチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点57-60℃(分解).

【0348】実施例14-3

2-(4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-3, 5-ジメチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点68-72℃.

【0349】実施例14-4

2-(4-[3-(4-フルオロフェニル)-ヒドロキシメチル]-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点95-110℃(分解).

【0350】実施例14-5

2-(4-[3-(4-フルオロベンジル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-3, 5-ジメチルフェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点72-75℃(分解).

【0351】実施例14-6

2-(4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-3, 5-ジメチルフェニル)-4-メチル-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 475.5; 測定値: 476.2.

【0352】実施例14-7

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 488.3; 測定値: 487.9.

【0353】実施例14-8

4-(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒド

ロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-  
2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-メトキシ-ベン  
ゾイル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 486. 5; 測定値: 486.  
9.

【0354】実施例14-9

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-フルオロ  
-フェニル)-(R, S)-ヒドロキシ-メチル]-4-  
-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-  
[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点85-89℃(分解)。

【0355】実施例14-10

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-フルオロ-  
ベンジル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニ  
ル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジ  
オン

融点85-91℃(分解)。

【0356】実施例14-11

2-(4-[3-(4-ジメチルアミノ-ベンゾイル)  
-4-メトキシ-フェノキシ]-3, 5-ジメチル-フ  
ェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

質量スペクトル理論値: 486. 5; 測定値: 486.  
9.

【0357】実施例14-12

4-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジ  
オキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリア  
ジン-2-イル)-フェノキシ]-2-メトキシ-ベン  
ゾイル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 527. 3; 測定値: 527.  
0.

【0358】実施例14-13

4-(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジ  
ドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-  
2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-  
ベンゾイル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 472. 5; 測定値: 472.  
9.

【0359】実施例14-14

2-(4-[3-(4-ジメチルアミノ-ベンゾイル)  
-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3, 5-ジメチル-  
フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

質量スペクトル理論値: 472. 5; 測定値: 472.  
9.

【0360】実施例14-15

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-ジメチル  
アミノ-ベンゾイル)-4-メトキシ-フェノキシ]-  
フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

融点222-230℃。

【0361】実施例14-16

4-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジ  
オキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリア  
ジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-  
ベンゾイル)-ベンズアミド

融点140-145℃。

【0362】実施例14-17

4-(5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジ  
オキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリア  
ジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-  
フェニル)-ヒドロキシ-メチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 515. 3; 測定値: 515.  
0.

【0363】実施例14-18

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
イソブチル-フェノキシ)-フェニル]-2H-  
[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 436. 3; 測定値: 435.  
9.

【0364】実施例14-19

4-(5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジ  
ドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-  
2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-  
フェニル)-ヒドロキシ-メチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 474. 5; 測定値: 473  
(M-1)。

【0365】実施例14-20

2-(4-[3-(4-ジメチルアミノ-ベンジル)-  
4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3, 5-ジメチル-  
フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

質量スペクトル理論値: 458. 5; 測定値: 459.

【0366】実施例14-21

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-ジメチル  
アミノ-ベンゾイル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-  
フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

質量スペクトル理論値: 513. 3; 測定値: 513.

【0367】実施例14-22

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-  
(1-ヒドロキシ-2-メチル-プロピル)-フェノ  
キシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-  
3, 5-ジオン

融点192-195℃。

【0368】実施例14-23

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(4-ジメチル  
アミノ-フェニル)-ヒドロキシ-メチル]-4-ヒ  
ドロキシ-フェノキシ)-フェニル)-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値：515.4；測定値：515.0.

【0369】実施例14-24

2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(4-ジメチルアミノベンジル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：499.4；測定値：499.0.

【0370】実施例14-25

2-[3,5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-イソブチルフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：422.3；測定値：420.0.

【0371】実施例14-26

(2-[4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-4-イル)-酢酸

融点112-116℃.

【0372】実施例14-27

2-[3,5-ジプロモ-4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：577.2；測定値：575.8.

【0373】実施例14-28

2-[3,5-ジプロモ-4-[3-(4-フルオロフェニル)-ヒドロキシメチル]-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：579.2；測定値：578.0.

【0374】実施例14-29

2-[3,5-ジプロモ-4-[3-(4-フルオロベンジル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：563.2；測定値：562.0.

【0375】実施例15

2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

工程A

2-[3,5-ジクロロ-4-(3-クロロスルホニル-4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-

[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

クロロスルホン酸(1mL)の冷却(0℃)攪拌溶液に、2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(0.6g)を加えた。30分後、その結果できた褐色溶液を氷上に注ぎ、その結果できた混合液を室温で30分間攪拌し、固形物を濾過し、真空中で乾燥して工程Aの標記化合物を無色固形物0.7gとして得た。

【0376】工程B

2-[3,5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-3-(ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

ジメチルホルムアミド(8mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-(3-クロロスルホニル-4-メトキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(0.7g)の攪拌溶液に、ビペリジン(0.4mL)を加えた。1時間後、反応液を、ジエチルエーテル中に希釈し、1Nの塩酸、食塩水で洗浄し、乾燥し(Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>)、真空中で固形物へと濃縮した。ジエチルエーテル/石油エーテルからの再結晶化により工程Bの標記化合物0.5gを得た。質量スペクトル理論値：527.4；測定値：527.0.

【0377】工程C

2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

ジクロロメタン(30mL)中の2-[3,5-ジクロロ-4-[4-メトキシ-3-(ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(0.5g)の冷却(0℃)攪拌溶液に、三臭化砒素(0.3mL)を加え、その結果できた異成分から成る混合物を、室温で6時間攪拌した。水を混合物に加え、その結果できた二相溶液を1時間攪拌した。層を分離し、有機相を、水、食塩水で洗浄し、乾燥し(Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>)、真空中で濃縮して油状物質を得た。シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(35%アセトン/ヘキサン類)により、この実施例の標記化合物を無色固形物0.4gとして得た。質量スペクトル理論値：513.4；測定値：512.9.

【0378】適切な出発物質を用い、実施例15-1から15-87を、実施例15で述べたものと同様の方法で調製した。

【0379】実施例15-1

2-[4-[4-ヒドロキシ-3-(ビペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-3,5-ジメチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジ

オン

質量スペクトル理論値: 472.5; 測定値: 473.1.

【0380】実施例15-2

2-[3-クロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 492.9; 測定値: 490.9 (M-1).

【0381】実施例15-3

5-[4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-2, 6-ジメチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェニル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 480.5; 測定値: 479.0.

【0382】実施例15-4

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェニル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 500.9; 測定値: 498.9.

【0383】実施例15-5

2-[4-[4-ヒドロキシ-3-(ピロリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-3, 5-ジメチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 458.5; 測定値: 458.9.

【0384】実施例15-6

2-[3-クロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ピロリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 478.9; 測定値: 478.9.

【0385】実施例15-7

2-[3-クロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-メチル-ピペラジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 507.9; 測定値: 505.9.

【0386】実施例15-8

2-[3-クロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(モルホリン-4-スルホニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 494.9; 測定値: 494.9.

【0387】実施例15-9

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-ピリミジン-4-イル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 502.9; 測定値: 502.9.

【0388】実施例15-10

2-[3-クロロ-4-[3-(3, 3-ジオキソ-1H-チアゾリジン-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-5-メチル-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点 53-55℃.

【0389】実施例15-11

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-N-シクロヘキシル-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 507.0; 測定値: 506.8.

【0390】実施例15-12

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1-メチル-1H-ベンゾイミダゾール-2-イル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 555.0; 測定値: 555.0.

【0391】実施例15-13

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-メトキシーエチル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 482.9; 測定値: 482.8.

【0392】実施例15-14

2-[3, 5-ジブロモ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

融点 181-183℃.

【0393】実施例15-15

5-[2, 6-ジブロモ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N, N-ジエチル-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 590.2; 測定値: 588.9.

【0394】実施例15-16

2-(3, 5-ジブプロモ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ピロリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 588. 2; 測定値: 588. 8.

【0395】実施例15-17

5-[2-クロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-N-(4-フルオロ-フェニル)-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 518. 9; 測定値: 516. 8.

【0396】実施例15-18

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(1, 3, 3-トリメチル-6-アザ-ビシクロ[3. 2. 1]オクタン-6-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 581. 5; 測定値: 581. 0.

【0397】実施例15-19

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェニル-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 521. 3; 測定値: 519. 0.

【0398】実施例15-20

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-N-フェニル-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 535. 4; 測定値: 533. 0.

【0399】実施例15-21

N-ベンジル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 549. 4; 測定値: 547. 1.

【0400】実施例15-22

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(2, 3-ジヒドロ-インドール-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 547. 4; 測定値: 545.

1.

【0401】実施例15-23

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-インダン-1-イル-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 561. 4; 測定値: 559. 0.

【0402】実施例15-24

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(4-フルオロ-フェニル)-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 539. 3; 測定値: 537. 0.

【0403】実施例15-25

2-(3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(ピロリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 499. 3; 測定値: 499. 0.

【0404】実施例15-26

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-p-トリル-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 535. 4; 測定値: 533. 1.

【0405】実施例15-27

N-シクロヘキシル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-エチル-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 555. 4; 測定値: 553. 2.

【0406】実施例15-28

N-シクロプロピル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 485. 3; 測定値: 483. 1.

【0407】実施例15-29

N-シクロブチル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 499. 3; 測定値: 497. 1.

## 【0408】実施例15-30

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-フラン-2-イルメチル-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 525. 3; 測定値: 523. 0.

## 【0409】実施例15-31

N-(2-クロロベンジル)-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 569. 8; 測定値: 567. 0.

## 【0410】実施例15-32

N-シクロヘキシル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチルベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 541. 4; 測定値: 539. 1.

## 【0411】実施例15-33

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1-メチル-2-フェノキシエチル)-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 579. 4; 測定値: 577. 1.

## 【0412】実施例15-34

2-{3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3, 3, 5-トリメチルアゼパン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 569. 5; 測定値: 567. 2.

## 【0413】実施例15-35

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-チオフェン-2-イルメチルベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 541. 4; 測定値: 539. 0.

## 【0414】実施例15-36

N-シクロヘキシル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 527. 4; 測定値: 525. 0.

## 【0415】実施例15-37

N-ベンジル-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 535. 4; 測定値: 533. 0.

## 【0416】実施例15-38

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-6-トリルベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 535. 4; 測定値: 533. 1.

## 【0417】実施例15-39

2-{3, 5-ジクロロ-4-[3-(3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-スルホニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル}-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 561. 4; 測定値: 559. 0.

## 【0418】実施例15-40

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(1, 1-ジメチルプロピル)-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 515. 4; 測定値: 513. 1.

## 【0419】実施例15-41

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(4-メチルシクロヘキシル)-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 541. 4; 測定値: 539. 0.

## 【0420】実施例15-42

2-{3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニルピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 603. 5; 測定値: 603. 0.

## 【0421】実施例15-43

N-(1-シクロヘキシルエチル)-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 555. 4; 測定値: 553. 2.

## 【0422】実施例15-44



N-シクロヘキシルメチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 541.4; 測定値: 539.1.

【0423】実施例15-45

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-フェニル-プロピル)-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 563.4; 測定値: 560.9.

【0424】実施例15-46

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-フェニル-シクロプロピル)-ベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 561.4; 測定値: 558.9.

【0425】実施例15-47

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-メチル-ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 527.4; 測定値: 525.0.

【0426】実施例15-48

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-ヒドロキシ-ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 529.4; 測定値: 527.0.

【0427】実施例15-49

N-(6-クロロ-ピリジン-3-イル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 556.8; 測定値: 555.8.

【0428】実施例15-50

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-シクロヘキシル-ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 595.5; 測定値: 594.9.

【0429】実施例15-51

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-フェニル-ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 589.5; 測定値: 588.9.

【0430】実施例15-52

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニル-ピペリジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 589.5; 測定値: 588.9.

【0431】実施例15-53

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(2-メチル-2,3-ジヒドロインドール-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 561.4; 測定値: 560.9.

【0432】実施例15-54

2-(3,5-ジクロロ-4-[3-(2,3-ジメチル-2,3-ジヒドロインドール-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 575.4; 測定値: 574.9.

【0433】実施例15-55

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(2,2-ジフェニル-エチル)-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 625.5; 測定値: 623.0.

【0434】実施例15-56

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-[2-(2,4-ジクロロ-フェニル)-エチル]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 618.3; 測定値: 616.9.

【0435】実施例15-57

N-[2-(4-クロロ-フェニル)-1-メチル-エチル]-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンゼンスルホンアミド  
質量スペクトル理論値: 597.9; 測定値: 596.

9.

【0436】実施例15-58

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(3-オキサゾール-5-イル-フェニル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 588.4; 測定値: 587.8.

【0437】実施例15-59

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-[2-(4-フルオロ-フェニル)-エチル]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 567.4; 測定値: 564.9.

【0438】実施例15-60

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-N-フェネチル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 563.4; 測定値: 560.9.

【0439】実施例15-61

N-[2-(4-クロロ-フェニル)-1-メチル-エチル]-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 611.9; 測定値: 610.9.

【0440】実施例15-62

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェネチル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 549.4; 測定値: 546.9.

【0441】実施例15-63

2-(4-[3-(2-ベンジル-ピペリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3,5-ジクロロ-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 603.5; 測定値: 602.9.

【0442】実施例15-64

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-

(1,2,3,4-テトラヒドロ-ナフタレン-2-イル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 575.4; 測定値: 572.9.

【0443】実施例15-65

N-[2-(4-クロロ-フェニル)-1,1-ジメチル-エチル]-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 611.9; 測定値: 608.9.

【0444】実施例15-66

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-フェニル-ピペラジン-1-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 590.4; 測定値: 590.9.

【0445】実施例15-67

2-(3,5-ジクロロ-4-[3-(3,5-ジメチル-ピペリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 541.4; 測定値: 540.9.

【0446】実施例15-68

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1,2,3,4-テトラヒドロ-ナフタレン-1-イル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 575.4; 測定値: 573.2.

【0447】実施例15-69

N-ビスクロ[2,2,1]ヘプタ-2-イル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 539.4; 測定値: 537.3.

【0448】実施例15-70

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1,7,7-トリメチル-ビスクロ[2,2,1]ヘプタ-2-イル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 581.5; 測定値: 579.3.

## 【0449】実施例15-71

2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(3,3-ジメチル-ビペリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値:541.4;測定値:539.3.

## 【0450】実施例15-72

2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(3,3-ジメチル-ビペリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値:571.4;測定値:569.2.

## 【0451】実施例15-73

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1(R)-フェニル-エチル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:549.4;測定値:547.2.

## 【0452】実施例15-74

N-(4-クロロ-2-フェニル-2H-ピラゾール-3-イル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:621.8;測定値:621.1.

## 【0453】実施例15-75

2-[3,5-ジクロロ-4-[3-(2,3,4,4a,9,9a-ヘキサヒドロ-インデン[2,1-b]ピリジン-1-スルホニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値:601.5;測定値:601.1.

## 【0454】実施例15-76

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1-フェニル-エチル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:549.4;測定値:546.8.

## 【0455】実施例15-77

2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-エピアザノ-ナフタレン-9-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値:573.4;測定値:570.9.

## 【0456】実施例15-78

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(6,6-ジメチル-ビシクロ[3.1.1]ヘプタ-2-イル)-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:567.4;測定値:565.0.

## 【0457】実施例15-79

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(3,3,5,5-テトラメチル-シクロヘキシル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:583.5;測定値:580.9.

## 【0458】実施例15-80

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1,1a,6,6a-テトラヒドロシクロプロバ[a]インデン-1-イル)-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:573.4;測定値:570.9.

## 【0459】実施例15-81

N-ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イルメチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:579.4;測定値:576.9.

## 【0460】実施例15-82

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(スピロ(8-アザビシクロ[3.2.1]オクタン-3,2'-[1,3]ジオキサラン))-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:597.4;測定値:595.0.

## 【0461】実施例15-83

N-クロマン-4-イルメチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値:605.5;測定値:602.

9.

【0462】実施例15-84

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(スピロ(8-アザビシクロ[3. 2. 1]オクタン-3, 2'-[3'H]-フラン))-ベンゼンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 595. 5; 測定値: 592.

8.

【0463】実施例15-85

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-ヒドロキシ-8-アザ-ビシクロ[3. 2. 1]オクタン-8-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555. 4; 測定値: 552.

9.

【0464】実施例15-86

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-オキソ-8-アザ-ビシクロ[3. 2. 1]オクタン-8-スルホニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 553. 4; 測定値: 550.

8.

【0465】実施例15-87

2-[4-クロロ-7-ヒドロキシ-6-(ヒペリジン-1-スルホニル)-9H-キサンテン-2-イル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 490. 9; 測定値: 490.

9.

【0466】実施例16

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-ヒペリジン-1-イルメチル-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

工程A

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-ホルミル-4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

トリフルオロ酢酸(8mL)中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(1g)およびヘキサメチレンテトラアミン(0. 6g)の溶液を、70℃で18時間攪拌した。トリフルオロ酢酸を真空で除去し、水を加え、その結果できた混合物を30分間攪拌した。残分を酢酸エチルで抽出し、有機相を水、食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮し、シリカゲル上でフラッシュクロマトグラフィー(35%アセトン/ヘキサン類)にかけて工程Aの標記

化合物をオフホワイトの固形物1. 0g(融点184-187℃)として得た。

【0467】工程B

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-ホルミル-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン(10mL)中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-ホルミル-4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(0. 4g)の冷却(0℃)攪拌溶液に、ジクロロメタン中の1Mの三塩化硼素(4mL)を加えた。その結果できたオレンジ色のスラリーを、室温で5時間攪拌し、氷を加え、反応液を更に1時間攪拌した。二相溶液を酢酸エチル中に希釈し、水、食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮して工程Bの標記化合物をオフホワイトの固形物0. 4g(融点146-150℃)として得た。

【0468】工程C

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-ヒペリジン-1-イルメチル-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン(3mL)およびジメチルホルムアミド(0. 5mL)中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-ホルミル-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン(100mg)の攪拌溶液に、酢酸(20μL)、ヒペリジン(35μL)および水素化トリアセトキシ硼素ナトリウム(81mg)を加えた。6時間後、反応物を酢酸エチル中に希釈し、飽和重炭酸ナトリウム、食塩水で洗浄し、乾燥し( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空で濃縮して固形の塊を得た。固形物を酢酸エチルおよびメタノールと共にこねることによりこの実施例の標記化合物を無色固形物73mg(融点15-217℃)として得た。質量スペクトル理論値: 463. 3; 測定値: 463. 0.

【0469】適切な出発物質を用い、実施例16-1から16-35を、実施例16で述べたものと同様の方法で調製した。

【0470】実施例16-1

2-[4-[3-(ベンジルアミノ-メチル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3, 5-ジクロロ-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 485. 3; 測定値: 485. 0.

【0471】実施例16-2

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-フェニルアミノメチル-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 471. 3; 測定値: 471.

0.

## 【0472】実施例16-3

N-(5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキ  
 ソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジ  
 ン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベン  
 ジル)-N-フェニル-メタンスルホンアミド

質量スペクトル理論値: 549.4; 測定値: 549.  
 2.

## 【0473】実施例16-4

2-[3,5-ジプロモ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
 フェニルアミノメチル)-フェノキシ]-フェニル]-2  
 H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 560.2; 測定値: 560.  
 9.

## 【0474】実施例16-5

2-(3,5-ジプロモ-4-{3-[4-フルオロ  
 -フェニルアミノ)-メチル]-4-ヒドロキシ-フェ  
 ノキシ}-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジ  
 ン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 578.2; 測定値: 578.  
 9.

## 【0475】実施例16-6

2-{3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-  
 (o-トリルアミノ)-メチル]-フェノキシ}-フェニ  
 ル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオ  
 ン

質量スペクトル理論値: 485.3; 測定値: 484.  
 9.

## 【0476】実施例16-7

2-(4-[3-(ベンゾ[1,3]ジオキソール-5  
 -イルアミノ)-メチル]-4-ヒドロキシ-フェノキシ]  
 -3,5-ジクロロ-フェニル)-2H-[1,2,  
 4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 515.3; 測定値: 514.  
 9.

## 【0477】実施例16-8

2-(3,5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
 [4-トリフルオロメトキシ-フェニルアミノ)-メ  
 チル]-フェノキシ)-フェニル)-2H-[1,2,  
 4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555.3; 測定値: 554.  
 9.

## 【0478】実施例16-9

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-  
 (p-トリルアミノ)-メチル]-フェノキシ)-フェニ  
 ル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオ  
 ン

質量スペクトル理論値: 485.3; 測定値: 485.  
 0.

## 【0479】実施例16-10

2-(3,5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
 [(2-イソプロピル-フェニルアミノ)-メチル]-  
 フェノキシ)-フェニル)-2H-[1,2,4]トリア  
 ジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 513.4; 測定値: 513.  
 1.

## 【0480】実施例16-11

2-(4-{3-[3-プロモ-フェニルアミノ)-  
 メチル]-4-ヒドロキシ-フェノキシ}-3,5-ジ  
 クロロ-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジ  
 ン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 550.2; 測定値: 548.  
 9.

## 【0481】実施例16-12

2-(3,5-ジクロロ-4-{4-ヒドロキシ-3-  
 [(5,6,7,8-テトラヒドロ-ナフタレン-1-  
 イルアミノ)-メチル]-フェノキシ}-フェニル)-  
 2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 525.4; 測定値: 523.  
 1 (M-1).

## 【0482】実施例16-13

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-  
 (インダノ-5-イルアミノ)-メチル]-フェノキシ)-  
 フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-  
 ジオン

質量スペクトル理論値: 511.4; 測定値: 511.  
 0.

## 【0483】実施例16-14

2-(3,5-ジクロロ-4-{3-[4-フルオロ  
 -フェニルアミノ)-メチル]-4-ヒドロキシ-フェ  
 ノキシ}-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジ  
 ン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 489.3; 測定値: 489.  
 0.

## 【0484】実施例16-15

2-(3,5-ジクロロ-4-{3-[4-フルオロ  
 -2-メチル-フェニルアミノ)-メチル]-4-ヒド  
 ロキシ-フェノキシ}-フェニル)-2H-[1,2,  
 4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 503.3; 測定値: 503.  
 1.

## 【0485】実施例16-16

2-(4-{3-[3,5-ビス-トリフルオロメチ  
 ル-フェニルアミノ)-メチル]-4-ヒドロキシ-フ  
 ェノキシ}-3,5-ジクロロ-フェニル)-2H-  
 [1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 607.3; 測定値: 605.  
 1.

## 【0486】実施例16-17

2-(3,5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-

〔(1H-インダゾール-5-イルアミノ)-メチル〕  
-フェノキシ-フェニル〕-2H-[1, 2, 4]ト  
リアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 511.3; 測定値: 509.  
1.

【0487】実施例16-18

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
〔(1-メチル-1H-ベンゾイミダゾール-2-イル  
アミノ)-メチル〕-フェノキシ-フェニル)-2H  
-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 525.4; 測定値: 525.  
0.

【0488】実施例16-19

2-(4-{3-〔(5-tert-ブチル-2-メチ  
ル-2H-ピラゾール-3-イルアミノ)-メチル〕-  
4-ヒドロキシ-フェノキシ}-3, 5-ジクロロ-フ  
ェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-  
ジオン

質量スペクトル理論値: 531.4; 測定値: 529.  
1.

【0489】実施例16-20

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-{〔(4-クロ  
ロ-フェニル)-メチル-アミノ]-メチル}-4-ヒド  
ロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 519.8; 測定値: 519.  
0.

【0490】実施例16-21

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
〔(メチル-オトリル-アミノ)-メチル]-フェノ  
キシ)-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン  
-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 499.4; 測定値: 499.  
1.

【0491】実施例16-22

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
〔(メチル-フェニル-アミノ)-メチル]-フェノキ  
シ)-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-  
3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 485.3; 測定値: 485.  
1.

【0492】実施例16-23

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
〔(チオフェン-2-イルメチル)-アミノ]-メチ  
ル)-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 491.4; 測定値: 490.  
8.

【0493】実施例16-24

2-{3, 5-ジクロロ-4-[3-(3, 3-ジメチ

ル-ビペリジン-1-イルメチル)-4-ヒドロキシ-  
フェノキシ]-フェニル}-2H-[1, 2, 4]トリ  
アジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 491.0; 測定値: 491.  
2.

【0494】実施例16-25

2-(3, 5-ジクロロ-4-[3-(3, 4-ジヒド  
ロ-1H-イソキノリン-2-イルメチル)-4-ヒド  
ロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 511; 測定値: 511.

【0495】実施例16-26

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
(3-メチル-3-フェニル-ビペリジン-1-イルメ  
チル)-フェノキシ)-フェニル)-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555; 測定値: 555.

【0496】実施例16-27

2-(4-{3-(ピシクロ[2.2.1]ヘプチ-2-  
イルアミノメチル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ  
}-3, 5-ジクロロ-フェニル)-2H-[1, 2,  
4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 489.4; 測定値: 489.  
3.

【0497】実施例16-28

2-[4-(3-アゼパン-1-イルメチル-4-ヒド  
ロキシ-フェノキシ)-3, 5-ジクロロ-フェニル]  
-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 477.4; 測定値: 477.  
3.

【0498】実施例16-29

2-(3, 5-ジクロロ-4-{3-〔(シクロヘキシ  
ルメチル-アミノ)-メチル]-4-ヒドロキシ-フェ  
ノキシ)-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジ  
ン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 491.4; 測定値: 491.  
3.

【0499】実施例16-30

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-  
〔(メチル-フェネチル-アミノ)-メチル]-フェノ  
キシ)-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン  
-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 513.4; 測定値: 513.  
3.

【0500】実施例16-31

2-(4-{3-〔(ベンジル-メチル-アミノ)-メ  
チル]-4-ヒドロキシ-フェノキシ}-3, 5-ジク  
ロ-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-  
3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 499.4; 測定値: 499.

2.

【0501】実施例16-32

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-(1, 4-ジオキサ-8-アザ-スビロ[4. 5]デシ-8-イルメチル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 521; 測定値: 521.

【0502】実施例16-33

2-(3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-[(1, 7, 7-トリメチル-ビスクロ[2, 2, 1]ヘプチ-2-イルアミノ)-メチル]-フェノキシ)-フェニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 531; 測定値: 531.

【0503】実施例16-34

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-(3, 4-ジヒドロ-2H-キノリン-1-イルメチル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 511. 4; 測定値: 511. 4.

4.

【0504】実施例16-35

2-[4-(3-(ビスクロ[2, 2, 1]ヘプチ-2-イルアミノメチル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-3, 5-ジクロロ-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 489. 4; 測定値: 489. 2.

【0505】実施例17

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-(シス-3, 5-ジメチル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

工程A

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-カルボキシル-4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

THF (90 mL) 中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-ホルミル-4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン (25 g) の溶液を、*t*-ブタノール (610 mL) 中の2-メチル-2-ブテン (98 mL) の溶液に加えた。10分におわって、0. 6 M の水性ジヒドロ燐酸カリウム (715 mL) 中の亜塩素酸ナトリウム (50 g) の溶液を加えて濁った黄色溶液を得た。1時間後、反応液を酢酸エチル中に希釈し、層を分離し、水層を酢酸エチルで抽出した (2x)。合わせた有機層を食塩で洗浄し、乾燥し ( $\text{Na}_2\text{SO}_4$ )、真空中で濃縮し、その結果できた黄色油状物質を、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー (2-5% メタノール/ジクロロメ

タン) にかけて工程Aの標記化合物をオフホワイトの油状物質21 gとして得た。

【0506】工程B

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-カルボキシル-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジクロロメタン (400 mL) 中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-カルボキシル-4-メトキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン (21 g) の冷却 (-78°C) 攪拌溶液に、ジクロロメタン (150 mL) 中の三塩化硼素の1 M 溶液を加えた。反応液を室温で4時間攪拌し、再冷却 (-78°C)、75% メタノール/水で反応停止した。室温で1時間後、溶媒を真空中で除去し、トルエンとの共沸により水を除去し、その結果できた油状物質を真空中 (-0. 5 トル) で24時間濃縮した。その結果できた油状物質をシリカゲルの充填物を通さ (5-10% メタノール/ジクロロメタン) 工程Bの標記化合物を黄褐色油状物質16 gとして得た。

【0507】工程C

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-安息香酸2, 5-ジオキソ-ピロリジン-1-イル エステルジメトキシエタン (50 mL) 中の2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-カルボキシル-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン (5 g) およびN-ヒドロキシスクシンイミド (1. 5 g) の冷却 (0°C) 攪拌溶液に、ジクロロヘキシルカルボジイミド (2. 8 g) を加えた。4時間後、反応スラリーを、酢酸エチルで希釈し、固形物を濾過し、更なる量の酢酸エチルおよびテトラヒドロフランで洗浄した。残った濾過ケーキ (6. 6 g) は、工程Cの標記化合物および0. 4 当量のジクロロヘキシル尿素を示した。この物質を更に精製することなく用いた。

【0508】工程D

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-(シス-3, 5-ジメチル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

ジメトキシエタン (1. 3 mL) 中の5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-安息香酸2, 5-ジオキソ-ピロリジン-1-イル エステル (320 mg) およびトリエチルアミン (265  $\mu\text{L}$ ) の溶液に、3, 5-シス-ジメチルピペリジン (189 mg) を加えた。2時間後、反応溶液を真空中で濃縮し、シリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー (50% 酢酸エチル/ヘキサン

類) にかけて、この実施例の標記化合物を無色固体物 130mg として得た。質量スペクトル理論値: 505. 3; 測定値: 505. 2。

【0509】適切な出発物質を用い、実施例 17-1 から 17-113 を、実施例 17 で述べたものと同様の方法で調製した。

【0510】実施例 17-1

2- {3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 477. 3; 測定値: 477. 0。

【0511】実施例 17-2

2- {3-クロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 456. 9; 測定値: 457. 2。

【0512】実施例 17-3

2- {3-クロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (ピロリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-5-メチル-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 443. 8; 測定値: 443. 1。

【0513】実施例 17-4

5- [2-クロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-N-シクロヘキシル-2-ヒドロキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 470. 9; 測定値: 471. 2。

【0514】実施例 17-5

5- [2-クロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-6-メチル-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェニルベンズアミド

質量スペクトル理論値: 464. 9; 測定値: 465. 1。

【0515】実施例 17-6

N-シクロヘキシル-5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-エチル-2-ヒドロキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 519. 4; 測定値: 519. 0。

【0516】実施例 17-7

2- {3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3-

(ピロリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 463. 3; 測定値: 463. 1。

【0517】実施例 17-8

2- {4- [3- (アゼパシ-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3, 5-ジクロロ-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 491. 3; 測定値: 491. 1。

【0518】実施例 17-9 2- {3, 5-ジクロロ-

4- [4-ヒドロキシ-3- (4-メチル-ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 491. 3; 測定値: 491. 1。

【0519】実施例 17-10

N-シクロヘキシル-5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 491. 3; 測定値: 491. 1。

【0520】実施例 17-11

N-シクロヘキシル-5- [2, 6-ジプロモ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 580. 2; 測定値: 579. 0 (M-1)。

【0521】実施例 17-12

2- {3, 5-ジプロモ-4- [4-ヒドロキシ-3- (ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H- [1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 580. 2; 測定値: 581. 1。

【0522】実施例 17-13

N-ベンジル-5- [2, 6-ジプロモ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシベンズアミド

質量スペクトル理論値: 588. 2; 測定値: 589. 0。

【0523】実施例 17-14

5- [2, 6-ジプロモ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N- (1



S-フェニル-エチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 602.2; 測定値: 603.0.

【0524】実施例17-15

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1R-フェニル-エチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 602.2; 測定値: 603.0.

【0525】

実施例17-16 5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(1,2-ジメチル-プロピル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 568.2; 測定値: 569.0.

【0526】実施例17-17

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェニル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 574.2; 測定値: 575.0.

【0527】実施例17-18

2-[3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(1,3,3-トリメチル-6-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタン-6-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 545.4; 測定値: 545.2.

【0528】実施例17-19

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(1,1-ジメチル-プロピル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 568.2; 測定値: 569.0.

【0529】実施例17-20

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-フラン-2-イルメチル-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 489.3; 測定値: 487.1.

【0530】実施例17-21

N-(2-クロロ-ベンジル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H

-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 533.8; 測定値: 533.1.

【0531】実施例17-22

N-シクロブチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 463.2; 測定値: 461.0.

【0532】実施例17-23

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-チオフェン-2-イルメチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 505.4; 測定値: 505.0.

【0533】実施例17-24

N-シクロヘキシルメチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 505.4; 測定値: 505.1.

【0534】実施例17-25

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1-メチル-2-フェノキシ-エチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 543.4; 測定値: 543.1.

【0535】実施例17-26

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-インダン-1-イル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 614.3; 測定値: 615.0.

【0536】実施例17-27

N-ビシクロ[2.2.1]ヘプチ-2-イル-5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 592.3; 測定値: 593.0.

【0537】実施例17-28

N-ビシクロ[2.2.1]ヘプチ-2-イル-5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イ

ル) -フェノキシ] -2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 592.3; 測定値: 593.1.

【0538】実施例17-29

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-メチル-シクロヘキシル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 594.3; 測定値: 595.0.

【0539】実施例17-30

N-シクロプロピル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 449.3; 測定値: 447.1.

【0540】実施例17-31

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(4-メチル-シクロヘキシル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 505.4; 測定値: 503.1.

【0541】実施例17-32

N-ビスクロ[2,2,1]ヘプタ-2-イル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 503.4; 測定値: 503.1.

【0542】実施例17-33

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3,3,5-トリメチル-アゼパン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 533.5; 測定値: 533.2.

【0543】実施例17-34

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1,2,3,4-テトラヒドロ-ナフタレン-1-イル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 539.4; 測定値: 539.1.

【0544】実施例17-35

N-(1-シクロヘキシル-エチル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェ

ノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 519.4; 測定値: 519.1.

【0545】実施例17-36

N-(1-シクロヘキシル-エチル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 519.4; 測定値: 519.1.

【0546】実施例17-37

2-(3,5-ジクロロ-4-[3-(5-エチル-2-メチル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 519.4; 測定値: 519.1.

【0547】実施例17-38

2-(3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニル-ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 567.4; 測定値: 567.1.

【0548】実施例17-39

2-(3,5-ジクロロ-4-[3-(3,3-ジメチル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 505.4; 測定値: 505.1.

【0549】実施例17-40

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-フェニル-プロピル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 527.4; 測定値: 527.0.

【0550】実施例17-41

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-フェニル-シクロプロピル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 525.3; 測定値: 525.0.

【0551】実施例17-42

N-クロマン-4-イルメチル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：569.4；測定値：569.0.

【0552】実施例17-43

5-[2,6-ジプロモ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-インダン-2-イル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：614.3；測定値：615.0.

【0553】実施例17-44

N-ベンジル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：513.4；測定値：513.1.

【0554】実施例17-45

N-ビスクロ[2,2,1]ヘプチ-2-イル-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：503.5；測定値：503.0.

【0555】実施例17-46

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1,7,7-トリメチル-ビスクロ[2,2,1]ヘプチ-2-イル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：545.4；測定値：545.2.

【0556】実施例17-47

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1H-インドール-4-イルメチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：538.4；測定値：536.0.

【0557】実施例17-48

2-{3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-エピアザノナフタレン-9-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：537.4；測定値：537.0.

【0558】実施例17-49

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチ

ル-N-ヒリジン-3-イルメチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：514.4；測定値：514.1.

【0559】実施例17-50

2-{3,5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(4-フェニル-ヒリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：553.4；測定値：553.0.

【0560】実施例17-51

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-ヒドロキシ-1-フェニル-エチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：529.4；測定値：529.0.

【0561】実施例17-52

N-(6-クロロ-ヒリジン-3-イル)-5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：520.8；測定値：520.5.

【0562】実施例17-53

2-{3,5-ジクロロ-4-[3-(2,3-ジメチル-2,3-ジヒドロ-インドール-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値：539.4；測定値：539.1.

【0563】実施例17-54

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(1,2-ジフェニル-エチル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：589.4；測定値：589.1.

【0564】実施例17-55

5-[2,6-ジクロロ-4-(3,5-ジオキソ-4,5-ジヒドロ-3H-[1,2,4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-フェネチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値：513.4；測定値：513.1.

【0565】実施例17-56

2-{3,5-ジクロロ-4-[3-(2,3-ジヒドロ-インドール-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル}-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 511. 3; 測定値: 511. 0.

【0566】実施例17-57

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-(2, 2-ジフェニル-エチル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 589. 4; 測定値: 589. 1.

【0567】実施例17-58

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(2-メチル-2, 3-ジヒドロ-インドール-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 525. 4; 測定値: 525. 1.

【0568】実施例17-59

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-[2-(2, 4-ジクロロ-フェニル)-エチル]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 582. 2; 測定値: 583. 0.

【0569】実施例17-60

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-N-[2-(4-フルオロ-フェニル)-エチル]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 531. 3; 測定値: 531. 1.

【0570】実施例17-61

N-[2-(4-クロロ-フェニル)-1-メチル-エチル]-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 561. 8; 測定値: 561. 1.

【0571】実施例17-62

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-メチル-3-フェニル-ピロリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 553. 4; 測定値: 551. 2.

【0572】実施例17-63

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3-フェニル-ピペリジン-1-カルボニル)-フェ

ノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 553. 4; 測定値: 553. 0.

【0573】実施例17-64

2-[3, 5-ジクロロ-4-[3-(3-シクロヘキシル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 559. 4; 測定値: 559. 0.

【0574】実施例17-65

2-[4-[3-(2-ベンジル-ピペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-3, 5-ジクロロ-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 567. 4; 測定値: 567. 0.

【0575】実施例17-66

2-[3, 5-ジクロロ-4-[3-(3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 525. 4; 測定値: 525. 0.

【0576】実施例17-67

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-N-フェネチル-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 527. 4; 測定値: 526. 9.

【0577】実施例17-68

N-[2-(4-クロロ-フェニル)-1-メチル-エチル]-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 575. 8; 測定値: 574. 9.

【0578】実施例17-69

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1, 1a, 6, 6a-テトラヒドロ-シクロプロバ[a]インデン-1-イル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 537. 4; 測定値: 535. 1.

【0579】実施例17-70

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-

4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1, 2, 3, 4-テトラヒドロ-ナフタレン-2-イル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 539.4; 測定値: 538.9.

【0580】実施例17-71

N-(1-ベンジル-シクロペンチル)-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 581.5; 測定値: 580.9.

【0581】実施例17-72

N-(1-ベンジル-シクロヘキシル)-5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 595.5; 測定値: 594.9.

【0582】実施例17-73

2-[3, 5-ジクロロ-4-[3-(3, 4-ジヒドロ-2H-キノリン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 525.4; 測定値: 525.2.

【0583】実施例17-74

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3R-メチル-3-フェニル-ビペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 567.5; 測定値: 567.3.

【0584】実施例17-75

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(3S-メチル-3-フェニル-ビペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 567.5; 測定値: 567.1.

【0585】実施例17-76

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(2, 3-ジヒドロ-スピロ-[1H-インデン-1, 3'-ビペリジン]-1-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 579.4; 測定値: 579.

1.

【0586】実施例17-77

2-[3, 5-ジクロロ-4-[3-(2, 3, 4, 4a, 9, 9a-ヘキサヒドロ-インデン-[2, 1-b]ピリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 565.4; 測定値: 565.2.

【0587】実施例17-78

2-[3, 5-ジクロロ-4-[3-(3-シクロヘキシル-3-メチル-ビペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 573.5; 測定値: 573.1.

1.

【0588】実施例17-79

2-[3, 5-ジクロロ-4-[4-ヒドロキシ-3-(1-p-トリル-3-アザ-ビシクロ[3.1.0]ヘキサン-3-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 565.4; 測定値: 565.1.

【0589】実施例17-80

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-N-(1, 2, 3, 4-テトラヒドロ-ナフタレン-1-イルメチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 567.4; 測定値: 567.3.

【0590】実施例17-81

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-メチル-N-[1-メチル-2-(6, 7, 8, 9-テトラヒドロ-5H-ベンゾシクロヘプテン-2-イル)-エチル]-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 609.6; 測定値: 609.3.

【0591】実施例17-82

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1, 7, 7-トリメチル-ビシクロ[2.2.1]ヘプテン-2-イル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 545.5; 測定値: 545.3.

【0592】実施例17-83

2- (4- [3- (11-アザトリシクロ [7, 3, 1, 0<sup>2</sup>, 7] トリデカ-2 (7), 3, 5-トリエン-11-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-3, 5-ジクロロフェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 565. 4; 測定値: 565. 1.

【0593】実施例17-84

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (3, 3-ジフェニル-ビペリジン-1-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 629. 5; 測定値: 629. 1.

【0594】実施例17-85

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (1, 3-ジヒドロ-スビロ [1H-インデン-1, 3'-ビペリジン]-1-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 565. 4; 測定値: 565. 1.

【0595】実施例17-86

2- (3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (3-メチル-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 539. 4; 測定値: 539. 1.

【0596】実施例17-87

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (7, 8-ジメトキシ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 585. 4; 測定値: 585. 1.

【0597】実施例17-88

2- (4- [3- (7-プロモ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-3, 5-ジクロロフェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 604. 2; 測定値: 605. 2.

【0598】実施例17-89

2- (3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (8-メトキシ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555. 4; 測定値: 555.

3.

【0599】実施例17-90

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (6, 7-ジメトキシ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 585. 4; 測定値: 585. 3.

【0600】実施例17-91

2- (3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (3-ヒドロキシメチル-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555. 4; 測定値: 555. 3.

【0601】実施例17-92

5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N- (2, 6, 6-トリメチル-ビシクロ [3, 1, 1] ヘプタ-3-イル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 545. 4; 測定値: 544. 9.

【0602】実施例17-93

5- [2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4] トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N- (1-ヒドロキシメチル-シクロペンチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 507. 3; 測定値: 506. 9.

【0603】実施例17-94

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (4, 4-ジメチル-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 553. 4; 測定値: 552. 9.

【0604】実施例17-95

2- (3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (4-メトキシ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-フェノキシ]-フェニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 555. 3; 測定値: 554. 9.

【0605】実施例17-96

2- (3, 5-ジクロロ-4- [3- (8, 8-ジメチル-9-オキサ-2-アザスビロ [5, 5] ウンデカン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシフェノキシ]

－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 575. 4; 測定値: 574. 9.

【0606】実施例17-97

2－[3, 5-ジクロロ-4- [3- (8-クロロ-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 559. 8; 測定値: 558. 8.

【0607】実施例17-98

2－[3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (4-メチル-3, 4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 539. 4; 測定値: 538. 9.

【0608】実施例17-99

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－2-ヒドロキシ-N- (3, 3, 5-テトラメチル-シクロヘキシル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 547. 4; 測定値: 546. 9.

【0609】実施例17-100

2－[3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (2S-ヒドロキシ-7-アザスビロ [4, 5] デカソ-7-カルボニル)-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 547. 4; 測定値: 547. 1.

【0610】実施例17-101

2－[3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (2R-ヒドロキシ-7-アザスビロ [4, 5] デカソ-7-カルボニル)-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 547. 4; 測定値: 547. 1.

【0611】実施例17-102

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－N- (6, 6-ジメチル-ビスクロ [3, 1, 1]ヘプタ-2R- (1a, 2b, 5a)-イル)-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 531. 4; 測定値: 531. 1.

【0612】実施例17-103

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-

4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－N- (スビロ (8-アザビスクロ [3, 2, 1]オクタン-3, 2'-1, 3]ジオキソラン))-2-ヒドロキシ-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 561. 4; 測定値: 560. 9.

【0613】実施例17-104

2－[3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (3-オキソ-8-アザ-ビスクロ [3, 2, 1]オクタン-8-カルボニル)-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 517. 3; 測定値: 516. 9.

【0614】実施例17-105

2－[3, 5-ジクロロ-4- [4-ヒドロキシ-3- (モルホリン-4-カルボニル)-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 479. 3; 測定値: 478. 8.

【0615】実施例17-106

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－2-ヒドロキシ-N- (2R-ヒドロキシ- (R)-シクロヘキシル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 507. 8; 測定値: 507. 0.

【0616】実施例17-107

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－2-ヒドロキシ-N- (2R-ヒドロキシ- (S)-シクロペンチル)-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 493. 3; 測定値: 493. 0.

【0617】実施例17-108

5－[2, 6-ジクロロ-4- (3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H- [1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]－2-ヒドロキシ-N- (スビロ (8-アザビスクロ [3, 2, 1]オクタン-3-エンド, 2' (3'H)-フラン))-ベンズアミド  
質量スペクトル理論値: 559. 4; 測定値: 559. 0.

【0618】実施例17-109

2－[3, 5-ジクロロ-4- [3- (2S, 6R-ジメチル-モルホリン-4-カルボニル)-4-ヒドロキシ-フェノキシ]－フェニル}－2H－[1, 2, 4]トリアジン－3, 5－ジオン  
質量スペクトル理論値: 507. 3; 測定値: 505.

1.

## 【0619】実施例17-110

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-ヒドロキシ-1, 1-ジメチル-エチル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 481. 3; 測定値: 481. 1.

1.

## 【0620】実施例17-111

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(2-ヒドロキシメチル-ピシクロ[2. 2. 1]ヘプター-2-イル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 533. 4; 測定値: 533. 1.

1.

## 【0621】実施例17-112

5-[2, 6-ジクロロ-4-(3, 5-ジオキソ-4, 5-ジヒドロ-3H-[1, 2, 4]トリアジン-2-イル)-フェノキシ]-2-ヒドロキシ-N-(1-ヒドロキシメチル-シクロヘキシル)-ベンズアミド

質量スペクトル理論値: 521. 4; 測定値: 521. 2.

2.

## 【0622】実施例17-113

2-[3, 5-ジクロロ-4-(4-ヒドロキシ-3-(3-ヒドロキシメチル-3-メチル-モルホリン-4-カルボニル)-フェノキシ)-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 523. 3; 測定値: 522. 9.

9.

## 【0623】実施例18

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ベンジルアミド

## 工程A

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ベンジルアミド

10%DMF/DC E中のベンジルアミン(6  $\mu$ モル)の溶液に、2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(5  $\mu$ モル)およびN-メチルモルホリン(6  $\mu$ モル)の10%DMF/DC E溶液を連続して加えた。ヘキサフルオロリン酸O-ベンゾトリアゾール-1-イル-N, N, N', N'-テトラメチルウロニウム(7. 5  $\mu$ モル)のDMF溶液を加

え、その結果できた溶液を室温で4時間攪拌した。反応液を、一晚真空オープン内で60℃で濃縮した。HPLCおよびLCMSは、工程Aの標記化合物への完全な変換を示した。質量スペクトル理論値: 550. 1; 測定値: 549. 0 (M-1)。

## 【0624】工程B

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ベンジルアミド

メチルエステルの分解を、実施例12の工程Cのような上記で詳細に述べたものと同様の手法を用いて達成して、この実施例の標記化合物を得た。質量スペクトル理論値: 536. 1; 測定値: 535. 0 (M-1)。

【0625】適切な出発物質を用い、実施例18-1から18-147を、実施例18で述べたものと同様の方法で調製した。

## 【0626】実施例18-1

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸sec-ブチルアミド

質量スペクトル理論値: 516. 1; 測定値: 514. 9 (M-1)。

## 【0627】実施例18-2

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(4-メチル-シクロヘキシル)-アミド

質量スペクトル理論値: 556. 1; 測定値: 555. 1 (M-1)。

## 【0628】実施例18-3

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(4-フェニル-ブチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 592. 1; 測定値: 591. 1 (M-1)。

## 【0629】実施例18-4

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3, 5-ジメチル-フェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(2-ヒドロキシ-プロピル)-アミド

質量スペクトル理論値: 518. 1; 測定値: 516. 8 (M-1)。

## 【0630】実施例18-5

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-



ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸シクロヘキシルアミド  
質量スペクトル理論値: 542. 1; 測定値: 541.  
0 (M-1).

【0631】実施例18-6

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸[2-(2-ヒドロキシエトキ  
シ)エチル]ーアミド

質量スペクトル理論値: 548. 1; 測定値: 553.  
8 (M+1).

【0632】実施例18-7

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(ピリミジン-2-イルメチル)  
ーアミド

質量スペクトル理論値: 552. 1; 測定値: 549.  
9 (M-1).

【0633】実施例18-8

ー[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)ー  
3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(3-ヒペリジン-1-イル  
ーアロピル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 585. 2; 測定値: 584.  
1 (M-1).

【0634】実施例18-9

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸ブチルアミド

質量スペクトル理論値: 516. 1; 測定値: 514.  
9 (M-1).

【0635】実施例18-10

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸ウンデシルアミド

質量スペクトル理論値: 614. 2; 測定値: 613.  
2 (M-1).

【0636】実施例18-11

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(フラン-2-イルメチル)ーア  
ミド

質量スペクトル理論値: 540. 1; 測定値: 538.

9 (M-1).

【0637】実施例18-12

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(4-シアノシクロヘキシル  
メチル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 581. 1; 測定値: 580.  
1 (M-1).

【0638】実施例18-13

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸[3-(4-メチルピペラジン  
-1-イル)ーアロピル]ーアミド

質量スペクトル理論値: 600. 2; 測定値: 599.  
1 (M-1).

【0639】実施例18-14

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(テトラヒドロフラン-2-イ  
ルメチル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 544. 1; 測定値: 543.  
0 (M-1).

【0640】実施例18-15

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸アリルアミド

質量スペクトル理論値: 500. 1; 測定値: 498.  
9 (M-1).

【0641】実施例18-16

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(2-モルホリン-4-イル  
エチル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 573. 1; 測定値: 571.  
9 (M-1).

【0642】実施例18-17

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチルフェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸(2-シクロヘキセ-1-エ  
ニルエチル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 568. 1; 測定値: 566.  
9 (M-1).

【0643】実施例18-18

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)

ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸[2-ヒドロキシ-2-(4-ヒ  
ドロキシ-3-メトキシ-フェニル)-エチル]ーアミ  
ド

質量スペクトル理論値: 626. 1; 測定値: 624.  
9 (M-1).

【0644】実施例18-19

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(3-オキソ-イソオキサゾリ  
ン-4-イル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 545. 1; 測定値: 543.  
9 (M-1).

【0645】実施例18-20

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(3, 3-ジフェニル-プロピ  
ル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 654. 1; 測定値: 653.  
1 (M-1).

【0646】実施例18-21

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(2-メトキシ-1-メチル-エ  
チル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 532. 1; 測定値: 530.  
8 (M-1).

【0647】実施例18-22

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(2-オキソ-2-フェニル-エ  
チル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 578. 1; 測定値: 576.  
8 (M-1).

【0648】実施例18-23

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(ピリジン-2-イルメチル)ー  
アミド

質量スペクトル理論値: 551. 1; 測定値: 549.  
9 (M-1).

【0649】実施例18-24

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-

2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸[2-(1H-インドール-3-  
イル)-エチル]ーアミド

質量スペクトル理論値: 603. 1; 測定値: 602.  
1 (M-1).

【0650】実施例18-25

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(1-アザ-ビスクロ[2, 2,  
2]オクチ-3-イル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 569. 1; 測定値: 568.  
1 (M-1).

【0651】実施例18-26

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸[2-(2-イソプロピル-5-  
メチル-フェノキシ)-エチル]ーアミド

質量スペクトル理論値: 636. 2; 測定値: 635.  
1 (M-1).

【0652】実施例18-27

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(ピリジン-4-イルメチル)ー  
アミド

質量スペクトル理論値: 551. 1; 測定値: 550.  
0 (M-1).

【0653】実施例18-28

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(チオフェン-2-イルメチル)  
ーアミド

質量スペクトル理論値: 556. 0; 測定値: 554.  
9 (M-1).

【0654】実施例18-29

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸(1-ヒドロキシメチル-3-メ  
チルスルファニル-プロピル)ーアミド

質量スペクトル理論値: 578. 1; 測定値: 577.  
0 (M-1).

【0655】実施例18-30

(2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキ  
シ)ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキ  
ソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロー[1, 2, 4]ト  
リアジン-6-カルボニル)ーアミノ)ー酢酸メチルエ

## ステル

質量スペクトル理論値: 518; 測定値: 517 (M-1).

## 【0656】実施例18-31

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(3,4-ビスベンジルオキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 776.2; 測定値: 775.1 (M-1).

## 【0657】実施例18-32

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸チオクロマン-4-イルアミド

質量スペクトル理論値: 608.1; 測定値: 606.9 (M-1).

## 【0658】実施例18-33

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(ヒペリジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン質量スペクトル理論値: 528.1; 測定値: 526.9 (M-1).

## 【0659】実施例18-34

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(5-シアノベンチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 555.1; 測定値: 553.9 (M-1).

## 【0660】実施例18-35

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸アロピ-2-イルアミド

質量スペクトル理論値: 498.1; 測定値: 496.9 (M-1).

## 【0661】実施例18-36

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(1,1-ジオキソテトラヒドロ-1H-チオフェン-3-イル)-アミド

質量スペクトル理論値: 578.0; 測定値: 576.9 (M-1).

## 【0662】実施例18-37

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(モルホリン-

4-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 530.1; 測定値: 528.9 (M-1).

## 【0663】実施例18-38

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(チアゾリジン-3-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 532.0; 測定値: 530.8 (M-1).

## 【0664】実施例18-39

2-([2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル]-アミノ)-チアゾール-4-イル]-酢酸エチルエステル

質量スペクトル理論値: 629.1; 測定値: 627.9 (M-1).

## 【0665】実施例18-40

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(5-メチルチアゾール-2-イル)-アミド

質量スペクトル理論値: 557.0; 測定値: 555.9 (M-1).

## 【0666】実施例18-41

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(2-エチル-2H-ピラゾール-3-イル)-アミド

質量スペクトル理論値: 554.1; 測定値: 552.8 (M-1).

## 【0667】実施例18-42

(4-[2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル]-ヒペラジン-1-イル)-酢酸エチルエステル

質量スペクトル理論値: 615.1; 測定値: 614.1 (M-1).

## 【0668】実施例18-43

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(3,4-ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 576.1; 測定値: 574.8 (M-1).

## 【0669】実施例18-44

6-(3-アザ-ビスクロ[3.2.2]ノナン-3-カルボニル)-2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 568.1; 測定値: 566.9 (M-1).

## 【0670】実施例18-45

1-(2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル)-ヘベリジン-3-カルボン酸アミド

質量スペクトル理論値: 571.1; 測定値: 569.9 (M-1).

## 【0671】実施例18-46

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(6,6-ジメチル-ビスクロ[3.1.1]ヘプタ-2-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 596.2; 測定値: 595.1 (M-1).

## 【0672】実施例18-47

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(オクタヒドロ-イソキノリン-2-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 582.1; 測定値: 581.0 (M-1).

## 【0673】実施例18-48

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(1,3,3-トリメチル-6-アザ-ビスクロ[3.2.1]オクタ-6-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 596.2; 測定値: 595.0 (M-1).

## 【0674】実施例18-49

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸ビスクロ[2.2.1]ヘプタ-2-イルアミド

質量スペクトル理論値: 554.1; 測定値: 552.9 (M-1).

## 【0675】実施例18-50

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリア

ジン-6-カルボン酸(2-ジメチルアミノ-エチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 531.1; 測定値: 529.8 (M-1).

## 【0676】実施例18-51

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(3-イミダゾール-1-イル-プロピル)-アミド

質量スペクトル理論値: 568.1; 測定値: 566.8 (M-1).

## 【0677】実施例18-52

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(1-メチル-1H-ピロ-ール-2-イル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 567.1; 測定値: 565.9 (M-1).

## 【0678】実施例18-53

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(4-ビリジン-2-イル-ビベラジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 606.1; 測定値: 605.1 (M-1).

## 【0679】実施例18-54

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3,5-ジメトキシ-ベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 610.1; 測定値: 609.1 (M-1).

## 【0680】実施例18-55

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[3-(2-メトキシ-エトキシ)-プロピル]-アミド

質量スペクトル理論値: 576.1; 測定値: 575.0 (M-1).

## 【0681】実施例18-56

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(4-スルファモイル-フェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 643.1; 測定値: 641.

9 (M-1) .

【0682】実施例18-57

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(3,4,5-トリヒドロキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 612.1; 測定値: 613.0 (M+1) .

【0683】実施例18-58

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(5-プロモ-2-メトキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 672.0; 測定値: 670.9 (M-1) .

【0684】実施例18-59

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(4-エトキシ-3-メトキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 638.1; 測定値: 637.0 (M-1) .

【0685】実施例18-60

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(4-フルオロフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 582.1; 測定値: 581.0 (M-1) .

【0686】実施例18-61

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-トリフルオロメトキシベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 634.1; 測定値: 633.0 (M-1) .

【0687】実施例18-62

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-トリフルオロメチルベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 618.1; 測定値: 617.0 (M-1) .

【0688】実施例18-63

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 594.1; 測定値: 593.0 (M-1) .

【0689】実施例18-64

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-ジメチルアミノベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 593.1; 測定値: 592.0 (M-1) .

【0690】実施例18-65

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(2,5,9-トリメチル-7-オキソ-7H-フロ[3,2-g]クロメン-4-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 700.1; 測定値: 699.1 (M-1) .

【0691】実施例18-66

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(2-ヒドロキシメチルフェニルスルファニル)-ベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 688.1; 測定値: 686.8 (M-1) .

【0692】実施例18-67

1-(2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル)-ピペリジン-4-カルボン酸アミド

質量スペクトル理論値: 571.1; 測定値: 570.0 (M-1) .

【0693】実施例18-68

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-メチルピペリジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 542.1; 測定値: 540.9 (M-1) .

【0694】実施例18-69

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-(3-

【1-(2-ヒドロキシーエチル)-ビペリジン-4-イル]-プロピル}-ビペリジン-1-カルボニル)-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 697. 2; 測定値: 696. 2 (M-1).

【0695】実施例18-70

1-[2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボニル]-ビペリジン-3-カルボン酸ジエチルアミド

質量スペクトル理論値: 627. 2; 測定値: 626. 2 (M-1).

【0696】実施例18-71

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-フェニル-4-(ピロリジン-1-カルボニル)-ビペリジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 701. 2; 測定値: 700. 0 (M-1).

【0697】実施例18-72

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-オキソ-1-フェニル-1, 3, 8-トリアザスピロ[4. 5]デカン-8-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 674. 1; 測定値: 673. 0 (M-1).

【0698】実施例18-73

1-[2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボニル]-4-オキソ-ビペリジン-3-カルボン酸メチルエステル

質量スペクトル理論値: 600. 1; 測定値: 598. 9 (M-1).

【0699】実施例18-74

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(4-クロロフェニル)-フェニルメチル]-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 729. 1; 測定値: 727. 9 (M-1).

【0700】実施例18-75

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(3-ヒドロキシアプロピル)-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 587. 1; 測定値: 586. 1 (M-1).

【0701】実施例18-76

4-[2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボニル]-ビペラジン-1-カルボン酸tert-ブチルエステル

質量スペクトル理論値: 629. 1; 測定値: 628. 0 (M-1).

【0702】実施例18-77

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-フェニル-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 605. 1; 測定値: 604. 1 (M-1).

【0703】実施例18-78

6-[4-(4-アセチルフェニル)-ビペラジン-1-カルボニル]-2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 647. 1; 測定値: 646. 0 (M-1).

【0704】実施例18-79

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(3-クロロフェニル)-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 639. 1; 測定値: 638. 0 (M-1).

【0705】実施例18-80

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-フェネチル-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 633. 2; 測定値: 632. 1 (M-1).

【0706】実施例18-81

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(4-ナフタレン-1-イル)-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 655. 1; 測定値: 654. 1 (M-1).

【0707】実施例18-82

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(4-フルオロフェニル)-ビペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 623. 1; 測定値: 622. 1 (M-1).

【0708】実施例18-83

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(2-トリフルオロメチルベンジル)-ピペラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 687. 1; 測定値: 685. 8 (M-1).

【0709】実施例18-83A

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 536. 1; 測定値: 537. 0 (M+1).

【0710】実施例18-84

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸sec-ブチルアミド

質量スペクトル理論値: 502. 1; 測定値: 501. 1 (M-1).

【0711】実施例18-85

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(4-メチルシクロヘキシル)-アミド

質量スペクトル理論値: 542. 1; 測定値: 541. 1 (M-1).

【0712】実施例18-86

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(4-フェニルブチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 578. 1; 測定値: 577. 1 (M-1).

【0713】実施例18-87

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(2-ヒドロキシプロピル)-アミド

質量スペクトル理論値: 504. 1; 測定値: 502. 9 (M-1).

【0714】実施例18-88

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキ

シ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸シクロヘキシルアミド

質量スペクトル理論値: 528. 1; 測定値: 527. 0 (M-1).

【0715】実施例18-89

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(2-ヒドロキシエトキシ)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 534. 1; 測定値: 533. 2 (M-1).

【0716】実施例18-90

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(ピリジン-2-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 538. 1; 測定値: 534. 1 (M-1).

【0717】実施例18-91

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(3-ピペリジン-1-イルプロピル)-アミド

質量スペクトル理論値: 571. 1; 測定値: 570. 1 (M-1).

【0718】実施例18-92

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ブチルアミド

質量スペクトル理論値: 502. 1; 測定値: 501. 0 (M-1).

【0719】実施例18-93

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸ウンデシルアミド

質量スペクトル理論値: 600. 2; 測定値: 599. 2 (M-1).

【0720】実施例18-94

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリアジン-6-カルボン酸(フラン-2-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 526. 0; 測定値: 525.

1 (M-1) .

【0721】実施例18-95

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(4-シアノシクロヘキシルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 567.1; 測定値: 566.1 (M-1) .

【0722】実施例18-96

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[3-(4-メチルピペラジン-1-イル)-プロピル]-アミド

質量スペクトル理論値: 586.2; 測定値: 585.1 (M-1) .

【0723】実施例18-97

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(テトラヒドロフラン-2-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 530.1; 測定値: 529.0 (M-1) .

【0724】実施例18-98

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(2-モルホリン-4-イル-エチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 559.1; 測定値: 559.9 (M-1) .

【0725】実施例18-99

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(2-シクロヘキセ-1-エニル-エチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 554.1; 測定値: 554.2 .

【0726】実施例18-100

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(3,3-ジフェニルプロピル)-アミド

質量スペクトル理論値: 640.1; 測定値: 639.1 (M-1) .

【0727】実施例18-101

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(2-オキソ-2-フェニル-エチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 564.1; 測定値: 565.5 (M+1) .

【0728】実施例18-102

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(ピリジン-2-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 537.1; 測定値: 535.9 (M-1) .

【0729】実施例18-103

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(ピリジン-4-イルメチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 537.1; 測定値: 536.2 (M-1) .

【0730】実施例18-104

(12-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル)-アミノ)-酢酸メチルエステル

質量スペクトル理論値: 518.0; 測定値: 517.0 (M-1) .

【0731】実施例18-105

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(ピペリジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 514.1; 測定値: 513.1 (M-1) .

【0732】実施例18-106

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(5-シアノベンチル)-アミド

質量スペクトル理論値: 541.1; 測定値: 540.1 (M-1) .

【0733】実施例18-107

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト



リアジン-6-カルボン酸(1,1-ジオキソ-テトラ  
ヒドロ-1&-チオフェン-3-イル)-アミド  
質量スペクトル理論値:564.0;測定値:563.  
0(M-1).

【0734】実施例18-108

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(モルホリ  
ン-4-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジ  
ン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:516.1;測定値:515.  
0(M-1).

【0735】実施例18-109

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(チアゾリ  
ジン-3-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリア  
ジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:518.0;測定値:517.  
1(M-1).

【0736】実施例18-110

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸(2-エチル-2H-ピラゾ  
ール-3-イル)-アミド  
質量スペクトル理論値:540.1;測定値:539.  
0(M-1).

【0737】実施例18-111

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(3,4-  
ジヒドロ-1H-イソキノリン-2-カルボニル)-2  
H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:562.1;測定値:561.  
1(M-1).

【0738】実施例18-112

6-(3-アザ-ビスクロ[3.2.2]ノナン-3-  
カルボニル)-2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキ  
シ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-2  
H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:554.1;測定値:553.  
1(M-1).

【0739】実施例18-113

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸(6,6-ジメチル-ビスク  
ロ[3.1.1]ヘプチ-2-イルメチル)-アミド  
質量スペクトル理論値:582.1;測定値:581.  
1(M-1).

【0740】実施例18-114

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ

シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(オクタヒ  
ドロ-イソキノリン-2-カルボニル)-2H-[1,  
2,4]トリアジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:568.1;測定値:569.  
0(M+1).

【0741】実施例18-115

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-6-(1,3,  
3-トリメチル-6-アザ-ビスクロ[3.2.1]オ  
クタン-6-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリ  
アジン-3,5-ジオン  
質量スペクトル理論値:582.1;測定値:581.  
1(M-1).

【0742】実施例18-116

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸ビスクロ[2.2.1]ヘプ  
チ-2-イルアミド  
質量スペクトル理論値:540.1;測定値:539.  
1(M-1).

【0743】実施例18-117

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸(2-ジメチルアミノ-エチ  
ル)-アミド  
質量スペクトル理論値:517.1;測定値:516.  
1(M-1).

【0744】実施例18-118

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸(3-イミダゾール-1-イ  
ル-アプロビル)-アミド  
質量スペクトル理論値:554.1;測定値:553.  
0(M-1).

【0745】実施例18-119

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸3,5-ジメトキシ-ベンジ  
ルアミド  
質量スペクトル理論値:596.1;測定値:595.  
3(M-1).

【0746】実施例18-120

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシ-フェノキ  
シ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキ  
ソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]ト  
リアジン-6-カルボン酸[3-(2-メトキシ-エト

キシ) -プロピル] -アミド

質量スペクトル理論値: 562.1; 測定値: 502.9 ( $M - CH_2CH_2OCH_3$ ).

【0747】実施例18-121

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(3,4,5-トリヒドロキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 598.1; 測定値: 473 ( $M - C_6H_5O_3$ ).

【0748】実施例18-122

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(5-プロモ-2-メトキシフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 658.0; 測定値: 643.0 ( $M - CH_3$ ).

【0749】実施例18-123

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[2-(4-フルオロフェニル)-エチル]-アミド

質量スペクトル理論値: 568.1; 測定値: 567.0 ( $M - 1$ ).

【0750】実施例18-124

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-トリフルオロメチルベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 620.1; 測定値: 618.8 ( $M - 1$ ).

【0751】実施例18-125

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-トリフルオロメチルベンジルアミド

質量スペクトル理論値: 604.1; 測定値: 602.9 ( $M - 1$ ).

【0752】実施例18-126

1-{2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル}-ビペリジン-4-カルボン酸アミド

質量スペクトル理論値: 557.1; 測定値: 569.

0.

【0753】実施例18-127

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-メチル-ビペリジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 528.1; 測定値: 527.0 ( $M - 1$ ).

【0754】実施例18-128

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-{3-[1-(2-ヒドロキシエチル)-ビペリジン-4-イル]-プロピル}-ビペリジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 683.2; 測定値: 682.3 ( $M - 1$ ).

【0755】実施例18-129

1-{2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボニル}-ビペリジン-3-カルボン酸ジエチルアミド

質量スペクトル理論値: 613.2; 測定値: 612.2 ( $M - 1$ ).

【0756】実施例18-130

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-[4-フェニル-4-(ピロリジン-1-カルボニル)-ビペリジン-1-カルボニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 687.2; 測定値: 685.1 ( $M - 1$ ).

【0757】実施例18-131

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-フェニル-ビペラジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 591.1; 測定値: 591.5 ( $M + 1$ ).

【0758】実施例18-132

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-(4-フェネチル-ビペラジン-1-カルボニル)-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 619.1; 測定値: 618.1 ( $M - 1$ ).

【0759】実施例18-133

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-6-[4-(3-クロロ-プロピル)-ビペラジン-1-カルボニル]

-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン  
質量スペクトル理論値: 591. 1; 測定値: 591. 7 (M+1).

【0760】実施例18-134

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-(4-(4-フルオロフェニル)-ビベラジン-1-カルボニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 609. 1; 測定値: 609. 7 (M+1).

【0761】実施例18-135

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(2-トリフルオロメチルベンジル)-ビベラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 673. 1; 測定値: 672. 0 (M-1).

【0762】実施例18-136

1-(2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4] トリアジン-6-カルボニル)-ビベラジン-3-カルボン酸アミド

質量スペクトル理論値: 557. 1; 測定値: 556. 2 (M-1).

【0763】実施例18-137

1-(2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4] トリアジン-6-カルボニル)-4-オキソビベラジン-3-カルボン酸メチルエステル

質量スペクトル理論値: 586. 1; 測定値: 585. 2 (M-1).

【0764】実施例18-138

6-(4-アセチルビベラジン-1-カルボニル)-2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 557. 1; 測定値: 556. 2 (M-1).

【0765】実施例18-139

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-(4-メチルビベラジン-1-カルボニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 529. 1; 測定値: 528. 2 (M-1).

【0766】実施例18-140

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-(4-エチル-3-ヒドロキシビベラジン-1-カルボニル)-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 559. 1; 測定値: 558. 2 (M-1).

【0767】実施例18-141

2-(4-(2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4] トリアジン-6-カルボニル)-ビベラジン-1-イル)-N-イソプロピルアセトアミド

質量スペクトル理論値: 614. 1; 測定値: 613. 2 (M-1).

【0768】実施例18-142

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(2-オキソ-2-ピロリジン-1-イルエチル)-ビベラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 626. 1; 測定値: 625. 2 (M-1).

【0769】実施例18-143

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(3-フェニルアリル)-ビベラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 631. 1; 測定値: 630. 2 (M-1).

【0770】実施例18-144

2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-6-[4-(2-モルホリン-4-イル-2-オキソエチル)-ビベラジン-1-カルボニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 642. 1; 測定値: 641. 2 (M-1).

【0771】実施例18-145

6-[4-[ビス-(4-フルオロフェニル)-メチル]-ビベラジン-1-カルボニル]-2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 717. 1; 測定値: 716. 2 (M-1).

【0772】実施例18-146

6-(4-ベンジルビベラジン-1-カルボニル)-2-[4-(3-ブロモ-4-ヒドロキシフェノキシ)-3, 5-ジメチルフェニル]-2H-[1, 2, 4] トリアジン-3, 5-ジオン

質量スペクトル理論値: 605.1; 測定値: 604.2 (M-1).

【0773】実施例18-147

2-[4-(6-ヒドロキシ-2-フェニル-3-イソオキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

質量スペクトル理論値: 401.1; 測定値: 402.0 (M+1).

【0774】実施例19

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸シクロヘキシルメチルエステル  
DMF中のシクロヘキシルメタノール(9μmol)の溶液に、2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸(5μmol)、ジイソプロピルカルボジイミド(10μmol)および4-ジメチルアミノピリジン(10μmol)の溶液を連続して加えた。その結果できた溶液を50℃で18時間煮沸した。HPLCおよびLCMSは、出発物質が消費され所望の生成物が存在することを示した。質量スペクトル理論値: 557.1; 測定値: 556.1 (M-1).

【0775】適切な出発物質を用い、実施例19-1から19-81を、実施例19で述べたものと同様の方法で調製した。

【0776】実施例19-1

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-フェニル-2-イソメチルエステル

質量スペクトル理論値: 627.1; 測定値: 626.1 (M-1).

【0777】実施例19-2

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-エトキシ-プロピルエステル  
質量スペクトル理論値: 547.1; 測定値: 545.9 (M-1).

【0778】実施例19-3

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸イソブチルエステル  
質量スペクトル理論値: 517.1; 測定値: 515.9 (M-1).

【0779】実施例19-4

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸デシルエステル

質量スペクトル理論値: 601.2; 測定値: 600.1 (M-1).

【0780】実施例19-5

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3,4-ジメトキシベンジルエステル

質量スペクトル理論値: 611.1; 測定値: 610.0 (M-1).

【0781】実施例19-6

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-オキソ-2-フェニル-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 579.1; 測定値: 578.0 (M-1).

【0782】実施例19-7

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2,2,2-トリフルオロ-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 543.0; 測定値: 541.9 (M-1).

【0783】実施例19-8

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-シアノ-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 514.0; 測定値: 512.8 (M-1).

【0784】実施例19-9

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-クロロ-ベンジルエステル

質量スペクトル理論値: 585.0; 測定値: 584.0 (M-1).

【0785】実施例19-10

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシ-フェノキシ)-3,5-ジメチル-フェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-ジメチルアミノ-エチルエステル

質量スペクトル理論値：532.1；測定値：530.9 (M-1)。

【0786】実施例19-11

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(エチルフェニルアミノ)-エチルエステル

質量スペクトル理論値：608.1；測定値：606.9 (M-1)。

【0787】実施例19-12

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-フェノキシエチルエステル  
質量スペクトル理論値：581.1；測定値：580.0 (M-1)。

【0788】実施例19-13

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-アセトキシエチルエステル  
質量スペクトル理論値：547.1；測定値：545.9 (M-1)。

【0789】実施例19-14

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(2-クロロエトキシ)-エチルエステル  
質量スペクトル理論値：567.0；測定値：566.0 (M-1)。

【0790】実施例19-15

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(2-メトキシエトキシ)-エチルエステル  
質量スペクトル理論値：563.1；測定値：562.0 (M-1)。

【0791】実施例19-16

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3,7-ジメチルオクター-2,6-ジエニルエステル

質量スペクトル理論値：597.1；測定値：596.1 (M-1)。

【0792】実施例19-17

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-

3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸アリルエステル

質量スペクトル理論値：501.1；測定値：500.0 (M-1)。

【0793】実施例19-18

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-ジメチルアミノプロピルエステル

質量スペクトル理論値：546.1；測定値：545.0 (M-1)。

【0794】実施例19-19

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-オキソベンチルエステル  
質量スペクトル理論値：545.1；測定値：543.9 (M-1)。

【0795】実施例19-20

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-クロロベンチルエステル  
質量スペクトル理論値：551.0；測定値：550.0 (M-1)。

【0796】実施例19-21

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸テトラヒドロフラン-2-イルメチルエステル

質量スペクトル理論値：545.1；測定値：543.9 (M-1)。

【0797】実施例19-22

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸4-ニトロベンジルエステル  
質量スペクトル理論値：596.1；測定値：594.8 (M-1)。

【0798】実施例19-23

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-フェニルプロピルエステル  
質量スペクトル理論値：579.1；測定値：578.0 (M-1)。

【0799】実施例19-24

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(4-tert-ブチルフェノキシ)-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 637.1; 測定値: 636.1 (M-1).

【0800】実施例19-25

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(4-ジメチルアミノフェニル)-2-オキソ-1-フェニルエチルエステル

質量スペクトル理論値: 698.1; 測定値: 696.9 (M-1).

【0801】実施例19-26

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(4-メチルチアゾール-5-イル)-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 586.1; 測定値: 585.0 (M-1).

【0802】実施例19-27

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-モルホリン-4-イルエチルエステル

質量スペクトル理論値: 574.1; 測定値: 573.0 (M-1).

【0803】実施例19-28

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-イソプロピルエチルエステル

質量スペクトル理論値: 552.1; 測定値: 551.0 (M-1).

【0804】実施例19-29

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-メチル-1-イソオキサゾール-5-イルメチルエステル

質量スペクトル理論値: 556.1; 測定値: 555.0 (M-1).

【0805】実施例19-30

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-

2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(6,6-ジメチルビシクロ[3.1.1]ヘプテ-2-エン-2-イル)-エチルエステル

質量スペクトル理論値: 609.1; 測定値: 608.0 (M-1).

【0806】実施例19-31

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3,4,5-トリメトキシベンジルエステル

質量スペクトル理論値: 641.1; 測定値: 640.0 (M-1).

【0807】実施例19-32

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸エトキシカルボニルメチルエステル

質量スペクトル理論値: 547.1; 測定値: 546.1 (M-1).

【0808】実施例19-33

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-オキソ-アロピルエステル

質量スペクトル理論値: 517.0; 測定値: 515.8 (M-1).

【0809】実施例19-34

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸[1,3]ジオキサソ-5-イルエステル

質量スペクトル理論値: 547.1; 測定値: 546.1 (M-1).

【0810】実施例19-35

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-イソプロピルメチルエステル

質量スペクトル理論値: 552.1; 測定値: 551.0 (M-1).

【0811】実施例19-36

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2,3-ジヒドロベンゾ[1,

## 4] ジオキシシン-2-イルメチルエステル

質量スペクトル理論値: 609.1; 測定値: 608.0 (M-1).

## 【0812】実施例19-37

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-クロロベンジルエステル  
質量スペクトル理論値: 585.0; 測定値: 583.9 (M-1).

## 【0813】実施例19-38

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-イソプロポキシエチルエステル  
質量スペクトル理論値: 547.1; 測定値: 545.9 (M-1).

## 【0814】実施例19-39

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-フェニルスルファニルエチルエステル  
質量スペクトル理論値: 597.1; 測定値: 595.9 (M-1).

## 【0815】実施例19-40

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-ブチルスルファニルエチルエステル  
質量スペクトル理論値: 577.1; 測定値: 576.0 (M-1).

## 【0816】実施例19-41

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-メチルアリルエステル  
質量スペクトル理論値: 515.1; 測定値: 514.0 (M-1).

## 【0817】実施例19-42

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-メトキシブチルエステル  
質量スペクトル理論値: 547.1; 測定値: 545.9 (M-1).

## 【0818】実施例19-43

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-

3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-メチルスルファニルプロピルエステル  
質量スペクトル理論値: 549.1; 測定値: 548.0 (M-1).

## 【0819】実施例19-44

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-クロロ-4-ニトロベンジルエステル  
質量スペクトル理論値: 630.0; 測定値: 629.0 (M-1).

## 【0820】実施例19-45

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3-ピリジン-2-イルプロピルエステル  
質量スペクトル理論値: 580.1; 測定値: 579.0 (M-1).

## 【0821】実施例19-46

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イルメチルエステル  
質量スペクトル理論値: 595.1; 測定値: 594.0 (M-1).

## 【0822】実施例19-47

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸ペンテ-4-エニルエステル  
質量スペクトル理論値: 529.1; 測定値: 527.9 (M-1).

## 【0823】実施例19-48

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-[4-(4-アセチルフェニル)-ピペラジン-1-イル]-エチルエステル  
質量スペクトル理論値: 691.2; 測定値: 690.0 (M-1).

## 【0824】実施例19-49

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-(2-メチルスルファニル-

4, 5-ジヒドロイミダゾール-1-イル)-エチル  
エステル

質量スペクトル理論値: 603. 1; 測定値: 605.  
4.

【0825】実施例19-50

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸3, 3-ジメチル-ブチルエス  
テル

質量スペクトル理論値: 545. 1; 測定値: 544.  
0 (M-1).

【0826】実施例19-51

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2, 3-ジメトキシベンジルエ  
ステル

質量スペクトル理論値: 611. 1; 測定値: 609.  
9 (M-1).

【0827】実施例19-52

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸ビフェニル-4-イルメチルエ  
ステル

質量スペクトル理論値: 627. 1; 測定値: 626.  
1 (M-1).

【0828】実施例19-53

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2-(4-クロロフェノキシ)-  
エチルエステル

質量スペクトル理論値: 615. 0; 測定値: 614.  
0 (M-1).

【0829】実施例19-54

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸3-フェニル-アリルエステル

質量スペクトル理論値: 577. 1; 測定値: 576.  
0 (M-1).

【0830】実施例19-55

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸ピリジン-3-イルメチルエス  
テル

質量スペクトル理論値: 552. 1; 測定値: 551.

0 (M-1).

【0831】実施例19-56

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2-シクロヘキシル-エチルエ  
ステル

質量スペクトル理論値: 571. 1; 測定値: 570.  
0 (M-1).

【0832】実施例19-57

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2-チオフェン-2-イル-エチ  
ルエステル

質量スペクトル理論値: 571. 0; 測定値: 570.  
0 (M-1).

【0833】実施例19-58

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2-アダマンタン-1-イル-エ  
チルエステル

質量スペクトル理論値: 623. 2; 測定値: 622.  
1 (M-1).

【0834】実施例19-59

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸2-プロモ-1-プロモメチル-  
エチルエステル

質量スペクトル理論値: 658. 9; 測定値: 659.  
9 (M-1).

【0835】実施例19-60

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸シクロヘプチルエステル

質量スペクトル理論値: 557. 1; 測定値: 556.  
1 (M-1).

【0836】実施例19-61

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-  
3, 5-ジメチルフェニル]-3, 5-ジオキソ-  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ-[1, 2, 4]トリア  
ジン-6-カルボン酸1-メチル-ピペリジン-4-イ  
ルエステル

質量スペクトル理論値: 558. 1; 測定値: 557.  
0 (M-1).

【0837】実施例19-62

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)-



ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1, 2-ビス-(4-メトキシ  
フェニル)-2-オキソ-エチルエステル  
質量スペクトル理論値: 715.1; 測定値: 714.  
0 (M-1).

【0838】実施例19-63

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1-クロロメチル-2-イソプロ  
ポキシ-エチルエステル  
質量スペクトル理論値: 595.1; 測定値: 594.  
0 (M-1).

【0839】実施例19-64

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸4, 4-ジメチル-2-オキソ  
テトラヒドロフラン-3-イルエステル  
質量スペクトル理論値: 573.1; 測定値: 571.  
9 (M-1).

【0840】実施例19-65

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸2-ブロモ-インダール-1-イル  
エステル  
質量スペクトル理論値: 655.0; 測定値: 653.  
8 (M-1).

【0841】実施例19-66

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸2-クロロ-1-メチル-エチル  
エステル  
質量スペクトル理論値: 537.0; 測定値: 536.  
0 (M-1).

【0842】実施例19-67

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1-エトキシカルボニル-エチル  
エステル  
質量スペクトル理論値: 561.1; 測定値: 559.  
9 (M-1).

【0843】実施例19-68

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア

ジーン-6-カルボン酸2-メトキシ-1-メチル-エチ  
ルエステル

質量スペクトル理論値: 533.1; 測定値: 532.  
0 (M-1).

【0844】実施例19-69

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1-エチル-プロピルエステル  
質量スペクトル理論値: 531.1; 測定値: 530.  
0 (M-1).

【0845】実施例19-70

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸テトラヒドロフラン-3-イル  
エステル  
質量スペクトル理論値: 531.1; 測定値: 530.  
0 (M-1).

【0846】実施例19-71

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1-メチル-ヘキシルエステル  
質量スペクトル理論値: 559.1; 測定値: 557.  
9 (M-1).

【0847】実施例19-72

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸1-シクロペンチル-エチルエ  
ステル

質量スペクトル理論値: 557.1; 測定値: 556.  
0 (M-1).

【0848】実施例19-73

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸2, 5-ジメチル-シクロヘキ  
シルエステル

質量スペクトル理論値: 571.1; 測定値: 570.  
1 (M-1).

【0849】実施例19-74

2-[4-(3-ブロモ-4-メトキシフェノキシ)  
ー3, 5-ジメチル-フェニル]ー3, 5-ジオキソ  
2, 3, 4, 5-テトラヒドロ[1, 2, 4]トリア  
ジーン-6-カルボン酸3, 4-ジメチル-シクロヘキ  
シルエステル

質量スペクトル理論値: 571.1; 測定値: 570.  
1 (M-1).

## 【0850】実施例19-75

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸3,5-ジメチルシクロヘキシルエステル

質量スペクトル理論値: 571.1; 測定値: 570.1 (M-1).

## 【0851】実施例19-76

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸2-エトキシカルボニル-1-メチルエチルエステル

質量スペクトル理論値: 575.1; 測定値: 574.0 (M-1).

## 【0852】実施例19-77

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸ビスシクロヘキシル-4-イルエステル

質量スペクトル理論値: 625.2; 測定値: 624.1 (M-1).

## 【0853】実施例19-78

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸9H-フルオレン-9-イルエステル

質量スペクトル理論値: 625.1; 測定値: 624.0 (M-1).

## 【0854】実施例19-79

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸1,7,7-トリメチルビスシクロ[2.2.1]ヘプタ-2-イルエステル

質量スペクトル理論値: 597.1; 測定値: 595.9 (M-1).

## 【0855】実施例19-80

2-[4-(3-プロモ-4-メトキシフェノキシ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸ビスシクロ[2.2.1]ヘプタ-2-イルエステル

質量スペクトル理論値: 555.1; 測定値: 554.0 (M-1).

## 【0856】実施例19-81

2-[4-(3-プロモ-4-ヒドロキシフェノキ

シ)-3,5-ジメチルフェニル]-3,5-ジオキソ-2,3,4,5-テトラヒドロ-[1,2,4]トリアジン-6-カルボン酸

質量スペクトル理論値: 447.0; 測定値: 446.1 (M-1).

## 【0857】実施例20

2-[4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-3,5-ジメチルフェニル]-4-メチル-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

メタノール(2mL)中の2-[4-[3-(4-フルオロベンゾイル)-4-メトキシフェノキシ]-3,5-ジメチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン(50mg)および水酸化カリウム(12mg)の攪拌溶液に、硫酸ジメチル(41mg)を加えて濃厚なスラリーを得た。3時間後、反応混合液を、酢酸エチルに加えて希釈し、1Nの水性水酸化ナトリウムで洗浄し、有機層を硫酸ナトリウム上で乾燥し、ろ過し、真空で濃縮した。その結果できた油状物質をシリカゲル上のフラッシュクロマトグラフィー(20%-35%酢酸エチル/ヘキサン類)にかけてこの実施例の標記化合物を無色固形物24mgとして得た。質量スペクトル理論値: 475.5; 測定値: 476.2 (M+1).

【0858】適切な出発物質を用い、実施例21-1から21-9を、上記模式図D-1で述べた方法により調製した。

## 【0859】実施例21-1

2-[3-クロロ-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

## 【0860】実施例21-2

2-[3,5-ジクロロ-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

## 【0861】実施例21-3

2-[3,5-ジメチル-4-(3-シクロブチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

## 【0862】実施例21-4

2-[3-クロロ-4-(3-シクロベンチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチルフェニル]-2H-[1,2,4]トリアジン-3,5-ジオン

## 【0863】実施例21-5

2-[3,5-ジクロロ-4-(3-シクロベンチルメタンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェ

ニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジ  
オン

【0864】実施例21-6

2-[3, 5-ジメチル-4-(3-シクロペンチルメ  
タンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェ  
ニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジ  
オン

【0865】実施例21-7

2-[3-クロロ-4-(3-シクロヘキシルメタンス  
ルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-5-メチル  
-フェニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3,

5-ジオン

【0866】実施例21-8

2-[3, 5-ジクロロ-4-(3-シクロヘキシルメ  
タンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェ  
ニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジ  
オン

【0867】実施例21-9

2-[3, 5-ジメチル-4-(3-シクロヘキシルメ  
タンスルホニル-4-ヒドロキシフェノキシ)-フェ  
ニル]-2H-[1, 2, 4]トリアジン-3, 5-ジ  
オン

フロントページの続き

(51)Int. Cl.7	識別記号	F I	キーワード(参考)
A 6 1 P	3/06	A 6 1 P	3/06
	3/10		3/10
	5/14		5/14
	9/04		9/04
	9/06		9/06
	9/10		9/10
	1 0 1		1 0 1
	9/12		9/12
	19/10		19/10
	25/24		25/24
	27/06		27/06
	35/00		35/00
C 0 7 D	401/12	C 0 7 D	401/12
	401/14		401/14
	403/06		403/06
	403/12		403/12
	405/04		405/04
	405/12		405/12
	409/12		409/12
	409/14		409/14
	413/12		413/12
	417/12		417/12
	417/14		417/14
	451/06		451/06
	453/02		453/02
	471/10		471/10
	491/107		491/107
	491/113		491/113
	493/04		493/04
	1 0 3		1 0 3
	1 0 6		1 0 6 D

(100) 01-114768 (P2001-9い橋)

(72)発明者 ユアン-チン フィービー チャン  
アメリカ合衆国 06340 コネチカット州  
グロトン市 イースタン・ポイント・ロ  
ード (番地なし) ファイザー・セント  
ラル・リサーチ内

(72)発明者 キンバリー ゲイル エステップ  
アメリカ合衆国 06340 コネチカット州  
グロトン市 イースタン・ポイント・ロ  
ード (番地なし) ファイザー・セント  
ラル・リサーチ内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**